

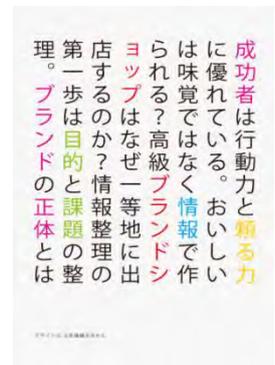
北海道	機関名	札幌市	
	部署名	経済観光局産業振興部産業振興課	
	電話連絡先	011-211-2392	
事業名	プロダクトデザイナー派遣事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>さっぽろ連携中枢都市圏域内(※)の中小製造業を対象に、デザインを活用した製品開発の成功事例やデザイン戦略の有効性等について紹介し、意識啓発を図るセミナーやワークショップを開催するとともに、デザイン、マーケティング、セールス、ブランディング等の専門家及びそれらを統括する製品開発プロデューサーを企業へ派遣し、製品開発から販売戦略までの一貫的な支援を行う事業を実施</p> <p>※札幌市、小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町</p> <p>①専門家チームによる製品開発支援【支援実績(令和5年度):1社】 新製品開発や新事業展開を目指す意欲のある企業に対して、豊富な企業支援実績を持つ「製品開発プロデューサー」(プロダクトデザイナー)及びマーケティングやブランディング等、各分野の専門家「製品開発アドバイザー」により構成する支援チームを派遣し、製品開発を支援</p> <p>②SAPPORO ものづくり×製品開発セミナー【令和5年12月14日(木)、参加人数46名】 基調講演:「激動の時代に乗り遅れない製品開発とは」(講師:株式会社コボ 会長 山村真一氏) ※その他、過年度に支援を受けた企業による講演等を実施</p> <p>■実施団体 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 <参考 URL > https://sec.or.jp/hanro-kakudai/mono-zukuri/dispatch/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		平成25年度	3,600千円



北海道	機関名	札幌市
	部署名	経済観光局産業振興部産業振興課
	電話連絡先	011-211-2392
事業名	デザイン産業振興事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>①『Biz meet Design』Business Partner Matching Project 札幌市内に拠点をもつ中小企業とデザイナー等を対象に、ビジネスマッチングプロジェクトを実施。商品やサービスの課題や悩みの相談、商品のリブランディングや企業のブランディングを検討する企業と自身のもつデザインスキルやブランディングの力で企業を応援したいデザイナー等のビジネスパートナーづくりを支援。 ・セミナー全2回(計45名参加) 「我が社のブランド力を動画でアップするためのデザイン経営」「地域に変革を起こすデザイン経営のススメ」 ・マッチングプロジェクト(企業7社、デザイナー等9名参加)</p> <p>②『さっぽろデザイン経営カレッジ』 札幌市内に拠点をもつ中小企業とデザイナー等を対象に、企業とデザイナーがチームを組み、共にデザイン経営を学ぶプログラムを実施。デザイン経営の実践において経験豊富なデザインディレクターや経営者を講師に迎え、デザイン経営のインプットやデザイン経営企業への訪問、事業計画の検討等を実施。 ・企業・デザイナー共通講座全7回+企業向け講座全4回+デザイナー向け講座全4回(企業10社13名/デザイナー等15名参加)</p> <p>■実施団体 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 <参考 URL > https://www.screensapporo.jp/</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	27,500千円

北海道	機関名	旭川市	
	部署名	旭川市工芸センター	
	電話連絡先	0166-66-1770	
事業名	国際家具デザインフェア旭川 (IFDA) 2024の開催支援		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>新しい生活文化の提案と発信を目的として、平成2年から3年ごとに開催している「国際家具デザインフェア旭川 (IFDA)」は、今回で12回目の開催となる。国際的な木製家具のデザインコンペティションとして定着し、家具産地旭川が世界各国のデザイナーと親密な交流を図る場ともなっている。</p> <p>メイン事業であるデザインコンペティションには、38か国・地域から655点の応募があり、予備審査で15点の入賞入選候補作品の選定が行われた。本審査は令和6年6月18日に開催され、翌日の表彰式において最高賞であるゴールドリーブ賞をはじめとする入賞作品が発表される。</p> <p><予備審査></p> <p>1 日時: 令和6年1月23日(火)</p> <p>2 審査委員:</p> <p>委員長 藤本 壮介(建築家)</p> <p>委員 廣村 正彰(グラフィックデザイナー)</p> <p>委員 アン・ルイス・ソマー(デンマーク・デザインミュージアム館長)</p> <p>委員 タッカー・ヴィー・マイスター(アメリカ・プロダクトデザイナー)</p> <p>委員 マイケル・ヤング(イギリス・プロダクトデザイナー)</p>			
			
<p><参考 URL> https://ifda.jp</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
本審査、授賞式、入賞入選作品展など		平成2年度	3,600 千円 (R5) 5,500 千円 (R6)

北海道	機関名	経済産業省北海道経済産業局	
	部署名	地域経済部 産業技術革新課 知的財産室	
	電話連絡先	011-709-2311 (内線2586)	
事業名	地域におけるデザイン活用促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p><事業内容></p> <p>① デザイン経営セミナー</p> <p>道内に幅広く、経営におけるデザインの活用や知的財産権で保護することの重要性を普及するため、「札幌市」と「函館市」の2地域でデザインセミナーを開催し、デザインを活用して企業価値を向上させている企業の事例や、デザイン活動により創出された知的財産を権利として保護することの重要性について紹介した。</p> <p>1) 札幌</p> <p>【日時】2023年10月13日(金)13:30～16:00 【会場】札幌市民交流プラザ SCARTS スタジオ 【講師】北海道コンフェクトグループ(株)取締役会長 長沼 昭夫 氏 (有)アリカデザイン 代表取締役 小林 仁志 氏 【参加人数】会場:80名 オンライン:53名</p> <p>2) 函館</p> <p>【日時】2023年10月21日(金)14:30～17:10 【会場】五島軒「王朝の間」 【講師】(株)五島軒 取締役社長 若山 豪 氏 ブルーム・エー 代表 岡田 暁 氏 【参加人数】会場:14名 オンライン:36名</p> <p>② デザイン経営ワークショップ</p> <p>中小企業の経営層等を対象に、デザイン思考の基礎的なスキルを習得するためのワークショップを札幌市で開催した。</p> <p>【日時】2023年12月19日(火)14:00～18:00 【会場】札幌市民交流プラザ SCARTS スタジオ 【講師】(有)アリカデザイン 代表取締役 小林 仁志 氏 【参加人数】30名</p> <p>③ 専門家派遣事業</p> <p>ワークショップに参加した企業の中からデザインに関する課題を抱える中小企業を募集し、その課題に応じた専門家を派遣することで、デザイン思考の実践を通じた課題解決の支援を行った。</p> <p>【日時】2024年1月～2月 【支援企業数】4社</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和5年度	2,000千円



青森県	機関名	青森県	
	部署名	交通・地域社会部 地域生活文化課 文化スポーツ・NPOグループ	
	電話連絡先	017-734-9207	
事業名	高校生ファッションチャレンジ事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>創造力豊かでチャレンジ精神あふれる人材の育成や、産業・地域の活性化を図るため、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」を毎年度開催している。</p> <p>※平成 12～16 年度は県主催、平成 17 年度からはファッション甲子園実行委員会主催(県は実行委員会構成員として開催支援)</p> <p>【第 22 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会 (ファッション甲子園 2023)最終審査会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 日:令和 5 年 8 月 27 日(日) ・場 所:弘前市民会館 ・出 場:35 チーム(ファッションデザイン画の応募総数 1,810 点(全国 97 校)から選ばれた 35 点) ・審査員:著名なファッションジャーナリストやファッションディレクター等 <p>※YouTube ライブ配信視聴数:4,500 回</p> <p><参考 URL> http://www.f-koshien.com</p>			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		平成 12 年度	11,000 千円 (全体予算 27,820 千円)



岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター	
	部署名	産業デザイン部	
	電話連絡先	019-635-1115	
事業名	技術支援事業及び研究開発事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>研究成果や職員の専門的知識等を活用した技術相談、依頼試験への対応のほか、設備機器の貸出などを通じて県内の企業活動を支援しています。</p> <p>①復興支援 センターの持つ技術資源を活用し、企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援します。</p> <p>②技術相談 新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。</p> <p>③企業訪問 企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。</p> <p>④依頼試験等 各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡します。</p> <p>⑥デザイン制作 企業等の希望により、デザイン制作を行います。デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します。</p> <p>⑥設備機器貸出 センターが所有する機器を貸出します。一部の機器は所外への貸出も行っています。</p> <p>⑦受託研究 企業等の希望により、センターが行う研究です。</p> <p>⑧共同研究 企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。</p> <p>⑨人材育成 講習会の開催、職員の講師派遣、研修生の受入などを行うことで、企業技術者等の育成を支援します。</p> <p>⑩研究員派遣 技術開発に係る試験、研究、分析、検査、評価などに関する技術支援のため、研究員を企業等に派遣します。</p> <p>⑪研究開発型人材育成支援 新商品開発や技術課題解決などのため、企業等の技術者を受入れ、研究開発及び人材育成を支援します。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115

事業名	デザインラボにおけるデザイン支援
-----	------------------

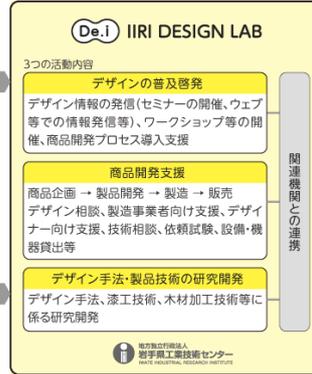
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、平成 31 年 4 月に、デザイン支援拠点「IIRIDESIGN LAB(デザインラボ)」を設置しました。
 デザインラボでは、岩手県内の製造事業者及びデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」、「商品開発支援」、「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を行います。

- 県内の製造事業者
- 工業製品製造事業者
 - 工芸品製造事業者
 - 食料品製造事業者
 - 印刷・関連事業者
 - その他の製造事業者

製造事業者及びデザイナー等の商品開発を支援

- デザイナー等
- マーケティングディレクター
 - クリエイティブディレクター
 - プロダクトデザイナー
 - アートディレクター
 - グラフィックデザイナー
 - その他のデザイナー等



コト(ユーザー体験=北国(岩手)の暮らしづくりのためのモノ(新商品)づくり



ホームページ <http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/>
 Facebook <https://www.facebook.com/IIRI.DESIGN.LAB/>
 Youtube <https://www.youtube.com/channel/UCiJY8goqHccQAwUJJWHU45Q>

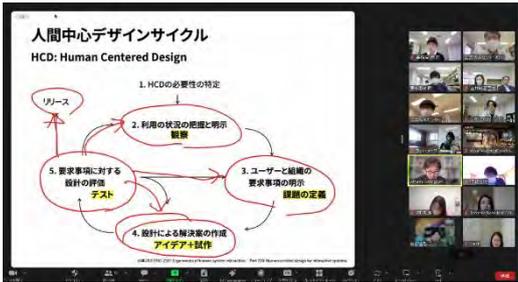
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	-

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター	
	部署名	産業デザイン部	
	電話連絡先	019-635-1115	
事業名	IIRI DESIGN LAB (De.i)「まんずデザイン相談の日」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>開催日:毎月第3木曜日 時間:①9時～、②10時30分～、③13時30分～、④15時～ ※各回50分程度 場所:岩手県工業技術センターデザインラボ デザイン相談室 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 ※オンライン対応可 内容:デザインに関する技術等の相談 例:パッケージ、商品開発、集客、UI、宣伝・広告、web、材料活用、UX、 プロダクト、製品設計、グラフィック、自社技術活用、ブランディング、 商品企画、PR、加工技術、販売促進、ビジネスモデル、デザイン経営、等 対象者:商品開発、製造、販売、サービス、経営などの事業を行っている・行おうと 考えている企業・個人。 定員:各回1組(先着順) 相談員:産業デザイン部 研究員 参加費:無料 主催:地方独立行政法人岩手県工業技術センター 申込方法:電子メール ※詳細は岩手県工業技術センターデザインラボ HP に掲載。</p> <p>IIRI DESIGN LAB(岩手県工業技術センターデザインラボ)トップページ https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/ IIRI DESIGN LAB からのお知らせ https://www5.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/news.php?cat=0</p>			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年4月から令和7年3月まで実施予定		令和5年度	-

宮城県	機関名	宮城県	
	部署名	経済商工観光部 新産業振興課／産業技術総合センター	
	電話連絡先	022-211-2722／022-377-8700	
事業名	高度技術者養成研修「デザイン・商品企画コース」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■令和5年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース(有料研修)</p> <p>(1) アイデアスケッチワークショップ 開催日:令和5年7月6日(木)、7月7日(金) 会場:宮城県産業技術総合センター 講師:情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 教授 小林茂氏 定員:10名 詳細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r5_ideasketch/</p> <p>(2) マーケットイン手法による商品開発研修 開催日:令和5年10月6日(金) 会場:ローカルイノベーションスクール 講師:ブルーファーム株式会社 デザインディレクター 高橋雄一郎氏 定員:6名 詳細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r5_marketin/</p> <p>■令和5年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース(無料セミナー)</p> <p>(1) デザイナーが AI と向き合うために知っておくこと 開催日:令和5年5月26日(金) 会場:zoom によるオンライン開催 講師:宮城県産業技術総合センター 上席主任研究員 伊藤利憲 定員:500名 詳細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/aidesign/</p> <p>(2) 地域企業におけるブランド力強化のためのデザイン思考研修 開催日:令和6年2月15日(木) 会場:宮城県産業技術総合センター 講師:株式会社スティーブアスタリスク 代表取締役 太田伸志氏 定員:36名 詳細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/designthinking2023/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施予定		平成3年度	870千円



山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-3034
事業名	山形エクセレントデザイン事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始した。現在は隔年開催としており、令和5年度に 13 回目となる「山形エクセレントデザイン 2023」を実施した。</p> <p>■山形エクセレントデザイン 2023 実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事) 内 容:魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品や取り組みを選定・顕彰する。 募集期間:令和5年7月3日(月)～9月8日(金) 募集対象:過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、令和5年 12 月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと 応募数:60 点 審査委員:長谷川敦士氏(武蔵野美術大学 教授 / 株式会社コンセント 代表)、宇南山加子氏(株式会社 SyuRo 代表)、酒井聡氏(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 教授)、原田祐馬氏(UMA/design farm 代表)、吉泉聡氏(TAKT PROJECT 株式会社 代表 / デザイナー)</p> <p>選定結果: ○エクセレントデザイン大賞 「シェルターインクルーシブプレイス コバル」(株式会社夢の公園) ○準大賞(2点) 「フルーツボックス りんごノラ・フランス」(株式会社丸定) 「天童荘うなぎ勤治郎 ～天童温泉の源泉槽橋と景観・街並みの創出～」(株式会社天童荘) ○プロジェクトデザイン賞 「245Skate Park」(株式会社矢萩土建) ○サーキュラーデザイン賞 「KAKI ENERGY BAR(柿ベースエナジーバー)」(1Blue 株式会社) ○入賞(8点) 「崑工門の焼き干し芋」(株式会社 KIUEMON) 「公共空間を舞台にした家具ブランド「neighbor の開発」(株式会社 Q1、株式会社 Y.D.K.) 「アレルギー対応離乳食「太陽と月のひかり」(keiki li' illi' i 株式会社) 「子姫芋キム子(さがえ子姫芋活用プロジェクト)」(さがえ子姫芋組合) 「Charmurs(シャルマス) スイートアーモンドオイル」(シャルム株式会社) 「テーブル [bambi F-2738・F-2737・F-2742]」(株式会社天童木工) 「ものづくりと情報発信をお手伝いするサービス「HIKARUBE」(有限会社ヒカルマシナリー) 「コニャクラゲ・チャコニャクラゲ」(まるい食品株式会社)</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>審査風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表彰式</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>山形エクセレントデザイン 2023 受賞作品</p> </div>		
<p>< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.yamagatanodesign.jp/yxdesign</p>		
令和 6 年度実施予定		開始年度
令和6年度は、選定品の県内展示会を実施予定。		平成9年度
		予算額
		3,391 千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-3034
事業名	販路開拓支援事業“ブラッシュアップスクール”	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>スクールの前段として、「山形エクセレントデザイン 2023」の奨励企業 9 社に対し、審査委員からのアドバイスを伝えるとともに、今後どのように改善していきたいかをヒアリングした。生活用品系の企業を対象とした販路開拓を目的としたスクール、デザイン思考やデザイン活用を学ぶスクールの 2 講座を開催した。</p> <p>実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)</p> <p>■ブラッシュアップスクール</p> <p>内 容:講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議</p> <p>期 日:①令和6年3月19日(火)(生活用品系)、②令和6年3月21日(木)(デザイン活用系)</p> <p>会 場:①山形県工業技術センター、②オンライン Zoom</p> <p>受 講 料:無料</p> <p>参加企業:①6社、②7社(山形エクセレントデザイン 2023 受賞企業、奨励企業)</p> <p>講 師:①日野明子 氏(スタジオ木瓜 代表)、②長谷川敦士 氏(武蔵野美術大学教授/(株)コンセント 代表取締役)</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>生活用品系</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>デザイン活用系</p> </div> </div>		
<p>< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL ></p> <p>https://www.yamagatanodesign.jp/</p>		
令和 6 年度実施予定 継続して実施予定		開始年度
「山形エクセレントデザイン 2023」の受賞企業・奨励企業を対象とした ブラッシュアップスクールを開催		平成 27 年度
		予算額 3,391 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-3034

事業名	デザイン活用促進事業“デザ縁”
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内企業がデザインを活用した商品やサービスの開発、プロモーションに取り組むきっかけをつくることを目的に、県内デザイナーによる仕事紹介と交流会や企業見学ツアーを開催した。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■県内デザイナーによる仕事紹介と交流会

内 容:県内デザイナーによる仕事紹介と参加者との交流会を行った。

①デザ縁 2023 in 庄内

期 日:令和5年8月9日(水)

会 場:酒田まちなかホール

対 象:山形県内の企業(経営者、開発担当者等)、県内デザイナーの仕事に興味がある方

参 加 者:54名、デザイナー10組15名(合計69名)

デザイナー:青(鶴岡市)、(同)あきらめの悪い人たち(酒田市)、APOLLO STUDIOS(酒田市)、イトウフミエ(酒田市)、
(株)オーリーブ(酒田町)、humming DESIGN(鶴岡市)、はんどれい(株)(鶴岡市)、(同)ひろまるデザイン(酒田市)、
manoma(鶴岡市)、(株)モジヤデザイン(酒田町)

②デザ縁 2024 in 山形

期 日:令和6年3月6日(水)

会 場:山形県高度技術研究開発センター

対 象:山形県内の企業(経営者、開発担当者等)、県内デザイナーの仕事に興味がある方

参 加 者:49名、デザイナー8組11名(合計60名)

デザイナー:青木亮太(朝日市)、(株)アーキテクチュアランドスケープ(山形市)、Strobelight(大江市)、竹永絵里(山形市)、
chihiya-design(山形市)、(同)DESIGN STUDIO K(山形市)、(株)フロット クリエイティブセクション(山形市)、
mujina design(山形市)

■県内デザイナーによる企業見学ツアー

内 容:県内デザイナーが県内企業の製造現場を見学し、意見の交換を行った。

期 日:令和6年3月7日(木)

会 場:(有)ウッド・メーク、(株)栄進钣金製作所、(株)安部吉

■オンライン“デザ縁”

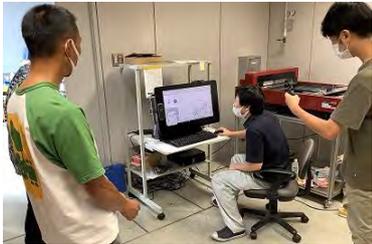
内 容:県内で活躍するデザイナーを紹介する「オンライン“デザ縁”」のホームページを運営し、オンラインで県内企業とデザイナーのマッチングを行った。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>
<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 27 年度	3,391千円 (前々頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県	
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課	
	電話連絡先	023-630-3034	
事業名	デザイン思考イノベーション創出事業(やまがた&Dプロジェクト)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>新たな事業展開を考えている県内企業を対象に、自社のパーパス(社会的存在意義)を探究し、デザイン思考を実践しながら、次の一手を考える勉強会を開催する。また、東北芸術工科大学の学生とも交流し、学びを深めると共に、双方の魅力の共有を図り、県内におけるクリエイティブ人材の育成とデザイン活用の促進を目指す。</p> <p>実施主体:山形県</p> <p>■デザイン思考イノベーション創出事業(やまがた&Dプロジェクト) 内 容:企業がパーパス(社会的存在意義)を探究しデザイン思考で検討した新事業案と、企業のパーパスをもとに東北芸工大生が検討した新事業案を突き合わせ、互いに学びあう。 参 加 者:デザインセミナー参加企業 24 社、勉強会参加5社、学生 15 名 企 業 チーム講 師石川俊祐 氏(株式会社 KESIKI 代表取締役) 学生チーム総指揮:中山ダイスケ 氏(東北芸術工科大学 学長)</p>			
  			
<p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.yamagatanodesign.jp/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
デザイン経営トランスフォーメーション促進事業としてリニューアル予定		令和 3 年	1,396 千円

福島県	機関名	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター	
	部署名	産業工芸科	
	電話連絡先	0242-39-2978	
事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「漆とデザインの研究会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>漆とデザインの研究会は、漆器製造に関わる先人たちが築き上げてきた技術、知識、意気を再認識し、現代に適合した漆塗料のあり方とデザイン性を追及し、新商品に結びつけるための技術研修と習得を行う研究会として活動している。</p> <p>内 容:漆器製造に関わる技術(木地・素地・塗・加飾 他)に関する講習会、実習、及び先進地視察 開催日時:毎月第3水曜日 13:30～15:30 場 所:福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター 参 加 者:漆器の製造、販売、商品開発を行っている企業、個人 講 師:県内及び近県大学教員、ハイテクプラザ職員、会津漆器職人 など</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>実 習</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>講演会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>先進地視察</p> </div> </div>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成22年度	206千円

福島県	機関名	福島県ハイテックプラザ会津若松技術支援センター
	部署名	産業工芸科
	電話連絡先	0242-39-2978

事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「デジタルデザイン分科会」
-----	------------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デジタルデザイン分科会は、主に県内企業のデジタルファブリケーション(2D/3D データなどのデジタルデータを活用したモノづくり技術)に関する研修や習得を行う研究会として活動している。

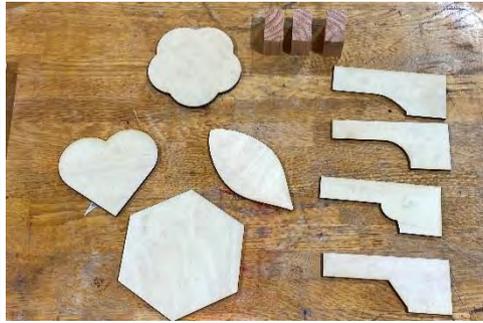
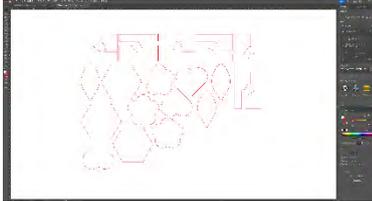
内 容:デジタルファブリケーションに関する技術(3D モデリング、レーザー加工機、NC 加工機など)に関する講習会、実習など

開催日時:不定期

場 所:福島県ハイテックプラザ会津若松技術支援センター(リアルまたはオンライン形式)

参 加 者:主に県内の商品開発、製造、販売、サービス等の事業を行っている企業または個人

講 師:ハイテックプラザ職員、県内及び近県大学教員、その他外部講師など



Adobeillustrator 及びレーザー加工機 講習会「乾漆用引き籠・引き型の作成」



3DCAD セミナー「AUTODESK」

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和元年度	147千円

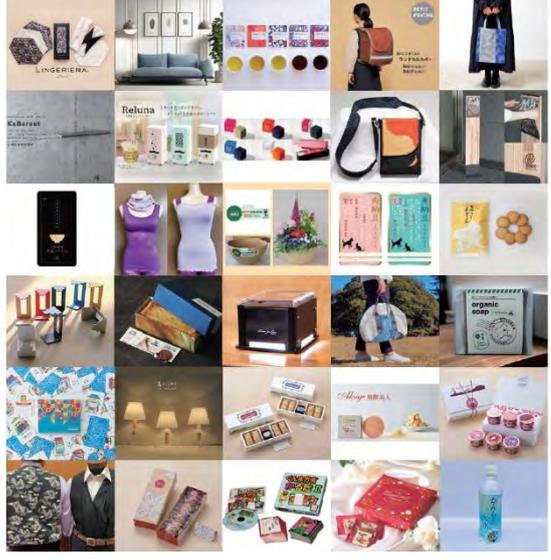
東北経済 産業局	機関名	東北経済産業局	
	部署名	総務企画部企画調査課	
	電話連絡先	022-221-4861	
事業名	東北地域のデザイン人材を繋ぐ「ナレッジシェア・ポート(知識移転の場)創出」 実証調査事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1.目的 東北地域は、全国に先駆けて人口減少が進み地域課題が多様化・複雑化しており、地域の持続的な発展のためには専門人材との協業が不可欠である。このような中、専門人材の一つとして、狭義のデザインにとられない活動を行う「インタウンデザイナー」に着目し、実際に地域課題の解決に取り組むデザイン人材の掘り起こしやその役割・効果を検証すると共に、知見の共有の場(ナレッジシェア・ポート)の創出を通じて、デザイン人材の繋がりがづくりや地域企業・支援機関等との協業促進を図ること。</p> <p>2.実施内容 (1)現地研究会の開催 東北6県7名のインタウンデザイナーを研究会委員とし、地域の企業等とインタウンデザイナーの協業に関する意見交換を行い、協業促進に向けたポイントを分析した。 【研究会委員】 ・アソビス 代表 佐々木 遊 氏(青森県八戸市) ・のほら 代表 阿部 拓也 氏(岩手県遠野市) ・合同会社 nekiwa 代表社員 横塚 明日美 氏(宮城県丸森町) ・澁谷デザイン事務所 澁谷 和之 氏(秋田県美郷町) ・吉野敏充デザイン事務所 代表 吉野 敏充 氏(山形県新庄市) ・marutt 株式会社 代表取締役 西山 里佳 氏(福島県南相馬市) ・高木デザイン事務所 高木 市之助 氏(福島県いわき市)</p> <p>(2)公開イベントの開催 研究会委員を登壇者とし、地域の企業等との協業において、どのような情報の共有が協業促進に向けて有意義であるかなどを公開の場で討論し、参加者も含めて知見の共有を行った。 ・イベント名 「東北デ、～東北で、デザインするということ～」 ・期日 2024年2月25日(日) ・場所 仙台フォーラス7階「even」 ・参加人数 120名</p> <p>(3)ガイドブックの作成 (1)現地研究会及び(2)公開イベントの実施によって得られた知見を、東北のインタウンデザイナーと地域企業等との協業促進を目的としたガイドブックを作成、公開した。</p> <p><参考 URL > https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/240425.html https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/pdf/240425_1.pdf</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		令和5年度	2,943千円



茨城県	機関名	茨城県	
	部署名	産業戦略部技術振興局技術革新課	
	電話連絡先	029-301-3579	
事業名	いばらきデザインカレレベルアップ事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○茨城県デザインセンターの設置 県内中小企業等の製品の付加価値を高めるため、総合的なデザイン支援活動拠点として平成 9 年に「茨城県デザインセンター」を設置。デザイン相談や開発支援等を行って中小企業のデザイン開発力の向上を支援するとともに、県内外に本県の優れたデザインを発信し、ブランド力の向上を図る。</p> <p><委託先> 株式会社ひたちなかテクノセンター(茨城県ひたちなか市新光町 38)</p> <p>○令和5年度事業の取組実績 茨城県の地域や産業を元気にする優れたデザインを「いばらきデザインセレクション」として選定することで、いばらきの地域イメージを高めていくとともに、選定品をPRする「いばらきデザインフェア」を開催するなど、デザインの重要性の啓発及び地域産業の振興を図った。</p> <p>【デザイン相談等】 デザインコーディネーターによるデザイン企画の助言・相談 【相談件数:151件】</p> <p>【いばらきデザインセレクション 2023】 ・応募期間:令和5年6月 19 日～7月 31 日 ・審査会:一次審査:令和5年8月9日、二次審査:10月 11 日 ・応募件数:142 件 ・選定数:大賞1件、知事選定5件、選定 33 件、奨励2件、シリーズ選定8件 (部門)製品・工芸部門、パッケージ・グラフィック部門、空間・建築部門、ソーシャルデザイン部門、コンテンツ・情報デザイン部門</p> <p>【いばらきデザインフェア 2023-2024】 ・令和6年1月 18 日～21 日 会場:IBARAKI sense -イバラキセンス-(茨城県アンテナショップ) 【来場者数:8,257 人】 ・令和6年2月 17 日～18 日 会場:イオンモール水戸内原 【来場者数:11,118 人】</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト> URL:https://idesign-c.jp/ (茨城県デザインセンター HP)</p> <p>(いばらきデザインセレクション 2023 選定)</p> <p>大賞</p>  <p>日本酒文化長屋 磯蔵～Locaboire ISOKURA～</p> <p>知事選定</p>     			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成9年度	13,555 千円

栃木県	機関名	栃木県	
	部署名	産業労働観光部工業振興課	
	電話連絡先	028-623-3198	
事業名	栃木県優良デザイン選定・表彰事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【とちぎデザイン大賞】 県内事業者のデザイン力の向上と魅力ある商品づくりを推進するため、県内中小企業者等が製造する『自社商品』を募集し、デザイン等の観点から優れたものを「栃木県優良デザイン(Tマーク)」として選定するとともに、その中から特に優秀なものを「とちぎデザイン大賞」として表彰する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○募集対象:県内中小企業者の自社製造・自社開発による商品・パッケージ ○募集期間:令和5(2023)年8月10日(火)～9月8日(金) ○審査会:令和5(2023)年9月26日(火) ○審査委員:デザイナー、大学教授、中小企業関係団体役員、流通関係者等 11名 ○審査方法:「デザイン」「産業」「社会」の観点から審査 ○審査結果:栃木県優良デザイン(Tマーク)…6点 とちぎデザイン大賞…最優秀賞1点、部門賞4点 栃木県デザイン協会会長賞…1点 ホープ・デザイン…1点 ○表彰式:令和5(2023)年12月21日(木) <p><事業 URL> https://www.pref.tochigi.lg.jp/f02/work/shoukougyou/chitekishoyuukun/tmark_index.html</p>			
			
 <p>令和5(2023)年度 とちぎデザイン大賞 最優秀賞 ・商品名:いろはゆずゼリー ・製 造:こいしや食品株式会社</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成元年度	194千円

栃木県	機関名	栃木県	
	部署名	産業労働観光部工業振興課	
	電話連絡先	028-623-3198	
事業名	とちぎデザイン塾		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【とちぎデザイン塾】 県内中小企業の競争力を高めるために、デザイン思考を習得するためのセミナー「とちぎデザイン塾」を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開催日:12/15(金)、1/12(金)、2/16(金)、3/8(全4回) ○会 場:県庁会議室 ○対 象:県内中小企業者等 ○参加者:2社4名 ○講 師:(株)クルー 代表取締役 馬場 了 氏 ○内 容:フダンとイザの2つのはたらきを持つ「DRD(ダブルロールデザイン)」商品の模倣開発を通し、デザイン思考を取り入れた商品開発手法を学ぶセミナーを開催した。 			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	463千円

群馬県	機関名	群馬県	
	部署名	産業経済部地域企業支援課	
	電話連絡先	027-226-3358	
事業名	グッドデザインぐんま商品選定事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■内容:デザインに対する理解と関心を高め、地域の産業振興と個性的で豊かな県民生活を目指し、県内の優れた工業製品等を「グッドデザインぐんま商品」として選定・推奨する。</p> <p>■応募資格:県内で規格・デザインされた工業製品等であって、県内で製造または販売されているもの</p> <p>■募集期間:令和5年6月30日(金)～9月29日(金) ※事業は隔年で実施</p> <p>■選定:令和5年11月</p> <p>■表彰式:令和6年2月9日(金)</p> <p>■展示会:令和6年2月9日(金)～11日(日)</p>			
<p>※参考URL(令和5年度選定商品)</p> <p>https://www.pref.gunma.jp/site/designgunma/623030.html</p>		選定商品(例)	
 <p>ロゴマーク</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度は展示会開催のみ実施予定		平成5年度	19,200 千円

埼玉県	機関名	公益財団法人さいたま産業創造財団
	部署名	企業支援課
	電話連絡先	048-851-6652
事業名	ブランディングデザイン支援事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

さいたま市産業創造財団
ブランディング支援事業

■事業内容

企業全体のイメージ、商品、サービスにある一定の方向性を作り出すことで、他社とどう違うのかをユーザーに正確に伝えることを目的に「伝えるデザイン」であるブランディングの支援を実施。

①ブランディングデザインセミナーを実施

- ・開催日時 令和4年6月21日・28日(金)13:00~17:30
- ・対象: ブランディング、リブランディングに取り組む企業
- ・参加人数:18名
- ・参加費用:無料
- ・開催場所:まるまるひがしにほん (JR大宮駅東口徒歩1分)

②ブランディングデザイン 個社伴走支援

ブランドコンセプトから外部発信ツールまで、個社ごとの課題・要望に合わせて企業や製品に必要なブランディング要素を的確ご伴走支援を行い、必要に応じてデザインツールの制作サポートを実施。

【支援例】

①製薬会社

子供向けサプリメントのブランディングとしてブランドコンセプト、ステートメント作成と商品のネーミング、ロゴデザイン、パッケージデザインを実施。

Concept

からだ知る、向き合う、育っていく。



②化学会社

人材を採用するためのブランディングとしてこれまで言語化されていなかった働き方や社風にフィットする人物像を定義し、コミュニケーションツールとしての動画を制作。

Concept

ともにつくろう、心地よい未来を



③食品会社

江戸時代から続く漬物製造業、看板商品の持つ特徴を改めて問い直し、ブランドコンセプトを再設計し“魅せる”ための商品パッケージとロゴをデザイン。

Concept

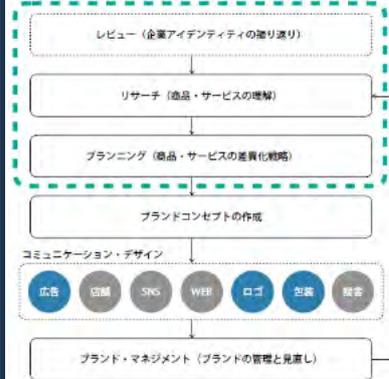
大きく、福よか。



1年間のブランディングデザインプログラム



支援事業の流れ



参考 URL「<https://b.sozo-saitama.or.jp/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	-

埼玉県	機関名	公益財団法人さいたま産業創造財団
	部署名	事業企画課
	電話連絡先	048-851-6652
事業名	DXデザイン思考研修(サービスデザイン支援事業)	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業内容

テーマとするのは物理的に目には見えないデザインである、「ビジネスモデル」や「サービス」。『デザイン思考』を活用し、徹底的に顧客の視点に立ち自社のビジネスやサービスの真の課題に整理することで新たなビジネスモデルやサービスの開発を目指す研修を基礎コースと実践コースに分けて実施。

■基礎コース

デザイン思考の基礎を学ぶ。架空のペルソナを設定し、顧客の視点でカスタマージャーニーマップを作成、課題解決に繋がるアイデアの創出までのプロセスを習得しデジタルに移行、DXでやるべきことをセミナーで創り出します。

- 第1回:デジタル・トランスフォーメーションとデザイン思考
- 第2回:デザインアプローチ①ユーザーの課題を見つける
- 第3回:デザインアプローチ②ユーザーを観察する
- 第4回:デザインアプローチ③実験する
- 第5回:デザインアプローチ④振り返りと再考
- 第6回:最終プレゼンテーション



基礎コース参加企業募集

全4回のビジネス実務ワークショップ
 ① デザイン思考を使って、自社、顧客の解決すべき課題を見つけ出す。
 ② DXとデザイン思考を組み合わせることで、独創的なアイデアを創出する。

申込対象: さいたま市の事業活動が主たる事業の法人及び
 業種: 10業(参加費: 1万円) 企業数: 100社以内
 研修期間: 8回(詳しくは募集要項を参照)
 研修場所: 本会会館(さいたま市中央区)または各企業会館(希望あり)
 参加費: 15名程度 (1社につき2名程度)
 ※本研修会はDX+デザイン思考の基礎コース研修を実施します。

主催: 公益財団法人さいたま産業創造財団
 協賛: 公益社団法人埼玉デザイン協議会



■実践コース

デザイン思考の基礎を学んだ方を対象に実践コースでは、実際の自社課題にフォーカスして新規事業開発を目指す。アイデアを創出するにとどまらず、IT エンジニアと連携しプロトタイピングを実施しDX アイディアを具体的な形にする。

- 第1回:自社の DX に関する課題の抽出(座学+実習) エスノグラフィー
- 第2回:自社の真の課題を探り当てる(座学+実習)
- 第3回:具体的な作業のメニュー抽出・整理(座学+実習)
- 第4回:解決のアイデアを着想する(座学+実習)
- 第5回:プロトタイピング①(実習) DX エンジニアをゲスト招集
- 第6回:プレプレゼンテーションとフィードバック
- 第7回:プロトタイピング②(実習)
- 第8回:内部発表会



(参考 URL) <https://www.sozo-saitama.or.jp/about/digitaltransformation/#service>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	-

東京都	機関名	東京都	
	部署名	産業労働局商工部創業支援課	
	電話連絡先	03-5320-4745	
事業名	東京デザインコンペティション事業「東京ビジネスデザインアワード」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>提案公募型コンペティション「東京ビジネスデザインアワード」を実施する。</p> <p>優れた技術力を持つ都内中小企業から「自社保有の高度な加工技術や特殊な素材等」を「テーマ」として募集する。これに対し、国内のデザイナーから「テーマ」に対応する「技術や素材を活用した新たな商品開発・用途開発」、「技術を活かした新たなビジネスモデル」等を「提案」として募集、専門家による審査を経てテーマ毎に最も優れた提案を「テーマ賞」として1提案ずつ選定する。</p> <p>選定された提案について、提案デザイナーによるプレゼンテーションに基づく最終審査を行い、「最優秀賞」1提案、「優秀賞」2提案程度を選定・表彰する。「テーマ賞」受賞提案については、デザイン関連イベントでの展示やHP等により結果を発信する。あわせて受賞案件の商品化・実用化のフォローも行き、知財戦略・デザイン契約、広報戦略、販路開拓、デザイン開発導入のためのセミナーやワークショップなどを包括的に実施している。</p> <p>【商品化事例】</p>    <p><参考 URL > https://www.tokyo-design.ne.jp/award.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成24年度	40,444千円

東京都	機関名	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	
	部署名	技術支援本部地域技術支援部城東支所プロダクトデザイン	
	電話連絡先	03-5530-2150	
事業名	研究開発		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>都内中小企業の技術課題や社会ニーズに対応した研究開発を実施する。所内で実施する研究に加え、共同研究や外部資金導入研究を行う。研究成果の外部発表や知財化をとおして、新製品・新技術開発や新産業創出を目指した普及を図る。</p> <p>【基盤研究】 都産技研が独自に計画し実施する研究。中小企業の技術支援強化に繋がる技術開発や、共同研究および外部資金研究に発展させていくための基盤となる研究開発に取り組んでいる。</p> <p>【共同研究】 都内中小企業や大学・公的研究機関などと相互に経費や研究課題を分担して、技術開発や製品開発を目的とした共同研究を推進している。年2回の募集を予定している。</p> <p>【受託研究】 都内中小企業などから委託を受けて、都産技研が短期の研究、調査等を行う。随時受付を行い、企業の研究課題に素早く対応している(研究費は企業等の負担)。</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri-tokyo.jp/site/kenkyu/</p>			
<p>「障害者や高齢者の飲用を補助する「ストロー補助具」の製品化に向けた共同研究 全国 1782 施設への大規模なニーズ調査を実施し、現場からの声をもとに試作・検証を繰り返し行い、結果3種類のストロー補助具を基盤研究で開発し、共同研究で製品化した。</p>  <p>完成したストロー補助具</p> <p><本研究に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri-tokyo.jp/tiri-news/kenkyu-2024-10-</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

東京都	機関名	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	
	部署名	技術支援本部地域技術支援部城東支所プロダクトデザイン	
	電話連絡先	03-5530-2150	
事業名	技術相談		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザインに関する企画、設計、試作から実用化、品質管理、自己解析まで、広く技術的な相談を対応している。</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri-tokyo.jp/guide/consultation/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

東京都	機関名	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター											
	部署名	技術支援本部地域技術支援部城東支所プロダクトデザイン											
	電話連絡先	03-5530-2150											
事業名	機器利用												
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)													
<p>デザインの確認や試作品の製作に利用できる機器を用意している。作成したいデザインや、材料に適した機器の案内、使い方や設定方法などの支援も行っている。</p>													
<table border="1"> <tr> <td> 大型プリンター</td> <td> UV シールプリンター</td> <td> スタジオ撮影システム</td> <td> 各種工業用マシン</td> <td> 型紙作成システム</td> </tr> <tr> <td> レーザー加工機</td> <td> UV 厚手対応プリンター</td> <td> デザイン試作室</td> <td colspan="2"> 生地用インクジェットプリンター</td> </tr> </table>				 大型プリンター	 UV シールプリンター	 スタジオ撮影システム	 各種工業用マシン	 型紙作成システム	 レーザー加工機	 UV 厚手対応プリンター	 デザイン試作室	 生地用インクジェットプリンター	
 大型プリンター	 UV シールプリンター	 スタジオ撮影システム	 各種工業用マシン	 型紙作成システム									
 レーザー加工機	 UV 厚手対応プリンター	 デザイン試作室	 生地用インクジェットプリンター										
<p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri-tokyo.jp/site/shiken/kikiryoyou.html 令和6年度実施予定</p>													
継続して実施予定		開始年度	予算額										
継続して実施予定		-	-										

東京都	機関名	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	
	部署名	技術支援本部地域技術支援部城東支所プロダクトデザイン	
	電話連絡先	03-5530-2150	
事業名	オーダーメイド型技術支援		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>製品化のためのコンセプト立案やデザイン提案、設計、試作など、お客様の開発要素の強いニーズに応じて、きめ細かく柔軟にサポートしている。</p>			
<p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri-tokyo.jp/site/shiken/order-made-shien.html</p>			
<p>立体的なペーパー形状から着想を得たジュエリーの試作支援を行った。素材となるペーパーパーツの撮影、グラフィック処理、UVプリンターなどを用いた試作を行った。 (Aki Ichiriki Design)</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

東京都	機関名	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター	
	部署名	技術支援本部地域技術支援部城東支所プロダクトデザイン	
	電話連絡先	03-5530-2150	
事業名	技術セミナー・講習会		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>プロダクトデザインに関する講義形式の「技術セミナー」と、パッケージの作り方・加工機器を活用した製品試作など、実習と講義を組み合わせた「講習会」を開催している</p> <p>令和5年度開催タイトル</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 技術セミナー「商品企画のためのパッケージデザイン入門」 「商品企画のための パッケージデザイン入門」 ● 講習会 「レーザー加工機入門」 「チラシ・パンフレット作成基礎講座」 <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri-tokyo.jp/seminar-event/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		-	-

東京都	機関名	八王子市	
	部署名	産業振興部産業振興推進課	
	電話連絡先	042-620-7379	
事業名	八王子市プロダクトデザインプログラム		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>概要:市内中小企業を対象に、新商品を開発するため、プロダクトデザイナーと連携し、「売れる製品」づくりを支援する。 委託事業者がプロダクトデザイナーと参加者をマッチングさせ、チームをつくり、チーム単位で新商品開発を進める。 工場見学会や月次定例ミーティングを実施し、定期的に意見交換を行い、中間報告会や最終報告会も開催した。</p> <p>期間:令和5年5月中旬～令和6年3月中旬</p> <p>場所:意見交換はオンライン、リアル(場所は各チームで決定)のハイブリッド形式で実施。 中間報告会と最終報告会は東京たま未来メッセで実施。</p> <p>参加人数:4者</p> <p>〈参考 URL〉 https://www.city.hachioji.tokyo.jp/jigyosha/sanngyou/p031876.html</p> <p>関連イベント:新商品開発のためのデザインワークショップ 概要:プロダクトデザインに着目し商品開発を実施する際のデザインの勘所を説明する内容のセミナーを実施。 日時:令和6年1月22日 場所:東京たま未来メッセ(八王子市明神町三丁目19番2号) 実施主体:八王子市 講師:株式会社 AMN 代表取締役 原氏 参加人数:7名</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和4年度	23,547千円(新分野展開促進事業全体予算)

神奈川県	機関名	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
	部署名	事業化支援部支援企画課
	電話連絡先	046-236-1500

事業名	次世代事業創出デザイン支援事業
-----	-----------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【次世代事業創出デザイン支援事業】

ロボット等が活躍する次世代社会の実現を促進するため、新ビジネス・新サービス・製品開発の創出をするために、商品コンセプトづくりから試作開発まで実施する一連の総合的な支援を、デザイン事業者と共に行う事業です。

■支援の流れ

企業の開発テーマ募集 → デザイン事業者とのマッチング → デザインプロポーザル募集 → 審査・採択 → 支援内容等の決定 → 「モデルプロジェクト」として共創(企業・デザイン事業者・当研究所)による開発

■令和5年度事業の取組実績

セミナーの開催:

NEXT!! and Design 次世代イノベーション創出セミナー

「新たな顧客体験を創るデザインの力」計4回・計155名

基調講演: Takram/谷口 靖太郎 氏・コンセント/大崎 優 氏・デジタル庁/外山 雅暁 氏

<参考 URL> https://biz.kistec.jp/sup_comm/next_design/seminar2023/

■実施結果(令和5年度)

・商品化促進モデル事業(2件)

・総合的デザイン支援・試作支援

・知財戦略コンサルティング

・情報発信、テストマーケティング、販路開拓支援: 3回

(テクニカルショウヨコハマ 2024、国際ロボット展 2024、スマートファクトリーJapan2024)

<参考 URL> https://biz.kistec.jp/sup_comm/next_design/

■令和5年度支援事例

ベンチャー型町工場の新規事業創出に係る

ブランド構築にむけたデザイン開発(株式会社タシロ)



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	30,282千円

神奈川県	機関名	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	
	部署名	事業化支援部支援企画課	
	電話連絡先	046-236-1500	
事業名	製品化・事業化支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【製品化・事業化支援事業】 新製品の開発や新事業をめざす県内の中小企業に対し、当研究所の保有技術や設備機器を活用した総合的な支援をすることにより、競争力の高い製品化・事業化を促進しています。</p> <p>■支援の流れ 企業の開発段階に応じて、「製品化支援」「事業化支援」の支援を行っています。 製品化支援:公募により審査 県内に事業所を有し、新製品の開発や商品化をめざす中小企業にむけて、製品化における技術課題を等研究所職員が伴走支援します。 事業化支援:随時受付 構想、企画、デザイン等において必要となる技術等について総合的に支援しています。</p> <p>■実施結果(令和5年度) ・製品化支援 9件(製品開発室使用課題5件・通所課題4件) ・事業化支援 9件 ・販路開拓支援 展示会・PR 等 (テクニカルショウヨコハマ 2024、国際ロボット展 2024、スマートファクトリー Japan2024)</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成25年度	4,300千円



インバウンド向け防災商品

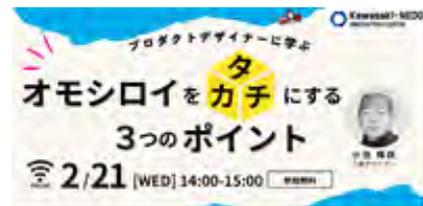
神奈川県	機関名	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	
	部署名	事業化支援部支援企画課	
	電話連絡先	046-236-1500	
事業名	デザイン相談事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【デザイン相談事業】 中小企業の皆様の様々なデザイン課題や、企業価値の創出にむけて、「デザイン相談室」を設置し、専門のデザイン相談員による無料相談を行っています。“魅力を高めること”、“価値を伝えること”など、「デザイン」は有効な手段としてデザイン活用の普及に努めています。</p> <p>■支援の流れ 相談日:毎週月曜日・水曜日・金曜日 (9:30~16:30) * 金曜日のみ隔週、休祝日を除く 場 所:当研究所横浜相談窓口(よこはまランチ) 横浜市中央区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル4階企業の開発段階に応じて、「製品化支援」「事業化支援」の支援を行っています。</p> <p>■実施結果(令和5年度) デザイン相談件数(よこはまランチ):214件</p> <p><参考 URL > https://biz.kistec.jp/sup_comm/design_sup/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成18年度	3,761千円



デザイン相談の様子

神奈川県	機関名	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	
	部署名	事業化支援部支援企画課	
	電話連絡先	046-236-1500	
事業名	デザイン開発・研究(技術開発受託)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【デザイン開発・研究(技術開発受託)】</p> <p>当研究所職員によりデザイン相談から開発、研修・セミナーの開催等を通じて、デザイン支援を実施しています。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	—

神奈川県	機関名	川崎市
	部署名	経済労働局イノベーション推進部
	電話連絡先	044-200-2334
事業名	クリエイティブ産業活用促進事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>産業におけるデザインの活用や、事業に“デザイン思考”を取り入れることによる経営改善及び新たな事業の創出等を支援するため、専門家による相談対応やセミナー等を実施(起業家支援拠点 Kawasaki-NEDO Innovation Center(K-NIC)の一事業として実施)</p> <p>■ 相談対応 実施場所:Kawasaki-NEDO Innovation Center (K-NIC) 〒212-8554 川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー5階 (受付時間:平日 10 時~18 時) ※ホームページ URL:https://www.k-nic.jp/ ※相談は事前申込制にて実施</p> <p>■ セミナー開催</p> <p>① レゴ®シリアスプレイ®を通じて起業の価値を『見える化』しよう 開催日時:令和 6 年 1 月 20 日(土) 内 容:レゴブロックを用いて、起業のアイデアを整理するワークショップ 講 師:YMZK(アールヤマザキ)氏</p> <p>② プロダクトデザイナーに学ぶ オモシロイをカタチにする3つのポイント 開催日時:令和 6 年 2 月 21 日(水) 内 容:面白い製品を生み出すアイデア発想についてトークセッション 講 師:工業デザイナー 小池 輝政氏</p> <p>■ 事業者とクリエイター・デザイナーのマッチングサイト「かわさき Biz コン」運営 川崎市では、「もっと情報発信したい」、「何か新しいことを始めたい」といった思いを抱く市内事業者とクリエイター・デザイナー等をつなぎ、新事業の創出等を促進するため、マッチングサイト「かわさき Biz コン」を開設し、運営している。</p> <p>「かわさき Biz コン」ホームページ URL https://kawasaki-contents.jp/</p>		
令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	—	12,549 千円 (K-NIC 全体予算)



新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構											
	部署名	マーケティング支援グループ											
	電話連絡先	025-250-6288											
事業名	生活関連産業デザイン・ブランディング支援事業「Design LAB(デザイン・ラボ)」												
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)													
<p>NICO の支援メニュー「Design LAB」では、商品開発、プロモーション手法の相談から、人材育成まで。「デザイン視点(設計・意匠)」で全面サポートいたします。</p> <p>◎商品デザイン・ラボ(無料相談):https://www.nico.or.jp/sien/senmonka/64045/ 商品・サービスが生まれ、お客様の手に届くまで。 「つくる」「魅せる」「伝える」の3つの視点で、アドバイザーによる相談対応を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン相談:16 件 ・プロモーション相談:29 件 ・クリエイティブマッチング:2 件 <p>◎企業戦略デザイン・ラボ : https://www.nico.or.jp/sien/seminar/66719/ 課題の発見から解決までの一連の流れをデザイン思考により学び、課題解決力の向上を図ります。デザイン思考を身につけるため、セミナーとワークショップによる連続講座(全 5 回)を実施しました。</p> <p>【講師】榊フレーム 代表取締役 石川竜太 氏</p> <p>○セミナー:NICO デザインセミナー～お客さんの視点でちゃんとモノづくりしてますか?～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日:7/5(水) ・開催場所:NICO プラザ会議室(新潟市中央区万代島 5-1万代島ビル 11F) ・参加者数:70 名 <p>○連続講座(ワークショップ):売れない商品の分析を通じ、「デザイン思考」を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日と内容 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">第 1 日目:8/29(火)</td> <td>デザイン思考の基本と模擬体験(その1)</td> </tr> <tr> <td>第 2 日目:9/26(火)</td> <td>模擬体験(その2)とヒアリングのプロセス</td> </tr> <tr> <td>第 3 日目:10/24(火)</td> <td>情報の整理・深掘りから真因を探る</td> </tr> <tr> <td>第 4 日目:11/21(火)</td> <td>アイデアから改善策をつくる</td> </tr> <tr> <td>第 5 日目:12/12(火)</td> <td>売れるための改善策とは?</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所:NICO プラザ会議室(新潟市中央区万代島 5-1万代島ビル 11F) ・参加者数:5 社 <p><参考:令和 6 年度事業全体紹介ページ> https://www.nico.or.jp/sien/senmonka/71805/</p>				第 1 日目:8/29(火)	デザイン思考の基本と模擬体験(その1)	第 2 日目:9/26(火)	模擬体験(その2)とヒアリングのプロセス	第 3 日目:10/24(火)	情報の整理・深掘りから真因を探る	第 4 日目:11/21(火)	アイデアから改善策をつくる	第 5 日目:12/12(火)	売れるための改善策とは?
第 1 日目:8/29(火)	デザイン思考の基本と模擬体験(その1)												
第 2 日目:9/26(火)	模擬体験(その2)とヒアリングのプロセス												
第 3 日目:10/24(火)	情報の整理・深掘りから真因を探る												
第 4 日目:11/21(火)	アイデアから改善策をつくる												
第 5 日目:12/12(火)	売れるための改善策とは?												
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額										
継続して実施		令和元年度	-										

新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構
	部署名	マーケティング支援グループ 生活関連マーケティングチーム
	電話連絡先	025-250-6288

事業名	ニイガタ IDS デザインコンペティション
-----	-----------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

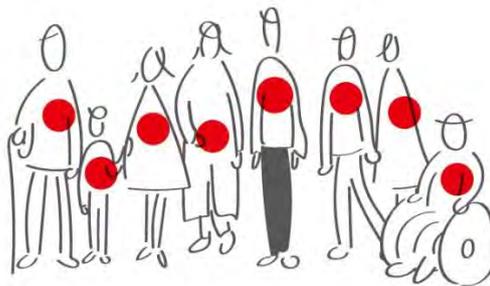
本コンペティションは「新潟発ブランド化」を支援するための取り組みとして 1990 年より毎年開催。「IDS＝県内の力が結集して、生活創造提案を生み出す仕組み」として、受賞商品を中心とした展示会出展などの出口支援や、審査委員との交流会による「次の商品開発に向けたアイデア」を得る機会の提供など、新潟から新商品・サービスが生まれ続けるよう支援の枠組みを整えています。

New Life
New Standard
from IDS

NIIGATA IDS DESIGN COMPETITION 2024

ニイガタIDSデザインコンペティション2024

Entry 2023.10.2_{mon} — 12.25_{mon}



- 募集部門:ライフ部門、ソーシャル部門の2部門で募集
- 応募資格:新潟県内の企業・個人又は複数の県内企業で構成された団体・グループなど
- 応募商品:令和 5 年1月1日以降に発売、又は令和 6 年 12 月までに消費者が購入または利用できる商品やサービス
- 審査:2/20(火)
- 表彰:3/26(火)
- 審査委員:デザイン、流通、情報系の 3 ジャンルの専門家 6 名に委嘱
- ・審査委員長:
村田 智明氏:(株)ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
- ・審査委員:
植木 啓子氏:大阪中之島美術館 学芸課長
武井 隆道氏:(株)ハーズ PB 開発推進部 部長
土居 輝彦氏:mono マガジン編集ディレクター
馬場 省吾氏:(大)長岡造形大学 副理事長 学長
矢島 里佳氏:(株)和える 代表取締役
- ◎審査:「企画力」「実現力」「市場力」の3つの視点で審査
- ◎賞:大賞を含む 7 賞(12 点) 出品商品数/73 点、出品者数/55 者

<参考 URL> <https://www.nico.or.jp/ids>

令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 6 年度も継続して実施	平成 2 年度	—

新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構	
	部署名	マーケティング支援グループ 生活関連マーケティングチーム	
	電話連絡先	025-250-6288	
事業名	「百年物語」ブランド構築事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>多彩なものづくりの土壌を持つ新潟県の生活関連産業をベースに、幅広い業種の参加による商品開発やプロモーション活動により、新潟発ブランドの構築を目指す事業です。</p> <p>◎商品開発:毎年新作を開発するイヤーマネジメント制。 ・テーマ:「優れモノ×豊かな感性=至福のひととき」 ・参加企業数:3社 ○アドバイザー: ・デザインアドバイザー:松井デザインスタジオ(株) 代表 松井龍哉氏 ・マーケティングアドバイザー:(株)エンファクトリー ショッピングユニット 副ユニット長 / 総店長 柳沼周子氏 ・ブランディングアドバイザー:(株)環境構造研究システム 代表取締役 中村正樹氏 ◎プロモーション・販路開拓 ・ギフトショー2024 春で新作発表。 ・ホームページ、SNSを活用したプロモーション活動を実施。 ・県内外のショップでのポップアップイベント等を実施。</p>			
			
<p><参考 URL> https://www.nico.or.jp/hyaku/ Facebook ページ https://www.facebook.com/hyakunen/ Instagram https://www.instagram.com/hyakunen_monogatari</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施		平成15年度	-

新潟県	機関名	公益財団法人にいがた産業創造機構	
	部署名	マーケティング支援グループ 生活関連マーケティングチーム	
	電話連絡先	025-250-6288	
事業名	新潟クリエイティブバンク		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業が取組むモノやコトの開発における、クリエイティブ産業人材の効果的な活用促進を目的に、県内外で活躍するクリエイティブ業務に従事する事業所の情報を広く収集し、ホームページ等を通じて紹介する「新潟クリエイティブバンク」を運営。クリエイターやデザイナーを探す事業者からの要望に応えるため、「クリエイティブマッチング」も行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象:クリエイティブ業務を行う県内外に事務所を置く事業所(法人・個人事業主) ・募集:随時受付 ・登録数:83社(令和5年度の新規登録件数:4社) <p><参考 URL> https://www.nico.or.jp/creative-bank/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施		平成29年度	—

新潟県	機関名	公益財団法人新潟市産業振興財団	
	部署名	ビジネス支援センター	
	電話連絡先	025-226-0550	
事業名	食の商品開発補助金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市内中小食品メーカー等の販路拡大のため、マーケットに受け入れられる商品開発や商品ブラッシュアップを、財団の専門家がハンズオンにより支援する。</p> <p>・対象者 新潟市内に本社又は商品の開発・改良を行う事業所を有する中小企業者</p> <p>・対象事業 自社商品の開発や既存商品の改良の取り組み 「輸出・インバウンド・冷凍・サステナビリティ・防災・フードテック・6次産業化・発酵」のいずれかに関連する商品開発・改良。</p> <p>・補助対象経費 原材料費、外注・委託費、デザイン費、販促費、機械装置(リース・レンタルのみ)・加工費、旅費、その他の経費</p> <p>・補助率 補助対象経費の2/3以内</p> <p>・補助限度額 上限100万円まで</p> <p>・令和5年度実績 5件(うちデザインに関する費用を含むもの4件) ※令和6年度より補助限度額等を変更したため、補助金の内容は上記と同一ではない。</p>			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成20年度	4,520千円

新潟県	機関名	燕市
	部署名	産業振興部商工振興課
	電話連絡先	0256-77-8232

事業名	燕ブランド推進事業 「ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2024」 「若 mono デザインコンペティション燕 vol.8」
-----	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

【ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール】

付加価値の高い商品を提供していくことを目的に、地域企業の企画力・デザイン力の充実を図り、オリジナリティ溢れる商品を評価・推奨する。なお表彰式に合わせて、審査委員長によるデザイン思考を取り入れた新たな商品開発を支援するための講話を行い、新しい付加価値の高い商品を生み出す流れを創出していく。今回で 47 回目を数え、グランプリには経済産業大臣賞が授与される、歴史のあるコンクール。

- 募集対象:金属洋食器、金属ハウスウェア、関連商品・新分野開発製品
- 出品特典:受賞の有無にかかわらず、希望により製品紹介 HP に掲載

賞		賞金	賞		賞金
グランプリ	経済産業大臣賞	1 点 50 万円	優秀賞	関東経済産業局長賞	1 点 20 万円
準グランプリ	経済産業省製造産業局長賞	1 点 30 万円		新潟県知事賞	1 点 20 万円
	中小企業庁長官賞	1 点 30 万円	審査委員特別賞	委員毎に選定(他賞との重複なし、賞金なし、各委員 1 製品)	

【若 mono デザインコンペティション燕】

産官連携により学生や若手デザイナー・クリエイターを育成するとともに、若者目線の新しい価値や感性、才能を市内に呼び込み、地域企業の技術力とマッチングさせることで、新たな付加価値の高い商品を生み出す流れを創出していく。

- 募集対象:市内ものづくり企業における新たな製品のプロダクトデザイン
- 企業協力特典:各テーマに沿ったプロダクトデザインの蓄積

部門	賞	点数	賞金	備考
デザイン部門	大賞	3 点	各 30 万円	協力企業は独自で商品化検討可能
	企業賞	点数制限なし	なし	
アイデア部門	企業賞	点数制限なし	なし	

【令和5年度の実賞作品】



ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール 2024
 グランプリ/経済産業大臣賞
 匠ブランジェトースター



若 mono デザインコンペティション燕 vol.8
 デザイン部門大賞
 kuumuus

令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 27 年度	5,014 千円

山梨県	機関名	山梨県産業技術センター	
	部署名	甲府技術支援センター デザイン技術部	
	電話連絡先	055-243-6111	
事業名	研究開発・技術支援		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【研究開発】企業現場のニーズに即した研究を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総理研究「山梨県固有のデザインソースの集積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究」 ・経常研究「パラメトリックデザインの地場産業への活用に関する研究」 ・課題対応受託研究 <p>【技術相談】県内企業の技術的課題の解決や問い合わせなどについて対応。</p> <p>【客員研究員による支援】特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する方を招聘し県内企業への支援を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)マサミデザイン 高橋 正実 氏 ・(株)大沼デザインスタジオ 大沼 敦 氏 <p>【中小企業重点支援事業】企業が抱える技術的課題を現場で解決するため、センターの職員を一定期間派遣して支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「3D CAD 活用による製品の高付加価値化」 <p>【職員派遣】県内団体が実施するデザイン関連の審査会等への職員の派遣。</p> <p>【設備利用】生産技術の改善・開発、製品の品質向上・製品開発などを目的とした企業向け設備機器の開放。</p>			
主な設備			
	フルカラー樹脂 3D プリンタ	光学式 3D スキャナ	小型真空成型機
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		平成 4 年度	-

山梨県	機関名	山梨県産業技術センター	
	部署名	甲府技術支援センター デザイン技術部	
	電話連絡先	055-243-6111	
事業名	人材育成事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【ものづくり人材育成研修】デザイン技術を活用した商品開発の総合的な実務能力を有する高度人材の育成のため、ものづくり人材育成研修の中で実習を含む計4回の研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「設計開発力強化講座① ～3D スキャナの概要・ビジネス状況について～」 ・「設計開発力強化講座② ～リバーズエンジニアリングについて～」 ・「試作開発力強化講座① ～3D プリンタの概要・ビジネス状況について～」 ・「試作開発力強化講座② ～フルカラー3D プリンタの造形について～」 <p>【デザイン特別講座】県内企業の商品開発活動促進のための情報提供・能力養成を行うセミナーを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「"デザイン・フォー・オール"の視点から価値の連鎖を創造する」 ・「mitate プロジェクト ～AIとデザイナーによるプロダクト開発～」 <p>【セルロース技術講習会】県内産業の和紙・木工業界に関するセミナーを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「パルプモールドの基礎知識と活用について」 <p>【トレンド・情報技術講習会】県内産業の繊維業界に関するセミナーを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「『2030年に向けた繊維産業の展望』について」 <p>【設備利用講習会】導入設備の操作方法と活用に関するセミナーを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「レーザー加工機活用セミナー」 <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/r5event.html</p> <p>【技術者研修】企業技術者へのデザイン技術に関する個別研修を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Adobe Illustrator の基本操作習得」 ・「Rhinceros の基本操作習得」 <p>【出前技術講座】職員が現場で技術や研究成果などを説明・解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「[URUSHINASHIKA]の企画開発について」 			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		平成4年度	500千円



山梨県	機関名	山梨県産業技術センター	
	部署名	甲府技術支援センター デザイン技術部	
	電話連絡先	055-243-6111	
事業名	デザイン情報調査提供事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【情報提供】デザイン開発を行う際に必要な各種デザイン情報を収集提供することにより、県内企業・デザイナーなどの事業活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン情報紙「DESIGN YAMANASHI」の発行 複数の分野にまたがる膨大なデザインの知識から、ものづくりのアイデアの誘因を目的としたキーワードを一つ取り上げ、商品・サービスの企画開発やデザインへの応用の方法・考え方などをまとめ、ポストカード形式で隔月発行。 デザインライブラリーの整備 各分野のデザイン関連図書情報を収集し、閲覧・貸出を行う。 <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/design/jouhou/top.html</p> <ul style="list-style-type: none"> YAMANASHI DESIGN ARCHIVE の運営 山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を、産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して編集し、ウェブサイト上で公開、独自性のある商品開発等に使用する目的で提供を行う。 <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://design-archive.pref.yamanashi.jp</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		平成4年度	1,500千円



「DESIGN YAMANASHI」



「YAMANASHI DESIGN ARCHIVE」

長野県	機関名	長野県工業技術総合センター
	部署名	技術連携部門
	電話連絡先	026-268-0602

事業名	地域資源製品開発支援センター事業(愛称:デザインサポートながの)
------------	----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

○事業概要

【信州の地域資源を「喜ばれる商品・ブランド」に】

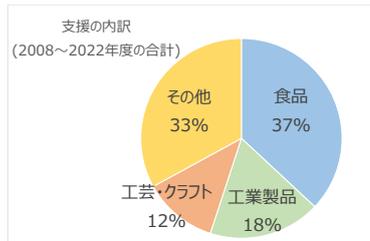
構想企画からデザイン、販売促進、情報発信まで地域資源を活かした商品化の実践を(公財)長野県産業振興機構、(一財)長野県発明協会等と連携して総合的に支援する。製品デザイン開発支援時には、総合プロデューサーを中心に、専門家(デザイナー)を招聘して、プロジェクトを推進する。事業者が負担する専門家への謝金の1/3を補助する制度を設けている。プロジェクト完了後は事業者の希望に沿って記者会見、県のアンテナショップにおけるモニタリング販売などのアフタフォロー支援を行う。

<参考 URL>

<https://www.gitc.pref.nagano.lg.jp/joho/chiikishigen/>

○支援実績(令和5年度)

製品化案件 :6件
 その他支援案件:117件



○製品化支援事例



きざみ野菜「ごはんに和レリッシュ」
 (有)宮城商店 /千曲市
 国産の刻み野菜を使用した新しい食べ方を提案する漬物。名称、商品ラベルデザインを支援。



クラフトどぶろく「仮面の女神」
 (有)丸井伊藤商店 /茅野市
 果物などのフレーバを付加した新感覚どぶろく。商品ラベルや販促物のデザインを支援。



「豆腐こんにゃく」
 (株)ポタジェやすおか /泰阜村
 凍り豆腐の粉末を加え、独特の食感を実現したこんにゃく。商品コンセプト、パッケージデザインなどを支援。



健康茶「YURU TEA」
 (株)黒姫和漢研究所 /信濃町
 “ゆとりとくつろぎ”をテーマにした3種類の健康茶。パッケージデザインを支援。

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成20年度	14,062千円

長野県	機関名	長野市
	部署名	企画政策部広報広聴課都市ブランド推進室
	電話連絡先	026-224-9716
事業名	都市ブランディング推進事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>長野市では、未来に向けて存在感(プレゼンス)を高め、「選ばれる都市」となるために、市全体の価値の創出と共感を呼び起こす「都市ブランディング」に取り組んでいる。市民の対話を通じて、未来に向けた都市イメージを「都市ブランドコンセプト」として文章にまとめ、そのコンセプトから導き出された、長野市らしさを表すメッセージである「タグライン」や、コンセプトを図案化する「ロゴマーク」など、都市ブランドデザインを作成する。</p> <p>■ 経緯と実績</p> <p><経緯></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月 官民で組織するワーキングチームで都市ブランディングの方向性を検討 令和3年1月 市内学生や若者を中心とした「ながのブランディングワークショップ 2021」を開催 令和3年11月 都市ブランディングに関わる市民や関係者の拡大を図るとともに、地元クリエイターの発掘をねらいとする「NAGANO 未来デザインアワード」を開催(応募作品:125点) 令和4年9月 長野市の魅力等のキーワード、未来のアイデアなどを聞き取るヒアリングを実施 令和4年10月 都市ブランドのターゲットを参加者とするワークショップを開催 令和4年11月 長野市の魅力や価値などについて、市公式LINE等により市民を中心にアンケート調査を実施(回答数:1,387件) 詳細:https://www.city.nagano.nagano.jp/menu/8/3/13/index.html <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年7月 タグライン候補、都市ブランドコンセプト、都市ブランディングの取組過程等について市民意見を聴取し、タグラインを決定する際の参考とするため「都市ブランドアンケート」を実施(計176件) 令和5年8月 都市ブランドデザインの使用者を想定した、市民、学生、クリエイター・発信者、市職員の意見書を聴取し、デザイン制作の参考とするため「都市ブランドデザイン会議」を開催(4回:延べ60名) 令和5年8月 長野市のイメージ(色や景色など)について、市民意見を聴取し、デザイン制作の参考とするため「都市ブランドデザインアンケート」を実施(計550件) 令和5年11月 長野市の都市ブランドのイメージを可視化した「都市ブランドデザイン(ロゴ)」と、都市ブランドに込められた想いを短い言葉で表現した「メッセージ(タグライン)」を作成し、記者発表会で披露 詳細:https://www.city.nagano.nagano.jp/n042000/n042005/contents/p006070.html 令和6年1月 都市ブランドデザインの基本要素に関する使用ルール等をまとめたガイドラインを策定し、令和6年1月に市公式ホームページで公開 詳細:https://www.city.nagano.nagano.jp/n042000/n042005/contents/p006071.html 		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	19,634千円



長野県	機関名	諏訪市	
	部署名	経済部商工課工業・ブランド振興係	
	電話連絡先	0266-52-4141(内線 433)	
事業名	地域ブランド SUWA プレミアム		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>諏訪地域 6 市町村の事業者の商品を対象に官民連携地域ブランド「SUWA プレミアム」を運営しています。</p> <p>(1)認定審査会(年2回) SUWA ブランド推進委員会による審査会が開かれ、審議の結果、認定となった商品についてオフィシャルショップや EC サイトで販売、WEB サイトや SNS 等で情報発信します。審査会では専門家によるデザインや販売方法等のアドバイスを事業者にフィードバックします。</p> <p>(2)販売・テスト販売(随時) ブランド認定商品は諏訪市を代表する観光施設内で販売されます。また、認定前の商品についてもテスト販売を実施する事が可能です。消費者からの声を直に事業者に届けることが可能で、デザイン・販売方法等のブラッシュアップやマーケティングに繋がります。</p> <p>(3)デザイナーとのマッチング支援(随時) 長野県デザイン振興協会と連携し、商品開発・デザインブラッシュアップを実施したい事業者と県内デザイナーとのマッチング支援を行います。</p> <p>(4)販路開拓イベント(年 2 回) 域内最大の集客力のあるショッピングセンター及び首都圏エリアで展示販売イベントを開催し、商品の PR 及びブランドの認知度向上を図ります。</p> <p>(5)産業連携事業補助金(年 1 回/10 月審査会 補助上限額 100 万円・対象経費の 2/3) 複数の産業間の連携を促進して、地域の活性化や課題解決を図る補助金です。本補助金を活用して諏訪市内の事業者とデザイナーとの協業を促進し、新たな商品開発や商品デザインのブラッシュアップに繋がった事例が創出されています。</p> <p><参考 URL> https://suwa-premium.net/ https://www.city.suwa.lg.jp/soshiki/19/4046.html </p>			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 26 年度	4,100 千円



静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	グッドデザインしずおか選定事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業概要： 県内の中小企業におけるデザインの活用推進を図るため、県内の中小企業等が生み出したデザイン性に優れた「モノ」「コト」を募集、選定し、成功事例として広く情報発信するとともに、販路開拓支援やデザインレベルの向上支援等を行う。</p> <p>■ 応募資格： 県内に活動拠点がある企業、個人、グループ、団体等</p> <p>■ 募集対象： デザイナーと連携し、デザインを活用して生み出した「モノ」「コト」</p> <p>■ 募集期間： 令和5年6月1日～令和5年7月28日</p> <p>■ 選定方法： 大学教員、デザイナー、流通等の専門家 10名程度で構成される審査会を設置し、応募書類審査及び応募者によるプレゼンテーションの上、審査員の協議により、選定。</p> <p>■ 審査日程： 令和5年9月4日 一次審査(書類審査) 令和5年10月16日 二次審査(応募者によるプレゼンテーション)</p> <p>■ 表彰： 大賞(知事賞) 1点 総合的に評価が最も高いもの 金賞 2点 大賞に次いで評価が高いもの 特別賞等 9点 上記以外で審査員の評価の高いもの</p> <p>■ 支援等： 審査員との意見交換会 首都圏で開催される展示会への出展(東京インターナショナル・ギフト・ショー) 流通アドバイス会(販路開拓等について、専門家と個別面談) 選定品紹介パンフレット、静岡県ホームページでの紹介</p> <p>■ リブランディング： 専用ホームページの開設(https://www.pref.shizuoka.jp/design/index.html) スローガンの作成：「デザイン思考で地域を活性化させる」 ロゴマークの刷新：</p>			
		<p>G(GOOD DESIGN)とS(SHIZUOKA)を組み合わせ、水面に映る逆さ富士がモチーフ。</p> <p>水鏡を表しており、「物事の本質を見通す力を有し、優れたデザインで社会に貢献した取組を称える」という意味が込められている。</p>	
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成5年度	11,700千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	ふじのくに未来デザイン選定事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業概要：デザインを学ぶ学生が制作する「モノ」や「コト」を対象としたコンテストを実施し、制作者の着眼点や発想から、デザイナーとしての素質を評価し、未来のデザイナーを発掘する。</p> <p>■ 応募資格：静岡県内在住又は通学、出身の大学生又は専門学校生</p> <p>■ 募集対象：デザインを活用して提案した「モノ」「コト」</p> <p>■ 募集期間：令和5年6月1日～令和5年8月18日</p> <p>■ 選定方法：デザイナー等6名程度で構成される審査会を設置し、応募書類審査及び応募者によるプレゼンテーションの上、審査員の協議により選定</p> <p>■ 審査日程：令和5年9月12日 一次審査(書類審査) 令和5年10月9日 二次審査(応募者によるプレゼンテーション)</p> <p>■ 表彰：優秀賞(4点)</p> <p>■ 受賞支援：選定権と賞金の授与 県ウェブサイト等での通知</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/shokogyoservice/chiikisangyo/1044755/1047496/1054105.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成元年	737千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	デザインマッチング事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業概要：デザインによる製品開発等を希望する中小企業等と民間デザイナーとのマッチングを支援するため、デザイナーと生産者の1対1の相談会を実施する。</p> <p>■ 実施機関：静岡県工業技術研究所</p> <p>■ 実施期間：令和5年6月～令和6年2月（参加者が希望する日程）</p> <p>■ 参加者：県内の民間デザイナー（16名） 県内中小企業、団体等</p> <p>■ 実施内容：県内中小企業向けのデザイン相談会の開催 県内中企業とデザイナーとのマッチング及びそのフォローアップ</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri.pref.shizuoka.jp/info/28281/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成27年度	425千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	学生連携デザイン事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業概要：伝統工芸の魅力発信、ブランド価値の向上等へのデザインの活用を促進するため、伝統工芸品の職人と学生が連携して、新商品の開発に取り組む。</p> <p>■ 実施機関：静岡文化芸術大学</p> <p>■ 参加者：学生 静岡文化芸術大学生 4名 生産者【駿河和染】鷲巣恭一郎氏</p> <p>■ 委託期間：令和5年10月～令和6年3月</p> <p>■ 実施内容：茶染めの工程をイメージしたデザインの野点傘(ミニチュア)やカップスリーブの試作 試作品の展示発表会の開催</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/shokogyoservice/chiikisangyo/1044755/1061471.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		平成30年度	838,千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	デザイン情報力強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業概要：デザイン関係の相談窓口、デザイナーバンク、デザインカレンダーなどの運営、情報提供を行い、県内企業の高付加価値製品開発の推進やデザインレベルの向上などデザイン活用の推進を図る。</p> <p>■ 実施機関：静岡県工業技術研究所</p> <p>■ 実施内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザイナーバンク 静岡県内に活動拠点のあるデザイナー(グラフィック、プロダクト等)の情報をデータベース化し、一覧表としてホームページ上に公開 登録デザイナー数：45名 ・デザインカレンダー 県内で開催されるデザイン関係のイベント情報を、カレンダーとしてホームページ上に公開 ・デザインライブラリー 工業技術研究所が所蔵する出版物(雑誌等)の閲覧及び貸出 所蔵出版物：約2300点 <p>■ アクセス件数：1,789件</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.iri.pref.shizuoka.jp/dis/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成13年度	3,336千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-2522	
事業名	デザイン研究開発・相談・指導		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業概要：デザイン開発総合支援システム(機器)の開放、デザイン技術相談・指導及び研究開発を行い、県内企業の高付加価値製品開発の推進やデザインレベルの向上などデザイン活用の推進を図る。</p> <p>■ 実施機関：地域産業課、静岡県工業技術研究所</p> <p>■ 実施内容： ・技術指導・相談 工業技術研究所では技術的な相談、地域産業課では、デザイン施策に関する相談に対応</p> <p>・デザイン開発総合支援システムの開放利用 工業技術研究所が所有する、カラープロッタ及びレーザー加工機、三次元樹脂造型機等を企業等へ開放</p> <p>■ 技術指導・相談件数：2027 件</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > http://www.iri.pref.shizuoka.jp/dis/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成13年度	6,594千円

静岡県	機関名	静岡県	
	部署名	経済産業部商工業局地域産業課	
	電話連絡先	054-221-3344	
事業名	魅力ある個店を対象としたデザイン表彰(「地域のお店」デザイン表彰)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■ 事業内容 : 地域を牽引する高レベルな個店の連鎖でエリアの魅力を高め、地域商業の活性化につなげるため、外観のデザインに留まらず、地域や社会への貢献、個店の持つべき機能の発揮等、広い意味でのデザインという観点から、魅力と個性に優れた個店を表彰する。</p> <p>■ 対 象 : 「ふじのくに魅力ある個店」登録店</p> <p>■ 募集期間 : 6月1日～6月30日</p> <p>■ 選定方法 : デザイナー、まちづくり、ライフスタイル等の専門家4名で構成される審査委員会を設置し選定</p> <p>■ 審査日程 : 一次審査(書類審査)(7月31日)、現地調査及び審査委員会(8月30日、31日、9月5日)</p> <p>■ 賞の種類 : 大賞(県知事賞) 総合的に最も優れた店舗:1店舗</p> <p>優秀賞 大賞に次ぐ優れた店舗:数店舗</p> <p>特別賞 今後の活動が期待される店舗:数店舗</p> <p>■ 受賞店舗の広報等 :</p> <p>受賞店舗は、県ホームページ、パンフレット等により広く周知</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL></p> <p>https://f-koten.jp/award.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成28年度	2,401千円

富山県	機関名	富山県	
	部署名	商工労働部商工企画課	
	電話連絡先	076-444-3245	
事業名	デザイン振興事業(一部)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■富山デザインウェブの開催支援 商品化を目的とした「富山デザインコンペティション」を核としたデザインイベントの集合体。デザイン開発の促進と、若手デザイナーの育成を目的として毎年開催。</p> <p>■デザイン系大学と連携したデザインワークショップ 県内企業のデザイン人材の確保及びデザイン思考の実践を支援するため、県内外のデザイン系大学の学生と県内企業が共同で試作品開発を行うワークショップ等を実施するなど、産学官連携による人材育成に取り組む。</p> <p>■とやまの新ブランド「美のこわけ」創出事業 R3 年度から「越中富山お土産プロジェクト」の第3弾として、県内の「美と癒し」をコンセプトとした新ブランド「美のこわけ」ブランディング及び商品開発支援のほか、認知度向上のための各種施策を実施。</p> <p>■クリエイティブ・デザイン・ハブでの新事業開発 国内外のデザイナー、企業等の多くの異業種の人材が集う拠点として平成 29 年にオープンした「クリエイティブ・デザイン・ハブ」における新商品開発・新事業創出を推進。</p> <p>■バーチャルスタジオの機能拡充 VR技術を活用したデザイン検証施設として整備した同スタジオについて、コロナ禍におけるオンライン配信ニーズに対応するため、関連設備を追加整備。既設の大型プロジェクション装置と連動することで、新商品、新ブランド発表のオンライン配信をはじめ、セミナー等各種イベントの配信にも対応。デザイン検証から情報発信までに対応する多目的スタジオとして機能拡充。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
一部令和6年度も継続して実施予定		—	22,818 千円



写真:ブランド発表オンライン配信

富山県	機関名	富山県	
	部署名	商工労働部商工企画課	
	電話連絡先	076-444-3245	
事業名	総合デザインセンター事業(一部)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイナーの資質向上及びデザイン開発型企業の育成を目的に、富山県総合デザインセンターを中心として、商品企画からデザイン開発、販路開拓までを総合的に支援。</p> <p>■商品開発支援 ・県内企業等を対象とし、各企業の状況に応じた開発の方向性(新商品開発、パッケージデザイン、ブランド構築等)をアドバイス ・企業とデザインセンターの共同商品開発、各種コンペ優秀作品の商品化支援 ・3Dプリンター等、商品開発に必要な試作用設備の開放・操作指導</p> <p>■販路開拓支援 ・富山プロダクツ選定事業:県内で企画または製造される性能、品質及びデザイン性に優れた商品を「富山プロダクツ」として選定し、総合カタログやホームページへの掲載など販路開拓を支援。 ・デザインブランド販路開拓事業:セレクトショップ等を活用し、県内企業のデザイン性の高い商品を展示し、販路開拓を支援。 (令和3年度より、映像配信による支援を追加)</p> <p>■デザインセミナーの開催 ・県内企業関係者等を対象にデザインの最新情報などを発信するデザインセミナーを開催。 <参考 URL> https://www.toyamadesign.jp/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施予定		平成 11 年度	23,148 千円



写真:サカエ金襴 (株)
ZAF SAUNA
R6 富山プロダクツ選定品



配信チャンネル

富山県	機関名	富山市	
	部署名	商工労働部 コンベンション・薬業物産課	
	電話連絡先	076-443-2071	
事業名	富山デザインフェア開催事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>企業や市民にデザインへの理解を深めてもらうため、優れた広告などの商業デザイン作品の展示をする他、若手デザイナーの育成を図るため、デザインスクールなどを行う。</p> <p>■富山デザインフェア2023 主 催 富山市(運営:富山デザインフェア実行委員会) 期 間 令和5年9月29日(金)~10月1日(日) 場 所 富山市民プラザ、デザインサロン富山</p>  <p>■展示(展示総数 816点) 「2023 TOYAMA ADC 展」「日本パッケージデザイン展2023とやま」他 新聞、TVなどの広告や、ポスター、景観広告など 11展</p> <p>■パッケージデザインコンペティション デザイナーを目指す学生の技術力向上と本市パッケージ産業の振興を目的としたパッケージデザインコンペティションを実施。 ・応募資格 日本国内の大学、大学院、短期大学、専門学校に在学中の学生 ・テ ー マ 「富山の〇〇をつつむ」 ・実 績 応募総数142作品、うち入賞15作品</p> <p>■デザインセミナー デザインについて広く一般に理解してもらうため、国内外で活躍しているトップクリエイターを講師に招き、セミナーを実施。 ・講 師 平野 篤史氏(アートディレクター) ・テ ー マ 「裏デザイン」 ・入場者数 70人</p> <p>■JPDAトークカフェ 2023 年度日本パッケージ大賞作品のクリエイティブディレクターをパネリストに迎え、開発に関する話や、近年の JPDA 大賞の傾向などについて講義。 ・講 師 信藤 洋二氏(資生堂クリエイティブ株) ・テ ー マ 「樹木の多様な美しさを未来へつなぐ BAUM のサステナブルデザイン」 ・参加者数 30人</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.city.toyama.lg.jp/business/shokogyo/1010601/1005740.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成3年度	1,869 千円

富山県	機関名	富山市	
	部署名	商工労働部 コンベンション・薬業物産課	
	電話連絡先	076-443-2071	
事業名	ポスターコーディネイト事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市民に街角でポスターに親しんでもらい、デザインの普及と街の賑わいづくりを図るため、ポスターギャラリー及びポスターパネルに市のイメージポスターやデザイン性の高いポスターを掲示する。</p> <p>■実施主体 富山市デザイン協議会(事業委託)</p>			
			
ポスターギャラリー(3基6面)		ポスターパネル(市内各所に設置されているパネルの歩道面6箇所)	
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成18年度	1,269千円

富山県	機関名	富山市	
	部署名	商工労働部 コンベンション・薬業物産課	
	電話連絡先	076-443-2071	
事業名	グラフィックデザイン推進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本市で作成されるイベント等のポスターのイメージを統一的に整備するため、ポスターデザインコンペを実施し、有識者から成る富山市ポスターデザイン選定委員会を設置し、富山市のイメージに相応しいポスターを選定する。</p> <p>■募集テーマ 富山デザインフェア2023(応募数79)、第70回全日本チンドンコンクール(応募数16)、第63回富山まつり(応募数35)、孫とおでかけ支援事業(応募数15)</p> <p>■賞金 大賞50万円 準大賞10万円 優秀賞5万円×2 ※孫とおでかけ支援事業は 大賞20万円 準大賞4万円 優秀賞2万円×2</p> <p>■応募資格 以下の要件を満たす18歳以上の方 ポスターデザインが大賞に選定された場合、デザインを基にしたチラシ作成及び会場、その他の広告物の監修ができること。また、平日の日中に3~4回程度の打合せができること。(打合せ場所は富山市役所を予定)</p> <p>■富山市ポスターデザイン選定委員会 審査委員長 伊東 順二 氏(美術評論家/富山市政策参与) 審査委員 中島 信也 氏(株式会社東北新社 顧問/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター) 〃 館鼻 則孝 氏(アーティスト) 〃 戸田 正寿 氏(アートディレクター) 〃 本木 克英 氏(日本映画監督協会 理事長/富山市政策参与)</p> <p>■実績</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>富山デザインフェア2023</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第 70 回全日本チンドンコンクール</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>第 63 回富山まつり</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>孫とおでかけ支援事業</p> </div> <p>事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.city.toyama.lg.jp/business/shokogyo/1010601/1005723.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	2,639 千円

富山県	機関名	高岡市
	部署名	産業振興部産業企画課
	電話連絡先	0766-20-1395
事業名	工芸都市高岡クラフトコンペティション	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>「工芸都市高岡クラフトコンペティション」は、1986年に産地プロモーションと地場産業活性化を目的に始まり、これまで伝統工芸産地発の全国公募展として、全国各地のクラフト作家、ものづくり事業者による個性溢れる作品を世に生み出してきました。</p> <p>●工芸都市高岡 2023 クラフト展 会期:令和5年11月3日(金・祝)～5日(日) 時間:午前10時～午後6時 ※最終日は午後3時まで 会場:御旅屋セリオ2階特設会場(富山県高岡市御旅屋町101) 詳細:工芸都市高岡クラフトコンペティションHP (https://www.ccis-toyama.or.jp/takaoka/craft/)</p>		
 <p style="text-align: center;">工芸都市高岡 2023 クラフト展</p>	 <p style="text-align: center;">工芸都市高岡 2023 クラフトコンペティション グランプリ作品</p>	
	 <p style="text-align: center;">工芸都市高岡 2023 クラフトコンペティション 準グランプリ作品</p>	
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	昭和61年度	未定

富山県	機関名	高岡市
	部署名	デザイン・工芸センター
	電話連絡先	0766-62-0520

事業名	クラフトマン・デザイナー育成支援事業
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

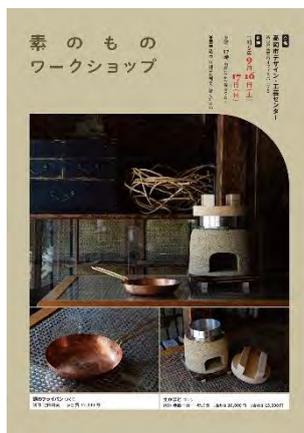
地元の作り手が講師となり、金属・漆・土などの手仕事の素材の魅力に触れるワークショップを開催する。クラフトマン・デザイナーを含めた作り手の発表機会、消費者との交流の場を提供するとともに、地場産業を中心としたものづくりの魅力発信を目的とする。平成 30 年度より実施。

■「素のもののワークショップ」

- 期日 令和 5 年 9 月 16 日(土)・17 日(日)
 会場 高岡市デザイン・工芸センター1F 工房、ロビー
 内容 ①銅のフライパンづくり
 講師:池田晴美(金工)
 全 3 回
 ②土かまどづくり
 講師:寺西一貴(左官)
 全 2 回

参加者数 31 名

<素のもののワークショップ URL>
<https://suncenter.co.jp/takaoka/events/>



案内ちらし



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
未定	平成 11 年度	147 千円

富山県	機関名	高岡市	
	部署名	デザイン・工芸センター	
	電話連絡先	0766-62-0520	
事業名	デザイン・クラフト情報提供事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>「伝統工芸産業人材養成スクール」など、当センターが実施する事業案内やイベント情報を掲載するウェブサイトを活用。また、高岡市のデザインや工芸に関連した最新情報を紹介する web 広報誌「NEWS LETTER」を定期的に公開し本市の魅力を発信する。</p> <p>■高岡市デザイン・工芸センターウェブサイト URL https://suncenter.co.jp/takaoka/</p> <p>■「NEWS LETTER」 平成 30 年度から実施 不定期発行 URL https://suncenter.co.jp/takaoka/magazine/</p>			
<p>NEWS LETTER</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>vol.1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>vol.2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>vol.3</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>vol.4</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>vol.6 特集「誠心誠意、生きる－人間国宝・大澤光民と若者たち－」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>vol.5</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>vol.6</p> </div> </div>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
未定		平成 11 年度	294 千円

富山県	機関名	高岡市
	部署名	デザイン・工芸センター
	電話連絡先	0766-62-0520
事業名	新クラフト産業・デザイン育成支援事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

高岡伝統産業における新産業創出を目指して、平成 11 年度の高岡市デザイン・工芸センターの開設と共に、関連企業のデザイン商品開発力と市場開拓力育成のため、デザイナー安次富 隆 氏(グッドデザイン賞審査員、多摩美術大学教授)指導のもと実施している。

これまでこのべ 300 社以上が参画し、機能作をはじめ、新分野開拓、販路拡大、雇用増を実現した成功企業を輩出している。平成 16 年度【 HiHill (ハイヒル)】プロジェクトはグッドデザイン特別賞受賞。令和 5 年度からは「新クラフト Labo(ラボ)」を実施。伝統工芸メーカー、職人、問屋などが参加。

■プロジェクト実績

- ・平成 11 年度【鉛レス素材開発研究会】参加 14 社
- ・平成 12～15 年【HiHill (ハイヒル) プロジェクト】21 社
伝統素材を活かした建築内外装材の開発。
※平成 16 年グッドデザイン賞特別賞受賞
- ・平成 16～18 年【うるおしプロジェクト】9 社、3 作家
水回りや女性向けの新高岡漆器商品開発。
- ・平成 19～21 年【いのり・いわいプロジェクト】16 社
従来の神仏具にとらわれない銅器、漆器関連商品開発。
- ・平成 22～25 年【udeco(ユデコ)プロジェクト】14 社
ユニバーサルデザイン(UD)、エコロジー(eco)商品。
- ・平成 26～28 年【ギフト開発プロジェクト「ZAI」】11 社 13 名
- ・平成 29～30 年【課題のデザイン】13 社 14 名
- ・令和 1 年～2 年【課題のデザイン 第 2 期】11 社 13 名
- ・令和 3 年～4 年【課題のデザイン 第 3 期】13 社 15 名
- ・令和 5 年～ 【新クラフト Labo】15 社 16 名

■事業サイト URL

<https://suncenter.co.jp/takaoka/new-craft/>



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 11 年度	1,086 千円

石川県	機関名	石川県／公益財団法人石川県デザインセンター	
	部署名	産業政策課／同上	
	電話連絡先	076-225-1512／076-267-0365	
事業名	基幹産業デザイン力育成支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本県の基幹産業である機械・繊維・IT・食品等の中小企業を対象に、「デザイン」の活用促進やデザインに関連する人材育成を行う。</p> <p>1 デザイン戦略セミナー 自社商品の開発を検討している企業を対象に、デザインの活用促進を目的としてデザインの役割や流れ、クライアントとデザイナーの関わり方を紹介するセミナーを開催 回数:1回 / 参加者:25人 / テーマ:一緒につくる「デザイン」の話</p> <p>2 デザイン新商品開発支援事業 県内企業の自社商品開発と県内若手デザイナー育成を目的に、企業とデザイナーが協働して行う新商品開発を支援 対象企業:4社 / 参加デザイナー:5名</p> <p>3 デザイントライアル事業 工業デザインに関わる団体や大学が連携し、地元企業から提示された商品開発課題に対して、学生が講師の指導を受けながらデザインを提案 対象企業:2社 / 学生:9人 / 研修会・演習:10回程度 連携機関:石川県プロダクトデザイン協会・金沢美術工芸大学</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://design-ishikawa.jp</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成23年度	県1,490千円 全1,990千円



デザイントライアル事業 研修会の様子

岐阜県	機関名	岐阜県	
	部署名	商工労働部地域産業課	
	電話連絡先	058-272-8361	
事業名	アフターコロナ対応新商品開発支援事業費補助金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>地場産業に係る製造業を営む県内中小企業者による、アフターコロナに向けた生産性の向上及び競争力の強化の取組みを支援するため、アフターコロナに対応する新商品の開発を行う事業に要する経費を支援する。</p> <p>1 補助事業者 地場産業に係る製造業を営む県内中小企業者等 ※地場産業 陶磁器、繊維・衣服、和紙、刃物、木工等に係る製造業</p> <p>2 補助事業等 (1) 補助対象経費 設備導入にかかる経費(機械装置費、システム構築費、専門家経費)</p> <p>(2) 補助率 補助対象経費の2/3</p> <p>(3) 補助額上限 1,000万円(下限:100万円)</p> <p>(4) 事業期間 交付決定日～令和6年2月29日(木)</p> <p>3 募集期間 令和5年4月10日(月)～5月12日(金) ※最終日の消印有効</p> <p>参考 URL https://www.pref.gifu.lg.jp/page/297241.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		令和3年度	105,000千円

岐阜県	機関名	岐阜県																
	部署名	商工労働部地域産業課																
	電話連絡先	058-272-8361																
事業名	中小企業販路開拓等緊急支援事業費補助金																	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)																		
<p>新型コロナウイルス感染症により停滞している県内地場産業の事業意欲を喚起するため、中小企業や組合等が取り組む国内・国外における見本市等への出展・開催や新商品開発などの経費を補助する。</p> <p>1 補助対象者 県内地場産業にかかる以下の者 製造業に属する県内中小企業者(小規模事業者除く)、県内地場産業の組合、実行委員会等</p> <p>2 補助事業等</p> <p>① 見本市等出展・開催事業</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>補助事業者</th> <th>補助事業</th> <th>補助上限額※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製造業に属する県内中小企業者</td> <td>国内・海外見本市等への出展 国内・海外見本市等の開催 自社 EC サイト※1での販売フェア開催</td> <td>最大 200 万円</td> </tr> <tr> <td>県内地場産業の組合、実行委員会等</td> <td>国内・海外見本市等への出展 国内・海外見本市等の開催</td> <td>最大 500 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 商品開発・改進黨業、担い手育成事業</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対象事業者</th> <th>補助事業</th> <th>補助上限額※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>製造業に属する県内中小企業者、県内地場産業の組合、実行委員会等</td> <td>商品開発・改良 担い手育成</td> <td>最大 500 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 EC サイトとは、電子商取引サービスを提供するウェブサイトであって、ウェブサイト上で商品の購入から決済までの商取引を行うことができる機能を有するものをいい、単に取扱商品を掲載するだけでなく、クレジットカード等の電子決済の機能を備える必要があります。</p> <p>※2 補助メニューの内容によって補助上限額は変動します。</p> <p>○補助率 補助対象経費の2/3 ○事業期間 交付決定日～令和6年2月29日(木)</p> <p>3 募集期間 令和5年4月3日(月)～5月12日(金) ※最終日の消印有効</p> <p>参考 URL https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/287370.html</p>				補助事業者	補助事業	補助上限額※2	製造業に属する県内中小企業者	国内・海外見本市等への出展 国内・海外見本市等の開催 自社 EC サイト※1での販売フェア開催	最大 200 万円	県内地場産業の組合、実行委員会等	国内・海外見本市等への出展 国内・海外見本市等の開催	最大 500 万円	対象事業者	補助事業	補助上限額※2	製造業に属する県内中小企業者、県内地場産業の組合、実行委員会等	商品開発・改良 担い手育成	最大 500 万円
補助事業者	補助事業	補助上限額※2																
製造業に属する県内中小企業者	国内・海外見本市等への出展 国内・海外見本市等の開催 自社 EC サイト※1での販売フェア開催	最大 200 万円																
県内地場産業の組合、実行委員会等	国内・海外見本市等への出展 国内・海外見本市等の開催	最大 500 万円																
対象事業者	補助事業	補助上限額※2																
製造業に属する県内中小企業者、県内地場産業の組合、実行委員会等	商品開発・改良 担い手育成	最大 500 万円																
令和6年度実施予定		開始年度	予算額															
別補助金にて実施予定		令和2年度	72,000 千円															

岐阜県	機関名	岐阜県	
	部署名	商工労働部地域産業課	
	電話連絡先	058-272-8194	
事業名	伝統工芸品デジタル促進等補助金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>伝統産業に携わる事業者がウィズコロナ・アフターコロナ社会を見据えて行うECサイトの構築、デジタルを利用した情報発信、自社商品開発等の事業を助成する。</p> <p>1 補助対象者</p> <p>① 国が指定する伝統的工芸品の指定組合または県が指定する郷土工芸品の指定組合</p> <p>② 国が指定する伝統的工芸品の指定組合の構成員または県が指定する郷土工芸品の指定組合の構成員</p> <p>2 補助事業等</p> <p>(1) 補助対象事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル活用事業(ECサイトの構築・改修、ECサイトでのフェア開催、SNS等を活用した情報発信事業) ・展示会等出展事業(国内外の展示会、見本市、商談会、物産展等への出展・開催事業) ・商品開発・改良事業 <p>(2) 補助率</p> <p>補助対象経費の2/3</p> <p>(3) 補助額上限</p> <p>上記補助対象者のうち、①該当事業者100万円/②該当事業者30万円</p> <p>(4) 事業期間</p> <p>交付決定日～令和6年2月29日(木)</p> <p>3 募集期間</p> <p>令和5年4月4日(火)～随時受付</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和4年度	1,500 千円

岐阜県	機関名	岐阜県	
	部署名	商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係	
	電話連絡先	058-272-8362	
事業名	県産品ブラッシュアップ事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>大都市圏への県産品流通拡大に当たって、有望な商品を掘り起こすとともに、真に売れる商品とするため、首都圏バイヤーなどの知見によるデザインやパッケージ等の改良と、テストマーケティングを通じた商品のブラッシュアップを図る。</p> <p>【事業の内容】 県内から商品を募集し、ブラッシュアップの対象となる商品を選定。バイヤーや店舗運営者、流通事業者等の意見を踏まえ、デザイナーを活用して、商品デザイン(色・サイズ)やパッケージ等を改良。 改良した商品は、首都圏の店舗でテストマーケティングを実施。そこで得られた消費者や市場、店舗の声を適宜生産者にフィードバックし、さらなる改良につなげる。 ブラッシュアップされた商品は、県が取り組む大都市圏での販売会などで売り込んでいく。 なお、専門家やデザイナーからのアドバイス等の費用は無料。ただし、デザイン等の改善にかかる試作品の製作費などは、事業者の負担になる。</p> <p>【セミナー兼説明会の開催日時/場所/参加者】 ・R5年5月25日(木)/飛騨・世界生活文化センター(岐阜県高山市)/9社 ・R5年5月26日(金)/セラミックパークMINO(岐阜県多治見市)/8社 ・R5年5月31日(水)/ハートフルスクエアG(岐阜県岐阜市)/12社</p> <p>【支援対象事業者数】 9社</p> <p>【テストマーケティングの実施期間/店舗名】 ・R6年1月26日(金)~2月8日(木)/日本百貨店 にはんばし總本店(東京都中央区)</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和2年度	6,000千円

愛知県	機関名	愛知県	
	部署名	経済産業局 産業部 産業科学技術課 研究開発支援グループ	
	電話連絡先	052-954-6370	
事業名	産業デザイン活用促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内の中小企業等に対し、「デザイン経営」の普及啓発及び定着を図ることを目的にセミナー・ワークショップを開催。また、「デザイン経営」を事業戦略に導入する機会を提供することを目的に専門家派遣を実施。</p> <p>1.「デザイン経営」セミナー&ワークショップ 日時:2023年9月21日(木) 2023年9月28日(木) 場所:オンライン開催(名古屋市中区栄3-18-1ナディアパーク・デザインセンタービル6階 セミナールーム3) 内容:講演①「経営活力! デザイン経営」 M1_Project デザインプロデューサー 杉野 実氏 講演②「デザイン経営始めました。老舗缶屋、ブランディングに挑戦する」 側島製罐株式会社 プロジェクトリーダー 佐藤 美樹氏 参加人数:43名 / 主催:愛知県</p> <p>2.専門家派遣 実施期間:2023年11月から2024年2月までの間 ※派遣日時及び回数は、支援内容に応じて調整 対象:県内中小企業で、専門家からの「デザイン経営」に関するアドバイスが必要な方 支援内容:「デザイン経営」の専門家が、企業を訪問し、企業の課題等にアドバイスを行う。 派遣企業:7社(10回) / 主催:愛知県</p> <p>URL:https://www.pref.aichi.jp/site/aichi-chizai/design2023-k.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		令和3年度	-



愛知県	機関名	名古屋市	
	部署名	経済局産業労働部産業企画課	
	電話連絡先	052-972-2412	
事業名	クリエイティブ産業創業支援事業「クリエイターズショップ・ループ」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>クリエイターの創業等を支援するため、クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」を設置し、販売・デザイン等の専門家によるアドバイスを受けながら商品の試験販売や活動紹介を実施できる場所を提供</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品販売と活動紹介の場としての売場スペースの提供 商品の開発、ディスプレイ、販売促進の相談・指導、その他広報支援 ワークショップなど顧客ニーズ把握のための機会提供 <p>出店期間:令和5年4月28日～令和6年3月28日 出店審査:書類審査と面接 審査基準:応募資格、活動実績、創業計画、将来性、商品内容、サンプル商品など 出店者数:14者(通年出店4者+約40日間ごとに入替の期間出店10者) 費用:無料(※若干の諸費用、販売手数料あり)</p> <p>企画運営:株式会社国際デザインセンター <参考 URL > https://loop.idcn.jp</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成23年度	19,596千円



愛知県	機関名	名古屋市
	部署名	経済局産業労働部産業企画課
	電話連絡先	052-972-2412
事業名	中小企業デザイン経営実践支援事業「FUXION EVOLVE」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

中小企業の新規事業開発を支援するため、デザイナー等を活用したデザイン経営の実践プログラム等を実施

- (1) シンポジウムの開催
キックオフイベントとして開催 50名参加
- (2) デザイン経営セミナー
デザイン経営に関する基礎的知識を学び、新商品・新サービスの創出への活用方法等について理解できるセミナーを実施
3日間(5コース) のべ 154名参加
- (3) 新価値創出支援プログラム
デザイン経営に基づく新規事業開発の過程をデザイナーとともに実践するワークショップを通して、新商品・新サービスの創出を支援するプログラムを実施 8社支援
- (4) 事業化伴走プログラム
専門家による伴走支援のもと、販路開拓、広報等の事業戦略の策定とその実践を通して、新商品・新サービスの事業化を支援するプログラムを実施 3社支援
- (5) 最終発表会
参加事業者自身の新規事業開発の経験をより深めるため、参加事業者が自身の開発する新商品・新サービスについてプレゼンテーションをする事業成果発表会を開催 50名参加

<事業スキーム>



<新価値創出支援プログラム実施風景>



令和6年度実施予定

<事業化伴走プログラム実施風景>

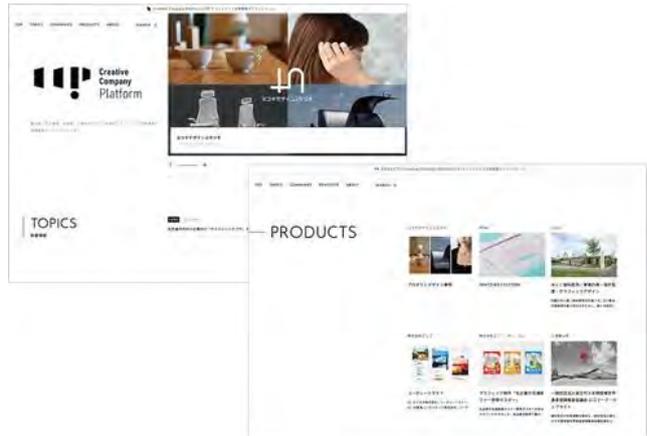


開始年度

予算額

「デザイン活用によるサステナブルビジネス展開支援事業」として 継続実施予定	令和6年度	25,000千円
--	-------	----------

愛知県	機関名	株式会社国際デザインセンター	
	部署名	事業部	
	電話連絡先	052-265-2104	
事業名	デザイン活用によるギフト EC 販売&事業者情報プラットフォーム構築事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>販路開拓支援補助金を受け、オンライン販売サイトおよびクリエイティブ事業者の情報プラットフォームを開設。併せて、当地域のものづくり事業者を対象にデザインの専門家による商品プロデュース、SNS (Instagram) を活用した販売促進を行った。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クリエイティブ企業情報プラットフォーム」 愛知県・名古屋市・岐阜県・三重県のデザイン事務所・クリエイティブ事業者の情報検索ポータルサイト ・EC サイト「ツクリガタリ」 当地域の事業者によるこだわりのアイテムを集めたオンライン販売サイト ・商品プロデュース 本事業参画事業の販路開拓、EC サイト「ツクリガタリ」出品商品開発支援のための、専門家派遣。 Instagram「ツクリガタリ」 SNS (Instagram) を活用した販売促進、情報発信 <p><参考 URL></p> <p>https://cp.idcn.jp https://tsurigatari.idcn.jp https://www.instagram.com/tsurigatari</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	補助予算額 全体予算額
継続して実施		令和 3 年	1,000 千円



愛知県	機関名	株式会社国際デザインセンター	
	部署名	事業部	
	電話連絡先	052-265-2104	
事業名	インキュベーション施設「デザインラボ」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>入居審査によって選考された、新規ビジネスを目指すデザイン関連の事業者等にスペースを提供。審査により一定の基準を満たした事業者には、国際デザインセンターと名古屋市により賃借料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋数:10 室(32.2 ㎡～85.12 ㎡) + 共同会議室 ・賃料:2,800 円/ 1 ヶ月・㎡(5 室)、3,500 円/ 1 ヶ月・㎡ (5 室) ・共益費:1,300 円/ 1 ヶ月・㎡ (全室、室内空調費含む)(いずれも税別) ・入居期間:1 年。原則 10 年間まで (自動更新) ・対象:デザイン関連事業を行う事業者等 ・入居審査:1 次(書類審査)、2 次(入居企業審査委員会による審査) ・審査基準:応募資格、業務内容、経営方針(企業家マインド、自立性)、経営内容、アイテムの独創性、将来性など ・補助概要:入居時点で創業後年数 5 年以内の該当中小企業に対し、5 年間、国際デザインセンターより賃料の 35%、名古屋市より賃料と共益費の 30%を補助 <p><参考 URL></p> <p>https://www.idcn.jp/design_support/lab-info</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	補助予算額 全体予算額
継続して実施予定		平成 9 年度	国際デザインセンター: 5,700 千円 名古屋市:4,570 千円



愛知県	機関名	株式会社国際デザインセンター	
	部署名	事業部	
	電話連絡先	052-265-2104	
事業名	デザイン無料相談		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>企業の事業活動におけるデザインの戦略的な活用やデザインに関わる幅広い分野について、無料相談を行った。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デザインの戦略的な活用方法 ・デザイナーに関する情報提供 ・幅広いデザイン分野における基礎的なデザインアドバイス <p>実施期間:令和5年4月～令和6年3月/相談件数:60件 費用:無料</p> <p>【相談員】 デザイン起業家支援、中小企業のデザイン相談、商品開発支援等事業に豊富な知見と経験をもつ当センター社員を配置</p> <p>【連携】 中部デザイン協議会など地域のデザイン団体、名古屋市中小企業プラットフォーム、名古屋市新事業創出連絡会議、あいち新事業活動連携促進会議、当地域のビジネスインキュベーションと連携、情報提供</p> <p><参考 URL> https://www.idcn.jp/design_support/consultation</p>			
令和6年度実施予定	開始年度	補助予算額 全体予算額	
継続して実施予定	平成9年度	—	



愛知県	機関名	株式会社国際デザインセンター	
	部署名	事業部	
	電話連絡先	052-265-2104	
事業名	中小企業・小規模事業者支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>中小企業・小規模事業者支援のため、企業ブランディング・販売促進・商品開発力の向上等に資する事業を受託し、セミナー・ワークショップ・専門家派遣などの、デザインを活用したプログラムの企画、事業推進を担った。</p> <p>【主な事業/事業主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市中小企業によるグリーン・イノベーション構築促進事業 「グリーン・イノベーション ナゴヤ」 /名古屋市経済局産業企画課 ・クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」 /名古屋市経済局イノベーション推進部次世代産業振興課 ・愛知県デザイン経営活用促進事業 /愛知県経済産業局産業部産業科学技術課 <p><参考 URL> https://www.gi-nagoya.net https://loop.idcn.jp</p>			
令和6年度実施予定	開始年度	補助予算額 全体予算額	
クリエイター創業支援スペース「クリエイターズショップ・ループ」は継続して実施予定	グリーン・イノベーション ナゴヤ:令和4年 クリエイターズショップ・ループ:平成23年 愛知県デザイン経営活用促進事業:令和3年	—	



愛知県	機関名	株式会社国際デザインセンター	
	部署名	事業部	
	電話連絡先	052-265-2104	
事業名	デザイン団体等との連携による展示・セミナー事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>地域をはじめとする国内外のデザイン団体や任意団体などとの連携により、デザイン・クリエイティブ分野の展示・セミナーを開催し、デザイナー、学生、デザインに関わる事業者らの支援とデザイン振興を図った。</p> <p>【主な主催・共催展示】</p> <ul style="list-style-type: none"> •2022 TISDC 台湾国際学生デザインコンペティション入賞作品展:7月12日～17日 •AICHI AD AWARDS 2023 優秀広告作品展:7月19日～24日 •手づくり針穴写真機とその写真展 vol.20:9月27日～10月2日 •中部クリエイターズクラブ 50周年記念ポスター展 Fifty/Fifty:11月22日～11月27日 •クラブデザイナー中部 クラブでアート:12月13日～12月18日 •ビジネスデザイン EXPO 2024 vol.3 企業と有能クリエイターをつなぐポートフォリオ展:1月31日～2月4日 •デザイン・トリプレックス 20 日本の空間デザイン賞展:2月14日～19日 •中部パッケージデザイン展 2024:3月6日～11日 •僕らのポートフォリオ展 2024:3月13日～17日 			
			
<p>【講演会・セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> •2023 年度グッドデザイン賞応募説明会・個別説明会【名古屋】:令和5年4月19日 •AICHI AD AWARDS 2023 審査会:6月8日、贈賞式:7月20日 •令和5年度中部デザイン協会定時総会記念講演会「デザインって便利なのか」:6月17日 •CCDO デザインセミナー2023「繋げて、合わせて、新しい価値を。デザイン思考、始めよう」 :令和5年10月3日、10日、17日、24日 •令和5年度中部デザイン協会講演会「平成から令和へ 会員のデザインを通して」:10月7日 			
			
<p><参考 URL> https://www.idcn.jp/event</p>			
令和6年度実施予定	開始年度	補助予算額 全体予算額	
継続して実施	台湾国際学生デザインコンペティション入賞作品展 :令和元年 他	—	

愛知県	機関名	株式会社国際デザインセンター	
	部署名	事業部	
	電話連絡先	052-265-2104	
事業名	連携・交流の促進によるデザイン人材の育成		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【主な主催・共催事業】</p> <p>国内外のデザイン団体などとの連携・交流を促進し、交流・相談会やセミナーの開催により、デザイン人材の育成を図った。また、学生の研修受け入れでは、プロジェクト企画運営、商品企画制作、ブランディングや販売支援など、実地研修の機会を提供した。</p> <p>(1)イノベーション拠点における交流会・セミナー等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IF デザインサロン名古屋:令和5年9月21日 ・NAGOYA デザイン部 デザイナー・クリエイター交流・相談会 「アイデア出しはどうしてる?」デザイナーの技体験&相談会:令和5年12月14日 「デザイナーの顕在化している悩みを発掘する!」デザイナーの自己分析:令和6年2月7日 ・ビジネスデザイン EXPO 2024 vol.3 出展者オープニング交流会:令和6年1月31日 ・JPDA 中部パッケージデザイン展 2024トークセッション:令和6年3月9日 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2)ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子デザインワークショップ「カラクリおもちゃ「ハンパルマンを作ろう」»:令和5年8月27日 <p>(3)海外との交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾教育部高等教育司「2022TISDC 台湾国際学生デザインコンペティション」入賞作品展:令和5年7月12日～17日 ・香港デザイナー協会「HKDA ブランドデザイン賞 2024」広報協力 ・広州デザインウィーク広報協力 ・WDO 世界デザイン会議東京 2023 関連シンポジウムラウンドテーブルスピーカー 「1973/1989ICSID 会議と Design Year が残したもの」:令和5年7月16日 会場:インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター ・WDO 世界デザイン会議東京 2023 実行委員会・事務局メンバー 令和5年10月27日～29日 会場:千葉大学デザイン・リサーチ・インスティテュート、六本木アカデミーヒルズ <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><参考 URL> https://www.idcn.jp/event</p> <p>(4)学生の研修受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海学園大学 ・国際ファッション専門職大学 			
令和6年度実施予定	開始年度	補助予算額 全体予算額	
継続して実施予定	イノベーション拠点における交流会・セミナー:令和元年 ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業:平成9年	—	

三重県	機関名	三重県	
	部署名	雇用経済部県産品振興課	
	電話連絡先	059-224-2336	
事業名	三重グッドデザイン(工芸品等)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内の伝統産業・地場産業の商品から、機能性、デザイン性に優れた革新的な商品を「三重グッドデザイン(工芸品等)」として選定。令和5年度は選定品のプロモーションを実施。</p> <p>[令和5年度の実績]</p> <p>■三重グッドデザイン選定品の情報発信、販売促進支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外のフェアや展示会等で、リーフレットを配布 ・首都圏のショップでフェアを開催し、展示販売や選定事業者によるワークショップを実施(令和6年2月~4月) <p><参考 URL > https://www.pref.mie.lg.jp/CHISHI/HP/8752000001.htm</p>			
			
都内(三重テラス)での展示販売			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度は選定を実施予定		平成 26 年度	900 千円

三重県	機関名	三重県	
	部署名	雇用経済部県産品振興課	
	電話連絡先	059-224-2336	
事業名	多様な連携による商品開発・価値向上支援事業(オール三重プロジェクト事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>伝統産業・地場産業事業者及び食関連事業者などの多様な連携を促進し、SDGsやエシカル消費などの視点を取り入れた商品・サービスの高付加価値化や新商品開発のための連続講座を開催。</p> <p>[令和5年度の実績]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■参加事業者数 20 事業者 [内訳] 伝統産業・地場産業事業者 6事業者 食関連事業者 14 事業者 ■講座実施回数 5回 ■開発商品数 14 商品 ■開発商品の展示販売 <ul style="list-style-type: none"> ・県内外の4店舗で POP UP を実施(令和6年1月~2月) ・無印良品銀座では、参加事業者によるワークショップを実施 ■国内外への情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・特集記事を雑誌(紙面およびオンライン<国内向け・海外向け>)に掲載 ・県広報誌への特集記事掲載や県広報番組で参加事業者の特集番組を放映 <p><参考 URL > https://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0031100486.htm</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和2年度	12,000 千円



都内(無印良品銀座)での展示販



雑誌 PEN への特集記事の掲載

三重県	機関名	三重県工業研究所
	部署名	窯業研究室
	電話連絡先	059-331-2381

事業名	三重県が後援、支援する産業デザイン振興関連の事業
-----	--------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■第37回 四日市萬古陶磁器コンペ2023
 (開始年度:昭和61年度)
 ポスター等の広報物、タペストリーのデザイン、展示レイアウトについて助言を行った

概要:萬古焼振興を目的とした陶磁器作品の全国公募展
 主催:萬古陶磁器振興協同組合連合会
 後援:三重県 四日市市, 菰野町, 四日市商工会議所, 他
 展示:令和5年5月18日(木)~21日(日)
 テーマ:「ほっこりどうぶつの器」

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >
<http://banko300.jpn.org/>



■萬古焼技術者育成事業“やきものたまご創生塾”
 (開始年度:平成19年度)
 陶磁器製造における理論や技術等の講義、デザイン指導を実施した。

概要:萬古焼技術者育成を目的とした陶磁器研修事業
 主催:萬古陶磁器工業協同組合
 後援:三重県 四日市市
 助成:経済産業省, 四日市市, 菰野町, (財)岡田文化財団
 期間:令和5年7月~令和6年3月
 研修場所:三重県工業研究所窯業研究室
 研修生:6名

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL >
<https://banko.or.jp/yakitama.html>



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度以降も継続して実施予定		

中部経済産業局	機関名	中部経済産業局
	部署名	地域経済部 イノベーション推進課 知的財産室
	電話連絡先	052-951-2774

事業名	令和5年度デザイン経営支援による知的財産(意匠・商標)活用促進事業
-----	-----------------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

中部経済産業局では、管内(愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県)の中堅・中小企業が、地域に根ざしたデザインプロデューサーとチームを組み、デザイン経営の考え方を活用しながら新規事業創出やブランディング、事業承継などの課題の解決に向けた活動を促す「デザイン経営支援プログラム」を実施。

<事業内容>

- デザイン経営セミナー & プログラム説明会
 - ・デザインプロデューサー向け
 - 日時:令和5年10月18日(水) 13:00~16:00
 - 場所:ウイנקあいち/オンライン
 - ・企業向け
 - 日時:令和5年10月19日(木) 13:00~16:00
 - 場所:ウイנקあいち/オンライン
- プログラム参加企業・デザインプロデューサーの募集
(企業3社、デザインプロデューサー3名を選定)
- プログラム(伴走支援)実施(計3チーム)
- 成果発表会
 - 日時:令和6年3月6日(水) 13:00~16:00
 - 場所:なごのキャンパス体育館/オンライン
 - ・支援趣旨説明
 - ・デザイン経営支援事業成果発表(3チーム)
 - ・トークセッション



<参考 URL >

https://www.chubu.meti.go.jp/b36tokkyo/press/20240208/design_keiei.html

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
-	令和5年度	-

中部経済 産業局	機関名	中部経済産業局	
	部署名	産業部 製造産業課	
	電話連絡先	052-951-2724	
事業名	ものづくり企業とプロダクトデザイナーとの協業による 新規事業創出チャレンジ		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【趣旨】 ものづくり企業における新規事業の創出、事業・取引先の多角化、企業変革の推進に向けて、各機関におけるものづくり企業とプロダクトデザイナーとの協業促進に関する支援の取組の活性化につなげることを目的に、関係する各機関との間で連携・協力しあうネットワークを形成し事業を実施</p> <p>【事業内容】</p> <p>■協業事例セミナーの開催 日時：2023年9月21日(木) 14:00~16:45 内容：デザイナーによる講演と企業による事例紹介の場を設け、デザイナーとの協業の実際、チャレンジの効果、成功の秘訣等を紹介 会場：ウイングあいち 参加者：約200名</p> <p>■新規事業創出講座の開催 <1日目> 日時：2023年11月28日(火) 13:30~17:00 内容：新規事業にチャレンジする目的の整理や、デザイナーとの協業による製品化の進め方についての講座を開催 会場：FabCafe Nagoya 参加者：25名</p> <p><2日目> 日時：2023年12月8日(金) 10:00~16:30 内容：知的財産の考え方や販路開拓の進め方について講座を開催し、自社の特徴・提供価値などについて個別相談会に用いる資料に整理 会場：ウイングあいち 参加者：25名</p> <p>■プロダクトデザイナーとのマッチング 日時：2024年1月19日(金) 10:00~16:30 内容：ものづくり企業の強みや戦略の方向性など個別相談会での結果を踏まえ、心ざわしいデザイナーを紹介 会場：中部経済産業局、0KB Harmony Plaza 名駅など 参加者：11名</p> <p>HP:https://www.chubu.meti.go.jp/c31seizo/productdesign/index.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
—		令和5年度	—



中部経済 産業局	機関名	中部経済産業局
	部署名	資源エネルギー環境部 資源・燃料課
	電話連絡先	052-951-2781
事業名	デザイン経営を学ぶ SS 事業者向けワークショップ事業 「みんなで考える SS のこれまでとこれから 自分たちで未来を描くためのはじめの一歩」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

全国の SS 数は、ガソリン需要の減少や後継者不足等により、平成6年度末をピークに減少し続けている。
 当局では、SS 事業者の経営活性化による地域への安定的な燃料供給を継続することを目的として、SS 事業者を対象にデザイン思考を用いた新サービス・新事業の展開等に取り組む契機となるワークショップを開催。

【開催日】 令和6年3月1日

【場所】 FabCafe Nagoya (愛知県名古屋市中区丸の内三丁目 6 番 18 号先 RAYARD Hisaya-Odori Park 内)

【参加人数】 12名

【内容】 ・SS 業界のこれまでとこれから (資源エネルギー庁 燃料流通政策室 宮内 光弘氏)
 ・中小企業に変革を促す『デザイン経営』(株式会社 IP ディレクション 土生 哲也氏)
 ・グループワーク (3人1組)
 「Will=やりたいこと」×「Can=できること」⇒SS の”これから”を考える

《ワークショップ実施風景》



《ワークショップ参加者》



<参考 URL>

https://www.chubu.meti.go.jp/d51sekiyu/12_ws/20240301.html

令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年	979 千円

福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	福井デザインアカデミー開催事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【目的】 消費者ニーズの多様化の中で、ブランディングは当該商品を差別化し商品力をアップする手法として重要度が増しており、一連の活動をマネジメントできる人材を養成するとともに、そのような人材が活躍できる企業風土作りに向け、企業経営者層の理解の促進を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1)「ブランディング & 商品開発講座」の開催</p> <p>内容 :現状分析・商品設計・視覚伝達の3部構成で、それぞれの専門家による講義(ワークショップを含む)を開催した。</p> <p>講師 :鷹屋 信隆 氏(株式会社デザインアシスト) 平田 喜大 氏(エルゴデザインスタジオ/代表) 左合 ひとみ 氏(株式会社左合ひとみデザイン室/代表) 水野 美紀 氏(グラフィックデザイン晴れのひ./代表) 高山 友樹 氏(he/rbest/代表)</p> <p>開催時期:令和5年7月7日~令和5年12月15日(全12回)</p> <p>開催場所:サンドーム福井ものづくりキャンパスワークルーム 福井県中小企業産業大専校</p> <p>受講者 :22名(製造業・サービス業・飲食業 等)</p> <p>受講料 :50,930円(税込)</p>  <p>(2)「デザインレクチャー」の開催</p> <p>内容 :デザインの活用によって成長が期待される幅広い業界に対して各ニーズに応じたレクチャーを開催した。</p> <p>講師 :鷹屋 信隆 氏(株式会社デザインアシスト) 平田 喜大 氏(エルゴデザインスタジオ/代表)</p> <p>開催時期:令和5年6月2日~令和5年12月20日(全16回)</p> <p>開催場所:サンドーム福井ものづくりキャンパス</p> <p>受講者 :46名(製造業・サービス業・飲食業 等)</p> <p>受講料 :無料</p> <p><参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成11年度	1,683千円

福井県	機関名	公益財団法人ふくい産業支援センター	
	部署名	デザイン振興部	
	電話連絡先	0778-21-3154	
事業名	産業デザインプロデュース事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【 目的 】</p> <p>消費者ニーズの多様化の中で、商品や販促ツール等へのデザイン活用はもとより、市場ニーズの把握から商品企画、販売までのブランディングなど一連のマーケティング活動による商品の差別化、商品力のアップが重要である。そこで、一連の活動をマネジメントできる人材が不足している企業に対して、専門的な指導・助言ができる人材を派遣し、より多くの県内企業のブランディング等の活動を促進する。</p> <p>【 事業内容 】</p> <p>(1)デザイナー派遣(有料)</p> <p>具体的な課題を有する企業に対して、課題に適合した県内専門家を派遣することで、企業ブランディング、商品や販促ツール等のデザインについて指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数 延べ42回 (7社) なお、専門家謝金の1/2を企業負担とする。 <p>(2)グループカウンセリング(無料)</p> <p>同一課題を持つ企業グループに対し、評価指導を行い、今後の方針策定を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループあたり1~2回 ・実施回数 延べ5回 <p><参考 URL > http://www.sankan.jp/fmc/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成10年度	1,859千円



福井県	機関名	福井県工業技術センター / 公益財団法人ふくい産業支援センター
	部署名	企画支援部デザイン推進室 / デザイン振興部
	電話連絡先	0778-21-3154
事業名	サンドーム福井 福井ものづくりキャンパス運営事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

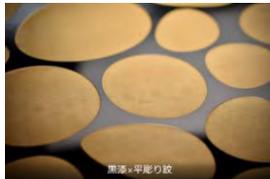
【目的】

福井ものづくりキャンパスにおいて、ものづくり産業の振興や人材育成の拠点として活用するために、ものづくり企業関係者、職人、学生など幅広い層を対象にしたものづくりに役立つ講座・教室を開催する。また、デザインラボの機材の維持を行うことで円滑な運営を図る。

【事業内容】

(1)新商品開発、販売、商品PR力の強化および人材育成としての拠点運営管理(福井県工業技術センター)

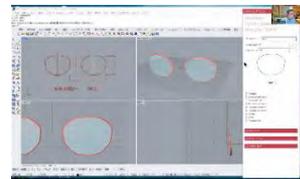
県内デザイナー、ものづくり企業向けの実践的な講座を開催するほか、デザインセンターによる新商品開発、デザイン支援やデザインラボでの試作品製作を行った。ものづくり企業から職人、学生まで幅広く対応。



デザインラボの試作機器を活用した共同研究事業により開発された加飾技法の一例



デザインラボでの試作を経て商品化された商品(左:耳かけ式のマスク、右:チョコレートのパッケージ)



デザインラボの試作機器を活用した商品開発研究から派生した眼鏡枠のデザイン業務省力化プログラム

(2)福井ものづくりキャンパス普及のためのデザイン×ものづくり啓発イベント((公財)ふくい産業支援センター)

① 伝統工芸品を活用した食の体験イベントを開催

- MONO CAN ハッピーハッピークリスマス(参加者 12 組 30 名)
日時: 令和 5 年 11 月 25 日(土) 14:00~16:00
講師: エスポワール オーナーシェフ 椿原徹也氏
内容: 越前打刃物職人の作る切れ味抜群のこども包丁でいちごをカット、盛り付けの皿は越前焼を使用し、丹南の伝統的工芸品に触れながらブッシュドノエルを作る教室を実施し、ものづくりの楽しさを教示した。
- MONO CAN 熊谷シェフの伝統工芸ガレット(参加者 9 組 17 名)
日時: 令和 6 年 2 月 18 日(土) 14:00~16:00
講師: フランス惣菜 Kuma Deli キッチン オーナーシェフ 熊谷安浩氏
内容: 福井県産食材(そば粉、福地鶏の卵、越のルビー、へしこ、ディノケール)でガレットを作る教室を実施。盛り付けの皿は、越前焼などを使用。素晴らしい福井の食材と伝統的工芸品に触れる機会を提供した。



② メディア等を活用した福井ものづくりキャンパスの広報

- MONO CAN ものづくりラジオ
FM福井朝のワイド番組「Morning Tune」にて、伝統工芸やものづくりに関わる方をゲストに招いてのインタビューコーナー「ものづくりラジオ」を放送し、Facebook、Instagram で広報した。さらに、収録の様子を撮影した動画を MONO CAN の YouTube チャンネルにアーカイブした。(参考:ラジオ R05 年 聴取者数:およそ 105,000 人(全 7 回放送))

③ 県産品の展示

- 「6つの視点から読み解く伝統工芸 SIX BOX EXHIBITION」
日時:令和 5 年 11 月~令和 6 年 3 月(月替わりで展示)
会場:福井ものづくりキャンパス デザインラボ前
内容:伝統工芸の分野で活躍する方の作品などを 6 つの箱を用いて展示、丹南の伝統工芸の魅力を紹介。(丹南地域にある 5 産地)
来場者数:11,000 名(推計)



<参考 URL > <http://www.sankan.jp/fmc/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成28度	7,743 千円

大阪府	機関名	大阪府																	
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課																	
	電話連絡先	06-6210-9491																	
事業名	デザイン活用支援事業 oidc 「デザイン相談(D-challenge)」																		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)																			
<p>令和5年度より、中小企業のデザイン活用高度化に関する事業(大阪府産業デザインセンター事業)を公益財団法人大阪産業局に事業移管し継続実施している。</p> <p>【事業の趣旨】 中小企業のデザイン経営やデザイン活用の高度化に向けて、総合的なデザイン相談・指導体制を整備し、ブランディングや商品開発のイノベーションを支援する。</p> <p>【実施方法】 ○相談形態：来訪、出張、オンラインミーティング等による個別面談 ○支援方法： ・大阪府内の中小企業や起業予定者のデザインに関する課題に対して、3名のデザイン専門家が相談対応。(相談無料) ・必要に応じて大阪産業局内の他事業専門家と連携を図り、知財などの各種支援機関とも連携して課題解決へと導く。 ・各地域の商工会・商工会議所、金融機関とも連携し、「出張相談会」等の実施により個別支援を行う。</p> <p>【主なアドバイス内容と実績数】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 課題の整理を行い、新規事業の取り組み方やブランディングのアドバイス、また商品開発の方向性に関するアドバイスなど。社内モチベーションを高めるためにインナーブランディングの取り組み方もアドバイス。プロダクトデザインのアドバイス。 ② デザイナーへの依頼ポイント・契約方法や条件などをアドバイス。 ③ パッケージやロゴマークなど商品訴求力を高めるデザインの考え方や、デザイナーへの依頼ポイント・契約方法等アドバイス。 ④ 商品や企業を訴求するWEBなどのプロモーションツールの依頼ポイント・条件などをアドバイス。 ⑤ 「ホームページ無料診断」により事業者のサイトが検索結果に最適化しているか20項目以上チェックし、改善点を解説。 																			
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談事業社数</td> <td style="text-align: center;">187社</td> <td style="text-align: center;">139社</td> <td style="text-align: center;">122社</td> <td style="text-align: center;">176社</td> </tr> <tr> <td>うちホームページ診断</td> <td style="text-align: center;">110社</td> <td style="text-align: center;">50社</td> <td style="text-align: center;">31社</td> <td style="text-align: center;">39社</td> </tr> </tbody> </table>						令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	相談事業社数	187社	139社	122社	176社	うちホームページ診断	110社	50社	31社	39社
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度															
相談事業社数	187社	139社	122社	176社															
うちホームページ診断	110社	50社	31社	39社															
令和6年度実施予定		開始年度		予算額															
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年		-															

大阪府	機関名	大阪府
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課
	電話連絡先	06-6210-9491
事業名	デザイン活用支援事業 oidc 「デザイン・オープン・カレッジ」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>令和5年度より、中小企業のデザイン活用高度化に関する事業(大阪府産業デザインセンター事業)を公益財団法人大阪産業局に事業移管し継続実施している。</p> <p>【概要】 中小企業及びデザイン事務所等を対象に、デザイン分野の先端知識や技術、最新動向に関するワークショップやフォーラムを開催することにより、ビジネスにデザインを活用できる人材、および社会のニーズに合わせた新たなビジネスの創出に対応できる人材の育成をめざす事業。</p> <p>■フォーラム 日時:令和5年10月25日(水)14:00~16:00 テーマ:「サービスデザイン思考」でモノづくり企業の未来を変える！ 講師:井登 友一 氏(株式会社インフォバーン取締役副社長、デザイン・ストラテジスト) 内容:ユーザーの視点に立ってその課題を解決し、生活をより良くするサービスをデザインする考え方である「サービスデザイン思考」をメインテーマに講演を行った。 受講料:3,000円(税込) 受講者数:48名</p> <p>■ワークショップ① 日時:令和5年11月9日、10日(2日間実施)14:00~17:00 テーマ:三方よしのサービスをプロトタイプングするワークショップを体験しよう！ 講師:丸山 幸伸 氏(株式会社日立製作所 研究開発グループ デザインセンタ 主管デザイン長) 内容:サービスデザインとは、人を起点にして価値のあるサービスを設計するプロセスである。本講座では「Business Origami®」を使用しサービスを俯瞰して見ることで、全体像の理解や課題の発見、共有といった問題解決につながることを参加者同士で学ぶワークショップを行った。 受講料:8,000円(税込) 受講者数:7名</p> <p>■ワークショップ② 日時:令和5年11月24日、12月1日(2日間実施)14:00~17:00 テーマ:「不確実な未来を実感覚で共創する体験のスケッチ(アクティングアウト)」を学ぶ 講師:三宅 由莉 氏(株式会社ビットデザインスタジオ Actingout Design Lab 主任) 内容:アクティングアウトとは、製品やサービスの使用シーンを「身体」を使って即興で演じることで、意識化されていない行為や感覚に気づき、開発にフィードバックする手法である。グループで身体感覚を共有しながら、お互いが意見を出し合い、アイデアをブラッシュアップする方法を学ぶワークショップを行った。 受講料:8,000円(税込) 受講者数:8名</p> <p><参考 URL > https://oidc.jp/college</p>		
令和6年度実施予定		開始年度
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年
		予算額
		—

大阪府	機関名	大阪府	
	部署名	商工労働部 中小企業支援室 経営支援課	
	電話連絡先	06-6210-9491	
事業名	デザイン活用支援事業 oidc 「ビジネス・マッチング・ブログ(BMB)」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>令和5年度より、中小企業のデザイン活用高度化に関する事業(大阪府産業デザインセンター事業)を公益財団法人大阪産業局に事業移管し継続実施している。</p> <p>1.BMB 勉強会の開催</p> <p>【事業の趣旨】 中小企業の情報発信とビジネスマッチングを支援するサイト「ビジネス・マッチング・ブログ(BMB)」を核として、(地独)大阪産業技術研究所との共催により「ORIST 技術セミナー・BMB 勉強会(セミナー)」を開催。ものづくり中小企業等に社会的なトレンド情報や新技術、Webテクノロジー等を紹介する。</p> <p>【実施内容】(オンライン併用)</p> <p>① ORIST 技術セミナーBMB 第53回勉強会 「中小企業がブログで成功をつかむ方法ーBMB15年の実績が伝える成功の法則ー」(R5.7.24) 参加者28名</p> <p>② ORIST 技術セミナーBMB 第54回勉強会 「ブログを書いて自社の製品・技術をアピール! BMB 利用説明会」(R5.10.17) 参加者8名</p> <p>③ ORIST 技術セミナーBMB 第55回勉強会 「水産業の高度化への取り組みーロボット・AI・IoT 技術が養殖場にもたらすものー」(R6.2.2) 参加者16名</p> <p><参考 URL > ① https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff53 ② https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff54 ③ https://bmb.oidc.jp/article.php?story=ORISTBMBoff55</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
公益財団法人大阪産業局にて継続して実施予定		昭和62年度	—

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザイン経営コンサルティング事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>中堅・中小企業者を対象に、デザイン経営を支援するコンサルティングサービスである。 依頼者の課題に対応できるメンバーを会員から選定し、コンサルティングチームを結成し、数か月から数年程度の支援計画を策定、提案する。大阪デザインセンターが契約主体となり、プロジェクトマネージャーとして活動する。報酬はコンサルファー全体の15%程度とする。 2023年度の実績は4件となった。実績を積むことに主眼に置いたため、案件によっては、無料で取り組むものもあった。SNSなどを活用しコンサルティングのプロセスを外部に発信した。 本事業の告知のため、LP制作を経てサービスサイトの構築、チラシの作成、web広告にてPRを実施した。 サービスサイト: https://service.osakadc.jp/</p>			
 <p>ODCデザイン コンサルティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 施策実行 ✓ デザイン制作 ✓ 戦略策定 <p>手厚くサポート</p> <p>まずは無料でご相談</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和5年度	8,000千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザインマッチングサービス		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>中小企業のデザイン導入・活用に関するあらゆる相談や情報提供、さらには要望に応じたデザイン事務所の紹介や個別カウンセリングを行うなど、中小企業とデザイナーとのビジネスマッチングに努めた。新規に加えてリピートの企業やデザイナーの来館が大幅に増え、相談や紹介依頼件数、個別面談数も前年度よりも増加した。</p> <p>依頼者の本質的な要望を徹底的に丁寧にヒアリングし、会員デザイナーの中から依頼者の要望にマッチしそうな方を2者ご紹介するという丁寧な手法をとることにより、成約率は65%と昨年比べて大幅にアップした。(前年比 140%)</p> <p>https://www.osakadc.jp/matching/</p>			
			
令和6年度実施予定	開始年度	予算額	
継続して実施予定	平成2年度	8,000 千円	

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター	
	部署名		
	電話連絡先	06-6265-2260	
事業名	デザイナー向け・企業向け・経営者向け各種講座		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>https://www.osakadc.jp/event_category/seminar/</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業向けセミナー パッケージから見る商標の世界(基礎編)～消費者にとって魅力ある商品へ～ 今日からあなたもイノベーション人材～いかにして私はアウトプットの価値を高めるためのマインドセットを持てるようになったか～ IT系サラリーマン 新規ビジネススペシャリストが伝えるアイデアを豊かにする習慣 絵が苦手な商品企画担当者・営業マンのためのスケッチ講座 忙しいウェブ担当者のための WordPress サイト運営術 結果が出ない採用活動にサヨウナラ ●デザイナー向けセミナー パッケージデザインにおける紙の選び方(基礎知識)～紙を知ると商品訴求力が高まる～ ブランドコミュニケーションにおける UX デザインのプロセス 知っているようで知らない貼箱・組箱の魅力と活用術 ●経営者向けセミナー 採用ブランディング基礎 採用活動の「ブランディング」で自社とのマッチング度を高める！ セールスブランディング基礎編 ブランド促進するためのセールスプロモーション 専門家による実践セミナー 売れるにつながるウェブサイトへ 「問い合わせ」「資料請求」「申し込み」を増やす ●知財関連セミナー デザイナーが知っておくべき意匠権とその調査方法 (INPIT 大阪府知財総合支援窓口共催) 国家試験知的財産管理技能検定 モノづくり企業を活性化する4つの秘訣 ドラマ「それ帕ク」を10倍楽しめる国家資格！知的財産管理技能検定3級体験講座(デザイン・ブランド編) デザイナーが知っておくべき知的財産～ワイガヤ座談会～ リアルな最新事例で学ぶ！強い経営・次の一手～知って得する知財マネジメント～ (INPIT 協力) ●デザイン経営関連セミナー 「経営デザインシート体験ワークショップ」(TAC×ODC) 「～デザイン経営実践支援ツール『デザイン経営コンパス』～自社の現状を把握し未来に向けた取組みにつなげる」(特許庁×ODC)2部制で実施 			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和4年度	3,800千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260
事業名	売れるための商品パッケージ企画実習講座	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

https://www.osakadc.jp/event_category/seminar/

企業の商品企画・販売促進担当者を対象に、商品パッケージづくりに関する基礎知識から効果的に展開できる企画手法、デザインに取り組む留意点などをレクチャーやケーススタディ解説に加え、ワークショップを開催した。
今年度から、春秋の2回開催とした。

●第10回「魅せる、伝わる、選ばれる 基礎知識から効果的な展開手法まで」

6月6日(火)

- ・パッケージデザイン概論&プロセス、ワークショップ:パッケージを生み出すというコト
- ・マーケティングの視点から 混迷の時代のパッケージ 顧客心理に光を照らそう！
ワークショップ:お客様目線でパッケージを評価してみよう

6月13日(火)

- ・SDGsを取り入れたパッケージデザインの作り方、
- ・ワークショップ:社会性や多様性を意識した商品企画
- ・売れ続ける”愛され”パッケージの現場から伝えたいこと、
ワークショップ:“コミュニケーションの最適化”で魅せるパッケージづくり

6月20日(火)

- ・女性目線でわかりやすく伝えるパッケージの技術、ワークショップ:キャッチコピーを含めたラフ案をつくる
- ・パッケージデザイン 買ってもらえる仕掛け、かっこいいパッケージデザイン発注の仕方
ワークショップ:チームで行う企画書作成&プレゼンテーション

●第11回「魅力が伝わる、選ばれる！コミュニケーションするパッケージ」

11月14日(火)

- ・パッケージデザイン概論&プロセス、ワークショップ:パッケージを生み出すというコト
- ・マーケティングの視点から「自然に、より高く売れる パッケージ」、ワークショップ:お客様目線でパッケージを評価してみよう

11月21日(火)

- ・女性目線でわかりやすく伝えるパッケージの技術、ワークショップ:キャッチコピーを含めたラフ案をつくる
- ・印刷がわかれば、最終的なアウトプットはこう変わる！～顧客体験を高める、五感に伝わる印刷物～
- ・印刷基礎知識から、印刷の仕組み、仕上りの違い、コストダウン、注意点まで。 実際の印刷サンプル<感色>を用いてご紹介。

11月28日(火)

- ・”売れるパッケージ”は「記憶」でつくるー日本が誇るブランドを日本へ、世界へー
- ・ワークショップ:「記憶」でつくるパッケージデザイン
- ・SDGsを取り入れたパッケージデザインの作り方、
- ・ワークショップ:社会性や多様性を意識した商品企画

12月5日(火)

- ・安心して使用できるパッケージとは(商標の観点から)
- ・パッケージデザイン 買ってもらえる仕掛け かっこいいパッケージデザイン発注の仕方
・ワークショップ:チームで行う企画書作成&プレゼンテーション



令和6年度実施予定

開始年度

予算額

継続して実施予定

平成28年度

(3,800千円の内数)

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260
事業名	スタートアップ、経営支援	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<https://www.osakadc.jp/seminar-event/>

●中小企業診断士による無料相談会

2023年8月～2024年3月まで毎月1回、会員の中小企業診断士による個別無料の壁打ち相談会を実施した。当初は相談申し込みがない回があったが、徐々に知られるようになり、延べ14人が参加した。これにより、スタートアップの方や企業の方々の様々なニーズや困りごと把握することができた。

●スタートアップクロストーク

スタートアップをターゲットとしたクロストークを開催し終了後個別相談会を実施した。

1月16日

「スタートアップ成功の鍵:先人の知恵」

講師:スパツオーネ社 労士 Web 竹本 智子

司会・進行:吉田隆司

2月16日

「あなたの会社も狙われている～サイバー!」スクの備え(特別セミナー)」

講師:東京海上ディーアール株式会社 三宅 諒介

3月19日

「ONE PIECE のルフィに学ぶ! 事業化を成功させる仲間づくりの方法 ～ 死の谷を乗り越えるエフェクチュエーション ～」

講師:SORA-MON 株式会社 深野 慎一

司会・進行:内海美保



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	(3,800千円の内数)

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260
事業名	交流の場づくり	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

https://www.osakadc.jp/event_category/event/

会員の PR の場として「SEMBA サロン」を活用し、会員から旬な話題を提供していただいた。
また、季節ごとに、会員交流会(友達同伴歓迎)を開催し、会員同士の交流を促進した。

●SEMBA サロン

- 5月12日「進化する感染症対策！質感を損なわないコーティングでモノの価値を高める」
伊藤産業株式会社 西島 敦史氏
- 6月16日「ChatGPT はデザイナー、ライターキャリアの脅威か!？」
吉田 隆司氏
- 7月21日「一パッケージデザインー 消費者の心をつかむ形状からのアプローチ」
有限会社アートステージ 今村 良太郎氏
- 9月8日「商空間から広がるサステナブルな地域コミュニティ」
株式会社スペース 斎藤 俊二氏
- 11月17日「IT を AI から見つめなおす」
株式会社 NYSOL(ニソル) 丸橋 弘明氏
- 12月22日「顧客の心を掴むための戦略とは? ~ペルソナとデザインの結びつき~」
株式会社ライフ商品デザイン研究所 岡田 英美氏
- 3月15日「想い通りのかたちをつくるサブディビジョンモデリング ~プロダクトデザインでの活用法~」
株式会社デザインオフィスボックス 新居 健次氏

●交流会

- 7月7日 セタ交流会
- 10月3日 「デザインの日」交流会
- 2月13日 バレンタイン交流会



交流会 (ODC PITCH EVENT)

ピッチ登壇者 大募集!

平均時 1/15分

世界中で様々な価値が生まれる/レンタインダーを前に、交流会を開催します

交流会は、先着順で各社(5分以内)の発表を行います。
ご発表後は、ご自身の最新情報や今後の予定について
いただいたお話を共有し、今後の交流の場を築いて
いただきます。

開催日時
2月13日(火) 16:00~18:00
会場:大阪デザインセンター

募集枠: 7社/会場
PR時間: 各社 5分

ぜひ、未来を共に創り上げる仲間とのお縁を築いてください!

ODC 大阪デザインセンター
〒105-8565 東京都港区赤坂1-1-1
TEL: 03-6456-1111
FAX: 03-6456-1112
E-MAIL: odc@osakadc.jp

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成25年度	200千円

大阪府	機関名	一般財団法人大阪デザインセンター
	部署名	
	電話連絡先	06-6265-2260
事業名	デザイン関連展示会の開催	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

https://www.osakadc.jp/event_category/event/

●チャリティ絵馬展(1月9日～19日)

デザイナーたちが自作の絵馬を持ち寄り、展示・販売し、その売上収益金を大阪府福祉基金に寄付するというものであり、「何かデザイナーとして社会に貢献できることはないか」ということで、昭和56年の『身体障害者年』を機に始まった。売り上げから必要経費を差し引き大阪府福祉基金に寄付した。

●BILLIKEN CREATORS OSAKA (8月9日～11日、2024年3月14日～16日)

「アートになったビリケンさん」の作品展示・販売を行うイベント「BILLIKEN CREATORS OSAKA 2024」を開催(入場無料)。同時に、人気投票で優秀作品を選出するアワード「BILLIKEN CREATORS AWARD 2024」も実施した。

●mini mimi expo 2023(10月16日～20日)

SDGsを基に繊維を中心としたプロジェクトとして、生地耳にフォーカス。織物工場から発生する廃棄物に命が吹き込まれ、アップサイクルされる様子を楽しみながら身近に体験できるイベント。

- ・生地耳、生地耳を使った作品、商品の展示／販売
- ・生地耳やハギレを使ったワークショップ(10/16～20)
- ・生地耳やハギレを使ったワークショップ(10/16～20)



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	2,000千円

大阪府	機関名	大阪市	
	部署名	経済戦略局産業振興部イノベーション課(事業創出担当)	
	電話連絡先	06-6615-3726	
事業名	大阪デザイン振興プラザ事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【目的】</p> <p>大阪市とアジア太平洋トレードセンター株式会社(ATC)が設置する、大阪のクリエイターの独立・創業を支援するインキュベーション施設。クリエイターの独立開業、事務所開設、取引先開拓、自己発信などの事業活動を支援することを通して、大阪で活動するデザイナー、クリエイターをより多く輩出し、大阪の経済発展に貢献していくことをめざす。</p> <p>【事業内容】</p> <p>クリエイター向けオフィスやギャラリー、多目的ルールを設置して、セミナーなどの各種イベントの開催や情報発信、クリエイター同士の交流促進を図るとともに、複合型商業施設であるATCとのコラボで展示会やセミナー・シンポジウム等を開催している。</p> <p>【施設の概要】</p> <p>所在地:大阪市住之江区南港北2-1-10 アジア太平洋トレードセンター(ATC)ITM棟 10階 設置主体:大阪市・ATC 開設年月:平成8年10月 延床面積:2742.27㎡</p> <p>【事業に関する情報が掲載されているサイト URL】</p> <p>http://www.osaka-design.co.jp/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成8年度	190,366千円

大阪府	機関名	堺市	
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課	
	電話連絡先	072-228-7534	
事業名	伝統産業ブランド創出促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1 事業概要</p> <p>堺の伝統産品とその魅力を引き立てる逸品を「sakai kitchen〈堺キッチン〉」として認定し、認定商品を首都圏等でのPR・販売やSNSでの情報発信など、堺の伝統産業の魅力を伝える商品として発信。</p> <p>2 主な内容</p> <p>(1)伝統工芸品等に精通している審査員からの応募商品のフィードバック</p> <p>(2)販売機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺伝匠館オンラインショップでの販売(令和5年3月1日～) ・堺伝匠館での展示販売(令和5年4月1日～) ・梅田 薫屋書店での展示・販売(令和5年7月28日～8月6日) ・代官山 薫屋書店での展示・販売(令和5年11月1日～11月24日) ・オンラインストア「REALJAPAN STORE」の特設ページで販売(令和5年11月1日～令和6年2月16日) <p>(3)各種情報発信支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・sakai kitchen〈堺キッチン〉ブランドロゴマークの使用 ・sakai kitchen〈堺キッチン〉のリーフレットへの掲載、広報誌への掲載 ・公式ホームページへの商品掲載、インフルエンサーによる情報発信、プレスリリース配信サービスを利用した情報発信 <p><参考 URL></p> <p>sakai kitchen〈堺キッチン〉公式ホームページ https://www.sakai-kitchen.jp/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	8,000千円



大阪府	機関名	堺市
	部署名	産業振興局産業戦略部地域産業課
	電話連絡先	072-228-7534
事業名	伝統産業若手異業種交流会	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

1 事業概要

近畿経済産業局、(公財)堺市産業振興センターと共催で、伝統産業の未来を担う異業種の若手が交流し、異なる業界の横のつながりを作り刺激し合うことにより、それぞれの業界が自主的に新しい取組を生み出すきっかけを作るなど、本市の伝統産業界の活性化をめざす事業

2 セミナー内容

【第5回若手異業種交流会(令和5年10月17日)】

- ・講演「だんじり彫刻の技術が追い求める新たな領域」
講師 前田 曉彦氏(株式会社木彫前田工房代表取締役)
- ・参加者同士の交流と伝統産業事業者の紹介
ファシリテーター 三嶋 貴若氏(有限会社セメントプロデュースデザイン取締役)

<参考 URL>

伝統産業若手異業種交流会

<https://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/dentosangyo/exchange-meeting.html>



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年	0千円

大阪府	機関名	東大阪市	
	部署名	都市魅力産業スポーツ部 モノづくり支援室	
	電話連絡先	06-4309-3177	
事業名	高付加価値新製品開発支援事業 (HIGASHIOSAKA FACTORies)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>●事業目的</p> <p>下請け形態の製造業は景気動向や発注者側の経営状況に左右されやすいといった課題があり、デザインやブランドといった資源を経営に取り入れた事業展開により付加価値の高い製品開発を実現していかなければ、生き残りが困難な時代を迎えつつあるなかで、デザインを活用した製品開発のパイロット事業を実施することで価値の高い製品創出ができる市内製造業の増加を目指すもの。</p> <p>●事業概要</p> <p>3年間で1期として製品開発を推進</p> <p>1年目 公募と企業選定</p> <p>2年目 デザイナーとのマッチングと製品開発</p> <p>3年目 展示会での発表</p> <p>●令和5年事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○製品開発の推進(3社) ○東京国際ナショナル・ギフトショーへの出展(2/6~2/8、第1期企業1社を含めた4社で出展) ○発信イベントの開催(2/14開催、@東大阪市文化創造館) ○発信ツールの製作(ウェブサイト、パンフレット) 			
			
ギフトショーへの出展		発信イベント	
<p><参考 URL></p> <p>https://ho-factories.com/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	10,500千円

大阪府	機関名	東大阪市	
	部署名	都市魅力産業スポーツ部	
	電話連絡先	06-4309-3177	
事業名	東大阪デザインプロジェクト事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市内企業の自社製品開発に向け、世界で高く評価されているデザインという資源に着目し、国内外で多くのヒット製品を生み出してきた経験をもつ世界的工業デザイナーである喜多俊之氏を本市のデザインクリエイティブアドバイザーとして迎え、無料のセミナーや個別相談を実施。<市 HP:https://www.city.higashiosaka.lg.jp/0000002598.html></p> <p><過去に市内企業が喜多俊之氏とのコラボレーションにより生み出した製品たち></p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">      </div>			
<p><令和5年度の実施内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1回セミナー『自社製品でのオリジナルブランドづくりに向けて』 7月27日(クリエイション・コア東大阪)参加者 10社 13名 アンケート満足度 84.6%(うち「非常に満足」は 38.4%) ○第2回セミナー『デザイナー× 経営者 対談』 2月21日(クリエイション・コア東大阪)参加者 7社 11名 アンケート満足度 100.0%(うち「非常に満足」は 70.0%) ○個別相談 実績 2社 			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成22年度	2,400千円



大阪府	機関名	八尾市
	部署名	魅力創造部産業政策課
	電話連絡先	072-924-3845

事業名	デザインイノベーション推進事業「yaokonton」
-----	----------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<基本コンセプト>

「yaokonton(ヤオコントン)」は、「つくれないモノは、無い」を合言葉に、八尾市内企業の商品開発事業を支援するプログラムです。領域に囚われないプロフェッショナル&未来のクリエイターとのコラボレーションにより、八尾市内産業全体のブランド力を高めていくことを目的とする。

<メンター陣>

プロダクトデザイナーや、コミュニケーションプランナー、ファッションデザイナーから、おもちゃクリエイターまで。ボーダレスなプロフェッショナルが集う。



<キックオフ>

採択企業の自己紹介ピッチを行い、本事業の意気込み語った。
また、メンター陣によるトークセッションを行い、三者三様の視点からプロダクト開発のポイントを紹介
また、採択企業をデザイナーが訪問し企業もつ技リサーチ&インプットをおこなった
実施日:8月30日 参加人数:参加企業10社各メンタ



<リサーチ&アイディエーション>

インプット後、主にメンター & 京都芸術大学メンバー側から、企業側にアイデアを提案。採択企業とともにプレストをすすめ、アイデアを固めていった。MTGは、zoom等を活用し、主にオンラインベースで実施。共創でアイデアをブラッシュアップしていった。

<各種セミナー(対象:主に採択企業10社)>

クラファンセミナー:クラウドファンディングの利用の基礎から活用事例を紹介。8月30日
広告講義:企画・デザインにおける伝え方・考え方の型をベースとしたセッションを開催。10月10日
アイデア講義:商品企画とPRに関するワークショップ形式の講義イベントを実施。12月12日
中間報告会:採択企業のアイデアを八尾市立サポートセンターメンバー、メンター、外部企業担当からアドバイス機会。11月29日
ふるさと納税セミナー:ふるさと納税の実施手順から出品者の事例紹介までを講義。11月9日

<各展示イベント>

スタート時には想像もできなかったプロダクト/試作品が誕生し、
多様な場所で展示会を実施した。
京都芸術大学:期間 2024年2月15日~2月17日
(初日は、脳科学者茂木健一郎氏を招いた講評イベントを実施)



<成果発表会>

採択企業、メンターなどの関係者、および、八尾市内事業者などが参加した。
採択企業からは、今後の展望などが語られ、開発したプロダクトを展示し、来場者に直接触れていただく機会を設けた。
実施日:2月29日
場所:みせるばや
参加人数:30名
アイテム数:13



参考 URL:<https://yaokonton.jp/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	平成27年度	9,800千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6573	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 BE KOBE 発信事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>「BE KOBE」は、阪神・淡路大震災から 20 年を迎える 2015 年に、大震災の経験と成果の発信と継承等を目的に展開された「震災 20 年継承と発信事業」の一環である「震災 20 年神戸からのメッセージ発信」プロジェクトをきっかけに、多くの市民の熱い想いを集約して生まれたメッセージ及びロゴであり、「神戸の様々な魅力の中で、一番の魅力は人である」という思いが込められている。</p> <p>「BE KOBE」を、神戸市民であることを誇りに思う気持ち、シビックプライドの「メッセージ」として広く発信し、多くの方々が神戸のまちに愛着と誇りを持つ「シビックプライドの醸成」へと繋げていく。</p> <p>■事業概要</p> <p>「BE KOBE」というメッセージは、「BE KOBE モニュメント」の存在もあり、多くの市民に浸透してきている。引き続きこれを広げていく発信と活用を推進していく。</p> <p>○「BE KOBE」を活用したシビックプライドの醸成 平成 27 年度より市内外での BE KOBE ロゴの使用を承認制とし、民間においても広くロゴの使用を認めることで、理念の浸透を促進している。令和 5 年度ロゴマーク使用承認件数:56 件</p> <p>○「BE KOBE」モニュメントの設置 メッセージの浸透のため、「BE KOBE」モニュメントをメリケンパーク(平成 29 年度)、ポーアイしおさい公園(平成 31 年度)、神出山田自転車道(令和 2 年度)、神戸フルーツフラワーパーク、アジュール舞子(共に令和 5 年度)に設置。この他に民間企業による設置例もあり、神戸の魅力的な観光名所にもなっている。</p> <p>○その他発信事業 ピンバッジ等のグッズ作成、ウェブサイトの運営等を通して BE KOBE を広く発信。 https://bekobe.smartkobe-portal.com/</p>			
			
メリケンパーク「BE KOBE」モニュメント			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 26 年度	700 千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課	
	電話連絡先	078-322-6570	
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) の管理運営・活用		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)は、「創造と交流の拠点」として、旧神戸生糸検査所を改修し平成 24 年 8 月に開設。「デザイン都市・神戸」を推進するため、幅広い世代への多様な企画事業を展開。また KIITO ホールやギャラリーなどの貸館事業や、クリエイティブな活動を行う企業等が入居するクリエイティブラボの運営を行っている。</p> <p>令和 3 年 9 月、KIITO3 階に「KIITO:300(キイトサンマルマル)」をオープン。こどもの創造的学びと社会貢献活動のプラットフォームとして常設拠点を開設した。</p> <p>市民の創造性を育むイベント、ワークショップ、さまざまなプロジェクトを通じて、クリエイティブな人材の交流と集積を行っている。</p> <p>■施設概要 施行年:旧館 1927 年(昭和 2 年)、新館 1932 年(昭和 7 年) 敷地面積:8,601 m² 延床面積:旧館 3,489 m²、新館 10,290 m² レンタルスペース:ホール、ギャラリー、会議室など クリエイティブラボ:39 室</p> <p>■指定管理者:デザイン・クリエイティブセンター神戸運営共同事業体</p> <p>■おもな実施事業 ・ちびっこうべ、KOBÉ デザインの日記念イベント、+クリエイティブゼミ、オープン KIITO、KIITO マルシェ ほか</p> <p>■参考 URL https://kiito.jp/</p>			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成24年度	127.082 千円

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課
	電話連絡先	078-322-6570
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「KIITO:300」プラットフォーム事業推進	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>こどもからシニアまで。誰もがもっとクリエイティブに。クリエイティブの芽を育て、育む交流拠点「KIITO:300」が、デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO=キイト)に令和3年9月オープン。KIITO:300(キイトサンマルマル)は、子どもからシニア、社会人、クリエイターまで、誰もが集まり、つながることのできる場を目指した、あらゆる世代へ開けたプラットフォーム。</p> <p>このプラットフォーム「KIITO:300」には、こどもたちの好奇心と探究心を刺激し、創造性を育むプラットフォーム「KIITO:300 キャンプ」と、だれもが社会貢献に取り組み、交流できる協働と参画のプラットフォーム「KIITO:300 ファーム」の2つの機能がある。</p> <p>■事業概要</p> <p>○「KIITO:300 キャンプ」</p> <p>クリエイターとともに考えた、子どもたちを対象としたデザインやアートのワークショップやイベントを週末に開催。また、子どもの教育に関わる人々を対象としたレクチャーなども開催し、大人と子どもが共にこの場所で楽しく学べるプログラムを実施。</p> <p>活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもたちの主体的な学びや探究心を育む創造教育プログラムの開発・提供 ・開発、提供するプログラムの効果検証の実施 ・こどもの教育に携わる教員や学生などを対象とした人材育成プログラムの実施とコミュニティづくりなど ・家庭、公教育、地域でのプログラムの実施 など <p>○「KIITO:300 ファーム」</p> <p>大学、企業、NPOなどを対象としたプラットフォーム。社会貢献活動の支援や相談を行う窓口業務、一般の方にも参加いただけるトークイベントやレクチャーなどを実施。活動を通して、社会との関わりと人々のつながりを広げる。</p> <p>活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中のまちの担い手に対する支援(相談対応、研修実施、プロジェクトの紹介、プロジェクトの開発技術の指導) ・新しい担い手の発掘、育成、支援(大学生、社会人、シニアをターゲットにした人材育成、活躍の場の提供) ・学生プロジェクトの立ち上げ・運営 ・社会人やシニア等幅広い世代が参加できるプロボノ事業・社会貢献活動に関わる団体・個人・行政がつながり交流する拠点の運営 ・SDGsをテーマとした地域共創イベント など 		
		ワークショップエリア
		
		
		セミナーエリア
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和3年度	指定管理事業費の中で執行

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	企画調整局大学・教育連携推進課
	電話連絡先	078-322-6573
事業名	「デザイン都市・神戸」の推進 「デザイン都市・神戸」の発信、ユネスコ創造都市ネットワーク連携事業の推進	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>■事業概要</p> <p>「デザイン都市・神戸」を推進する神戸市は、2008年にユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン分野」の認定を受けた。他の創造都市やデザインに関わる団体・学校との連携企画等を行い、市民がデザインを身近に感じることのできる機会を創出している。また、その活動内容を国内・海外に向け発信している。</p> <p>■活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコ創造都市ネットワーク加盟都市との連携・市民へのデザインの浸透 ・国内デザイン都市(旭川市・神戸市・名古屋市)共催で、日本の「デザイン都市」のこれからを考えるカンファレンス「往来[Correspondence]」をWDA世界デザイン会議東京2023の公認プログラムとして開催(令和5年10月) ・「グッドデザイン神戸2023」トークイベント実施:「グッドデザイン・ベスト100」「都市公園等コンクール国土交通大臣賞」「ランドスケープコンサルタンツ協会賞 最優秀賞(設計部門)」を受賞している「東遊園地」設計の背景等について。(令和6年3月) ・「グッドデザイン神戸2023」トークイベント実施:「グッドデザイン賞2023」の金賞を受賞した「神山まるごと高専」のポリシーやカリキュラム等をお聞きし、未来を生きることも達にとって必要な学びとは何かを考えるトークセッションを、公益財団法人日本デザイン振興会、神戸市立工業高等専門学校との協力で開催。(令和6年3月) ・デトロイト(米国)、武漢(中国)、ダンディー(英国)、ソウル(韓国)でのデザイン分野サブネットワーク会議へのオンライン参加(令和5年6月、10月、令和6年2月) ・鶴岡市で実施された「UCCN国内都市会議」に出席(令和5年7月) <p>○ユネスコ「デザイン都市・神戸」のロゴマーク使用促進(令和5年度申請件数:25件)</p> <p>○「デザイン都市・神戸」の発信:「デザイン都市・神戸」ホームページ、紹介冊子での情報発信(年間) https://www.city.kobe.lg.jp/design/</p> <p><紹介冊子></p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p><「デザイン都市・神戸」ロゴマーク></p>  </div> </div>		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成20年度	指定管理事業として実施等

兵庫県	機関名	神戸市
	部署名	経済観光局新産業創造課
	電話連絡先	078-984-0334
事業名	市内中小企業×課題解決プログラム「ミライ経営塾 Wonders (ワンダース)」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要

市内中小企業を対象に、「デザイン経営※」の視点から事業開発・課題解決を実践するプログラムです。「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各分野で活躍するメンター3名による伴走型のプログラムを実施し、企業の事業成長の加速を図ります。

※デザイン経営とは

デザインの力をブランドの構築やイノベーションの創出に活用する経営手法です。その本質は、人(ユーザー)を中心に考えることで、根本的な課題を発見し、これまでの発想にとらわれない、それでいて実現可能な解決策を、柔軟に反復。皆瀬円を繰り返しながら生み出すことです。(経産省・特許庁「デザイン経営宣言」2018 より)

■参加企業数 12社

■メンター

「ブランドデザイン」 星加 ルリコ氏(写真左)
「組織デザイン」 岩野 翼氏(写真中)
「プロダクトデザイン」小林 新也氏(写真右)



■プログラム内容

・基本講座(全3回)

プロダクトデザイン、ブランドデザイン、組織デザインの3つのテーマに分け、デザイン経営の考え方を座学とワークショップで学びます。

・伴走支援講座(全6回)

参加した12社が「ブランドデザイン」「組織デザイン」「プロダクトデザイン」の各グループに分かれ、それぞれのメンターとともに事業開発・課題解決を目指します。

・最終報告会

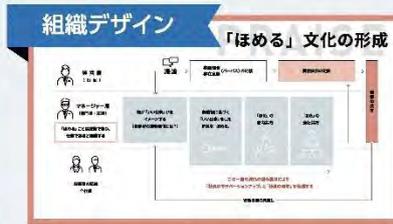
各企業がプログラムを通じて学んできたことや、目標に向けた取り組み状況について発表します。

<参考 URL> <https://www.kobe-np.co.jp/info/wonders/>



社内用ブランドガイドを制定。ガイドラインにそってPOPや装飾をすることで売り上げ向上を目指す。

株式会社 イスズベーカーリー



チャレンジ精神が停滞気味な部門へ、価値観の統一とフィードバックの仕組みを提案し推進している

株式会社 小泉ビジネスソリューション



自社の技術を生かし、機械金属工業会の仲間たちと各々の技術の強みを組み合わせ、新商品の試作品を共同制作。

株式会社 神戸熔工

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度で事業終了	令和3年度	10,000千円

兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	経済観光局新産業創造課	
	電話連絡先	078-984-0334	
事業名	「Kobe Creators Note(神戸クリエイターズノート)」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■概要 神戸市内で活躍しているクリエイティブ人材と市内企業とが つながる場を提供し、新たなビジネスを生み出す基盤として、 WEBサイト「Kobe Creators Note」を運用しています。</p> <p>■登録クリエイター数 約 220 名</p> <p>■主なコンテンツ <ul style="list-style-type: none"> ・クリエイティブ案件の企業向け相談窓口を設置 ・神戸で活躍するクリエイターを紹介【クリエイターを探す】 ・神戸で活躍するクリエイターの仕事を記事で紹介【インタビュー】 ・神戸市内企業とクリエイターの共創事例を記事で紹介【マッチング事例】 ・市内公募情報などのクリエイティブ案件情報を掲載【案件情報】 ・神戸市や登録クリエイターのイベント情報を掲載【イベント情報】 </p> <p><参考 URL> https://kobecreatorsnote.com/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	2,850 千円



兵庫県	機関名	神戸市	
	部署名	経済観光局新産業創造課	
	電話連絡先	078-984-0334	
事業名	株式会社マクアケとの事業連携		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■概要 令和3年9月に、神戸市と株式会社マクアケは「中小企業の イノベーション創出・販路拡大支援に関する事業連携協定」を 締結し、ICTによるマーケティング・広報という観点から中小 企業のイノベーション創出・販路拡大支援を促進します。 <神戸市×Makuake 特集ページ URL> https://www.makuake.com/partner/kobecity</p> <p>■クリエイター活用による中小企業等の イノベーション創出・販路拡大支援等促進補助金 市内中小企業等がクリエイター等に発注する 「Makuake」プロジェクトページ制作にかかる費用の一部を補助 補助金額:上限 20 万円 補助率:補助対象経費の2分の1 詳細 URL:https://www.city.kobe.lg.jp/a14333/business/innovation_makuake.html</p>			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	2,500 千円



KOBE UNESCO City of Design × Makuake

奈良県	機関名	奈良県
	部署名	産業部経営支援課
	電話連絡先	0742-27-8804

事業名	小規模地場産業振興補助事業「デザイン開発事業」
-----	-------------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

<事業内容>
 ・伝統に培われた技術力を活かす独創性の高い商品づくりの支援策として、専門のデザイナーが小規模地場産業(履物・スポーツ用品・毛皮革)の商品開発に参画し、デザイン開発を指導・支援することで商品力の強化を図り、業界の活性化を行った。
 <事業実施主体(補助先)> 奈良県履物協同組合連合会、奈良県スポーツ用品協同組合連合会、奈良県毛皮革協同組合連合会
 <講師>(協)ジャパンデザインプロデューサーズユニオン会員デザイナー等
 ※下記補助予算額は、履物・スポーツ用品・毛皮革各連合会等への補助総額であり、販路開拓等、他の事業への補助も含む。

デザイン開発事業実施フロー

【1. テーマ設定】

- 新商品のデザイン
- 商品のカラー展開
- 商品の新ロゴデザイン
- 商品の新パッケージ

【2. コンセプト検討】

商品特長、ターゲット層、競

【3. 新デザイン提案】

デザインスケッチを元に

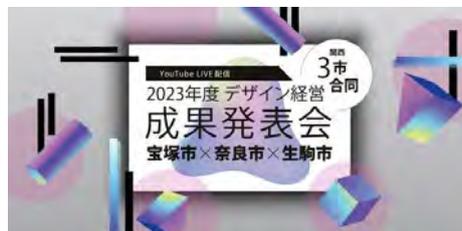
【4. 商品化検討】

試作品の製作等にて、

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施	令和2年度	7,533 千円

奈良県	機関名	奈良県	
	部署名	産業部経営支援課	
	電話連絡先	0742-27-8133	
事業名	奈良ブランド開発支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○事業内容</p> <p>奈良ブランド開発支援事業は、従来型の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、生活者からの信頼を得てファンを作っていく企業の取組自体を支援する事業です。</p> <p>地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い参加者間のネットワークを構築。これを通して個々の事業者のブラッシュアップを図り、自分達の個性を見出した事業者は、松屋銀座、リビングデザインセンターOZONE、阪急百貨店、等において、個々の世界観を披露する機会を獲得し、顧客とつながる距離をショートカットしています。</p> <p>それらによって個々の企業のブランド化を図ろうとする取組です。「ヒット商品を目指すのではなく、作り手と使い手の双方が愛着を感じるロングセラーを目指すモノづくり」というテーマを各企業が共有し、切磋琢磨しながら、自社ブランド構築に繋がる取組を実施しています。本事業は、グッドデザイン賞を2012年、2013年、2014年、2018年と4回受賞。</p>			
<p><プラットフォーム型活性化モデル></p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>① ブラッシュアップミーティング =多様な地域、多様な業種の参加による切磋琢磨</p>  <p><参考 URL > http://www.pref.nara.jp/43989.htm</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>② TEIBAN 展 作り手が、会場でお客様の声を伺い、そこから得られた評価から課題を生み出し、進化に繋げる。</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>③ N-A-R-A T-E-I-B-A-N (松屋銀座内) 平成30年4月に松屋銀座に常設出店。</p>  </div> </div>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		平成21年度	5,500千円

奈良県	機関名	奈良市	
	部署名	観光経済部産業政策課	
	電話連絡先	0742-34-4741	
事業名	令和5年度 奈良市中小企業伴走型支援事業「奈良市デザイン経営フロントランナー企業育成プログラム」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業内容】 本事業は、VUCA(先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態)の時代において、デザイン経営での中小企業支援を行う専門家が、企業経営者に伴走して助言・直接支援を実施することで、企業自身が顧客に高い価値を提供するための新たな戦略の策定を促すものである。さらに企業単体の業績を向上させるだけでなく、本事業をきっかけに高付加価値企業となるフロントランナーを生み出し、その取組を積極的にPRすることで、高付加価値企業を生み出す好循環を創出し、市内企業の経営革新やイノベーションへの機運を醸成することを目的とする。</p>			
<p>【支援内容】 ・伴走型支援によるコンサルティング ・経営計画書・事業計画書作成支援 ・本プログラムの成果発表会への参加</p>			
<p>【デザイン経営導入セミナーについて】 【1】イベント名/日時・場所 ～経営者とデザイナーの共創による付加価値創造～デザイン経営導入チュートリアルセミナー 日時:令和5年8月18日 13:00-16:00/場所:奈良公園バスターミナル レクチャーホール 当日 YouTube LIVE 配信 ※参加(申込)人数 現地:33名、オンライン:49名</p>			
<p>【2】プログラム 13:15 基調講演(株式会社 SASI 近藤 清人氏)/13:55 基調パネルトーク(株式会社 SASI 近藤 清人氏、有限会社白銀屋 高橋 光夫氏、同社 福島 三悦氏、INPIT-KANSAI 千葉 慎二氏)/15:10 事業者ディスカッション(株式会社 SASI ディレクター、奈良市デザイン経営フロントランナー企業育成プログラム参加企業)</p>			
<p>【3】主催 奈良市、奈良商工会議所/共催 INPIT-KANSAI</p>			
<p>【成果発表会について】 【1】イベント名/日時・場所 令和5年度デザイン経営関西3市合同成果発表会 日時:令和6年2月22日 13:00-17:00/場所:グランフロント大阪 ナレッジキャピタル 当日 YouTube LIVE 配信 ※一般参加はオンライン視聴のみ可能</p>			
<p>【2】参加企業・登壇者 (奈良市)令和5年度 奈良市デザイン経営フロントランナー企業育成プログラム参加企業 ・株式会社風神 ・株式会社新踏社 ・株式会社森脇ビデオ企画 (宝塚市)令和5年度 デザイン経営実践支援事業参加企業 (生駒市)令和5年度 IKOMA LOCAL BUSINESS HUB 参加企業</p>			
<p>【3】講師 山縣 正幸氏(近畿大学経営学部 教授)、近藤 清人氏(株式会社 SASI 代表取締役)</p>			
<p>【4】主催 奈良市、宝塚市、生駒市/運営企画 株式会社 SASI</p>			
<p>※本事業は株式会社 SASI への委託事業です。</p>			
<p>【参考 URL】https://www.city.nara.lg.jp/site/jigyosyashien/list933-3256.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		令和4年度	3,000千円



和歌山県	機関名	和歌山県
	部署名	商工労働部 企業政策局 企業振興課
	電話連絡先	073-441-2760

事業名	デザイン経営価値共創支援事業「VALUE-WAKAYAMA Design Management」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■概要

デザイン経営の手法を用いた中小企業の価値創出プロジェクトです。
本プロジェクトは、この土地で長い間育み、守ってきた技術や思いを持つ事業者と、多様な経験を持つ外部人材が仲間となって挑戦する価値創出プロジェクトです。

■シンポジウム

日時:5月31日(水)13:00-17:00
場所:IDEA・オンライン
参加者:34名

■セミナー

(事業者向け) ※全3回
日程:6月22日(木)、6月29日(木)、7月6日(木)
参加者:31名(各回)
(デザイナー向け)
日程:7月11日(水)
参加者:15名
(ビジネスパーソン向け)
日程:7月11日(水)
参加者:10名

■マッチング

事業者がプレゼンテーション実施し、デザイナー/ビジネスパーソンとマッチング
日程:7月24日(月)
参加者:事業者7社、デザイナー7名、ビジネスパーソン10名

■ワークショップ(全6回)

事業者/デザイナー/ビジネスパーソンが一つのチームとなり、デザイン経営の手法を活用したビジョン策定・新規事業開発
参加事業者 5社

■ハンズオン(随時)

ワークショップで策定した計画をアドバイザーに対する壁打ち等によってブラッシュアップ
参加事業者 5社(ワークショップから継続)



※Selection Phaseにはデザイナーマッチング会で選考された事業者のみが参加可能です

< 参考 URL >

<https://wakayamavalue.com/>

※リンク先の内容は令和6年度実施分

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和4年度	17,360千円

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室
	電話連絡先	06-6966-6016
事業名	令和5年度 デザイン経営普及支援	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

- ・ デザイン経営の普及に向けて、すでにデザイン経営といえる取組をしている企業事例を専門家目線で分析し、デザイン経営による成長ストーリーを小冊子にまとめた。
- ・ 小冊子では、業種も規模も異なる5社の事例を基に、製品の捉え直しやビジョンの言語化などの取組をデザイン経営の視点で分析し、取組のポイントについてデザイン経営の専門家による解説を掲載。



■小冊子「中小企業をアップデートする！」

掲載事例(5社)

クスカ株式会社 (京都府与謝郡)	伝統的な技術を見つめ直し、独自の手織りでしか表現できない生地を活かしたネクタイを生産
共和鋼業株式会社 (大阪市淀川区)	ひし形金網の意味を捉えなおし、新たな可能性を開拓
株式会社神防社 (神戸市中央区)	経営陣の想いを行動指針に反映し、一体感のある組織を構築
株式会社友安製作所 (大阪府八尾市)	会社の価値観の徹底した言語化により、事業のつながりと共感を醸成
株式会社ワカヤマ (福井県鯖江市)	社内外への発信による社員の一体感醸成と新事業の創造

(参考 URL)

https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/2023_chusho_update.pdf



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度で事業終了	令和5年度	—

近畿経済産業局	機関名	近畿経済産業局
	部署名	地域経済部 産業技術課 知的財産室
	電話連絡先	06-6966-6016

事業名	令和5年度 関西デザイン経営推進事業
-----	--------------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

- ・デザイン経営に取り組みたい中小企業 3 社に対し、特許庁が示した6つの知財アクションの内の人格形成と文化醸成を中心に、デザイン経営の手法による伴走支援を実施。
- ・本事業にて支援を受けた事業者のデザイン経営に対する理解が、他の事業者にも波及していくことを目的に、成果発表会を開催。
- ・また、デザイン経営の取組を検討している事業者等に対し後押しするため、わかりやすく表現するとともに、伴走支援を行った事業者の実践例などを記載した事例集を作成。

■成果発表会

令和6年2月21日(ハイブリッド開催)
会場：グランフロント大阪

■事例集「経営って山登り? デザイン経営 GUIDE BOOK」

デザイン経営に取り組む一連の流れを、山登りに例えたわかりやすい表現で解説。

- 山登りのポイント
- 山の登り方
- 登山ルートについて
- 登山の実践者たちによる登山報告
- 登山をはじめた3人の登山者の記録

(参考 URL)

- https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/2023_design_keiei_guidebook.pdf
- https://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/10design_keiei/design_top.html



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度で事業終了	令和5年度	—

鳥取県	機関名	鳥取県	
	部署名	商工労働部産業未来創造課	
	電話連絡先	0857-26-7244	
事業名	知的財産啓発イベント・セミナー事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>デザイン・意匠等の重要性を普及啓発、およびデザインを活用した産業の振興のため、県内企業向けの産業デザインセミナーや商標権に関するセミナーを開催。</p> <p>・対象 県内企業 ・回数 年一回</p> <p><令和5年度開催内容> 日時:令和5年1月15日(月) 15:00~17:30 参加:約40名 講師:(株)SASI(兵庫県) 代表取締役 近藤 清人 内容:デザイン経営をテーマにした講演・ワークショップ 講演「中小企業に必要なブランドとイノベーションのはじめかた」 ワークショップ「目指すビジョンから逆算するデザイン経営」</p> <p><参考 URL > https://www.pref.tottori.lg.jp/315040.htm</p>			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定など		平成25年度	114千円

岡山県	機関名	岡山県
	部署名	産業労働部産業振興課
	電話連絡先	086-226-7379
事業名	NEXT モノづくり自社ブランド製品創出事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>県内ものづくり企業の企業価値の向上を目的に、ターゲットや後の販路・流通も見定めた自社ブランド製品(商品)の企画開発を支援する。</p> <p>1 ものづくりデザイン活用セミナー 県内ものづくり企業へのデザイン導入の有効性を啓発するために開催 (令和5年度概要) 日時:令和5年7月5日(水) 15:00~17:10 参加:約60名 内容:講師 (有)セメントプロデュースデザイン(大阪府) 代表取締役 金谷 勉氏 事例発表 (株)アイルリンク(岡山県) 商品企画開発部 山本 展子氏 (株)山崎麻織物工房(石川県) 常務取締役 久世 英津子氏</p> <p>2 ものづくりデザインアドバイス(デザインマッチング事業) 県内ものづくり企業と、課題解決力を持つデザイナーとをマッチングし、 デザイナーからのアドバイスにより協働してデザインを活用した新製品開発等 につながるプロジェクト。 (参加企業:H29 年度 6 社、H30 年度 7 社、R1 年度 6 社、R2 年度 3 社 R3 年度 4 社 R4 年度 3 社 R5 年度 3 社 ホームページ https://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/800255.html)</p> <p>3 岡山モノづくり★学生アイデアコンテスト 高校生・大学生等を対象に、県内ものづくり企業の製品素材等を活かした斬新なアイデア やデザインを募集するコンテストを実施。(R3 年度はコロナ禍のため実施せず) (H30 年度 テーマ企業:8 社 応募総数:968 件、R1 年度 テーマ企業:9 社 応募総数 620 238 件 R4 年度 テーマ企業:3 社 応募総数 44 件 R5 年度 テーマ企業:3 社 応募総数 348 件 ホームページ https://www.pref.okayama.jp/site/presssystem/678925.html)</p>		
		
令和 6 年度実施予定	開始年度	予算額
令和 6 年度も継続して実施予定	平成29年度	5,575 千円

広島県	機関名	広島県	
	部署名	商工労働局イノベーション推進チーム	
	電話連絡先	082-513-3366	
事業名	新技術創出支援事業(感性工学を活用したものづくりの活性化)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>人間のもつ“感性”という新たな価値軸を活用した製品の差別化による高収益構造の実現に向け、人間工学や感性工学を取り入れたものづくりの推進を目的に、「ひろしま感性イノベーション推進協議会」を設置、運営している。</p>			
設立年月日	平成 26 年 4 月 22 日		
会長	マツダ株式会社 技術研究所 副所長 坂本 和夫		
メンバー	人間工学・感性工学を活用したものづくりに関心のある企業、大学、試験研究機関、産業支援機関、行政機関等 (260 社 30 機関:令和6年3月現在)		
活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.普及啓発・人材育成 感性に訴えるものづくりを学ぶ「感性実装カフェ 2023」の開催 Step1 オープンカフェ(成果発表等) Step2 レクチャーカフェ(講演) Step3 クラスルームカフェ(講演・ワークショップ等) 2.モニター調査・解析支援 3.専門家派遣・マッチング支援 4.地域連携強化 地域のワンストップ体制の構築に向け、感性に関わる活動を実施する関係機関と連携 		
(参考 URL) https://www.h-kansei.jp/			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 26 年度	16,000 千円

広島県	機関名	広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 生産技術アカデミー	
	部署名	製品設計研究部	
	電話連絡先	082-420-0537	
事業名	産業デザインに関する研究開発、支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1 研究開発</p> <p>県内製品の付加価値化、デザイン力向上を目的とした研究開発を実施</p> <p>【県予算研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質感に関する研究」(R5) ・「動作分析に関する研究」(R5) ・「製品化に関する研究」(R5) <p>2 県行政部門との連携</p> <p>商工労働局が実施するデザイン医工連携・福祉分野での事業を支援</p> <p>○感性イノベーション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車メーカーで集積された感性工学や人間工学技術の地場産業導入を目指す事業を支援 <p>○医工連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療技術と工業技術の融合により、医療機器や福祉用具の開発を促進する事業を支援 ・手術関連製品のデザイン開発1件を支援 (R5) <p>3 技術指導・支援</p> <p>県内企業からのデザインに関する技術相談や研究会、産地支援を支援</p> <p>○技術的課題解決支援事業にて、環境配慮製品のデザイン開発を支援</p> <p>○中国地域質感色感研究会(事務局:(公財)中国地域創造研究センター)へ専門家として参画し、企業の製品開発を支援</p> <p>○ひろしまデザインネットワーク(事務局:(公財)広島市産業振興センター)へ参画し産学官でのデザイン振興を支援</p> <p>○宮島特産品振興大会に審査委員として参画し、宮島細工のブランド化や新商品開発を支援</p> <p>4 機関連携</p> <p>経産省と(独法)産業技術総合研究所による機関連携に参画し、デザイン分野での機関連携を促進</p> <p>○産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 デザイン分科会(ユニバーサルデザイン研究交流会幹事)</p> <p>○産業技術連携推進会議 中国地域部会 感性創造3Dものづくり研究会</p> <p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL></p> <p>https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/28/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		—	—千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター	
	部署名	工業技術センター デザイン支援室	
	電話連絡先	082-242-4170	
事業名	技術者研修事業「デザインマネジメントセミナー」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>広島の中企業は変化の著しい経済環境の下で、新規事業開発、新商品開発、販路拡大などに取り組んでいるものの、十分な成果に結びついているところは少なく、課題となっている。その解決策の1つとして、デザインの活用が注目されており、全国的にも広くデザインを経営に活かす「デザイン経営」へ取り組む企業も増えつつある。</p> <p>本セミナーでは、中企業との協業に精通したデザイナーを講師に招へいし、中企業の効果的なデザイン活用を目的に、デザインのマネジメント方法を学習する。</p> <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ 中量生産品の生態系をデザインする ・講師 大治将典 Oji&design 代表 手工業デザイナー ・開催日 令和5年9月15日(金)14:00~16:00 ・開催場所 広島市工業技術センター 3階研修室 ・参加者 29名 <p><参考 URL></p> <p>https://www.itc.city.hiroshima.jp/</p>			
次回実施予定		開始年度	補助予算額 全体予算額
令和6年度も継続して実施予定		平成20年度	119 千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センター デザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170
事業名	デザイナーマッチングサイト運営事業(広島市からの受託事業) 「と、つくる」	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

デザイナーマッチングサイト「と、つくる」は広島広域都市圏(以下、圏域という)のデザイナーを紹介するサイトである。このサイトを通じて中小企業等への指導・相談を行うことで、中小企業等が自社製品に相応しいデザイン企業を探すことを可能にすることにより、デザイン人材の活躍の場の創出等によるデザイン産業の振興とデザイン事業者と中小企業等との協業の促進による圏域全体の中小企業等の競争力強化を図る。平成28年度にサイトを構築し、運用を開始した。グラフィック、プロダクト、ウェブ、映像の4分野のデザイン事業者を紹介している。現在登録しているデザイン事業者は99社。全てのデザイン事業者を担当者が取材し記事にまとめ、デザイナーとの協業経験に乏しい中小企業の経営者や商品開発担当者が見ても理解しやすい内容にしている。



<参考 URL>
<https://totsukuru.jp/>

次回実施予定	開始年度	補助予算額 全体予算額
令和6年度も継続して実施予定	平成28年度	2,113千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター	
	部署名	工業技術センターデザイン支援室	
	電話連絡先	082-242-4170	
事業名	技術者研修事業「デザイン講習会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>企業が地域のデザイナーを活用していくためには、地域デザイナーが最新のデザイン技術などの情報を収集し、専門的なスキルをしっかりと身につけ、企業と協業する必要がある。しかし、広島では、企業やデザイナーがデザイン講習会やセミナーを受講できる機会は少ない。そこで、地元のデザイナーや中小企業の商品企画開発者等を集めて、デザインスキルの向上を図ることを目的とし、優れたノウハウを持った講師を招へいし講習会を実施している。</p> <p><令和5年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 開催回数 1回 テーマ 「地産地匠アワード」—地域デザイナーと地域メーカーがつくる、工芸の未来— 中川政七商店×広島デザイナー×広島市の共助をデザインする 講師 中川政七商店 代表取締役社長 千石 あや氏 Oji & Design 代表 大治 将典氏 文進堂 畑製筆所 副代表 畑 幸壮氏 K3プランニング 代表 田中 耕三氏(ファシリテーター)・開催日 令和5年3月1日(水) 14:00~16:00 開催場所 グランゲート広島 LIBERA TERRACE 参加者 55名 			
			
<p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > http://www.itc.city.hiroshima.jp</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成15年度	255千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センターデザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170

事業名	ひろしまグッドデザイン顕彰事業(広島市からの受託事業) 「第18回ひろしまグッドデザイン賞」
------------	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

広島広域都市圏に事業所を有する企業がデザイン開発した商品及びパッケージのうち、デザイン面・機能面で優れたものを「ひろしまグッドデザイン商品」として選定し、これを顕彰することで産業界及び市民のデザインに対する理解と関心を深めるとともに、デザイン関連企業の育成を図り、企業の販売促進や広島発のデザインのブランド化により産業の振興を図る。

<令和5年度(実施年)>

応募期間:令和5年6月5日(月)~7月14日(金)まで

募集部門:プロダクト部門 パッケージ部門

応募点数:92社 120点

賞
賞 :グランプリ プロダクト部門 1点 パッケージ部門 1点
準グランプリ プロダクト部門 1点 パッケージ部門 1点
特別賞 1点
優秀賞 7点
奨励賞 27点

表彰式:令和5年11月9日(木)

展示販売会:令和5年11月9日(木)~10日(金)

紙屋町地下街シャレオ展示販売会(広島市)

東京インターナショナルギフト・ショー:令和6年2月6日(火)~8日(木)

選外企業等の相談会:令和6年2月22日(木)、3月12日(火)



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

<https://hiroshimagooddesign.jp/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成6年度	R5:5,916 千円

広島県	機関名	公益財団法人広島市産業振興センター
	部署名	工業技術センターデザイン支援室
	電話連絡先	082-242-4170
事業名	デザインネットワーク推進事業(広島市からの受託事業) 「ひろしまデザインネットワーク」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>広島広域都市圏内のデザイン教育機関及びデザイン関連業界、企業、行政が適切な役割分担のもとに連携を図りながら、デザインネットワークの構築とデザイン振興拠点機能の強化を図ることを目的として「ひろしまデザインネットワーク」を運営する。</p> <p>・会員数 34機関(デザイン教育機関7、デザイン関連業界8、企業6、行政機関13) ・実施回数 3回(会議2回、勉強会1回)</p> <p>1 会議 年間2回 第1回 令和5年7月21日(金) 参加者16名 第2回 令和5年3月15日(金) 参加者16名</p> <p>2 勉強会 テーマ エンジニア思考が引き出すデザインチームの創造性 日時 令和6年3月15日(金) 13:30~15:30 講師 (株)ノメナ 代表取締役 武井 祥平氏 開催場所 広島市工業技術センター 3階研修室 参加者 34名</p>		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p><事業に関する情報が掲載されているサイト URL > http://www.itc.city.hiroshima.jp</p>		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成22年度	275千円

中国経済 産業局	機関名	中国経済産業局	
	部署名	産業部流通・サービス産業課	
	電話連絡先	082-224-5655	
事業名	エリアブランディング実証事業 (デザインで魅力的な地域に！中国地域ブランディングプロジェクト)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>少子高齢化が進む我が国では、ふるさと納税をはじめ観光・移住・企業誘致などあらゆる局面で地域同士が他との競争にさらされる時代となっている。競争力強化に取り組む民間企業と同様に、自治体や地域も自らの魅力を考えデザインしていくことが必要であり、当局ではそのきっかけづくりの一つとして、チャレンジ精神を持ったステークホルダーが、その地域の固有の価値や将来像などを話し合うワークショップの場を提供する「エリアブランディング実証事業」を実施している。</p> <p>【令和5年度事業の事例】 広島県東広島市安芸津町</p>			
ワークショップ開催日	令和5年9月21日(木)、10月19日(木)、11月30日(木)		
参加者	地域住民、学生、民間事業者、まちづくり会社、自治体など各回20名程度		
取組概要	<p>交流人口を増やすことを目的として、地域の在りたい未来や大切にしたい要素について考えるワークショップを全3回実施。「はじまりとカンパイの港町」という安芸津町のキャッチコピーを策定した。また、キャッチコピーやビジョンイラストをまとめたポスターを制作し、地域内の主要施設への設置やSNS等での情報発信によりまちづくりの機運醸成を図っている。</p>		
			
ワークショップの様子		策定したキャッチコピー	
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		令和3年度	非公表

徳島県	機関名	徳島県	
	部署名	経済産業部産業創生・大学連携課	
	電話連絡先	088-621-2324	
事業名	デザイン啓発事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業に対して、デザインの持つ商品の付加価値向上力について理解を深めていただくとともに、県内デザイナーの活用に向けた、「徳島クリエイターズライブラリ」の認知度向上を図るため、以下を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「徳島クリエイターズライブラリ」の内容の充実を図るとともに、冊子を製作し各企業へ配布 ・タウン情報誌などのミニコミ媒体やHP等にクリエイターズライブラリのインタビューなどを計19回掲載。 <p>徳島クリエイターズライブラリ H26～R元 AWAクリエイターズデータベース(登録者数:32名) R元～ 徳島クリエイターズライブラリ(登録者数:48名 R5.3.31時点)</p> <p>※AWAクリエイターズデータベースでは、登録に明確な基準を設けていなかったが、令和元年より「徳島クリエイターズライブラリ」へとりこみを行い、登録に基準(プロとして受注または製品化した仕事を5点以上発表した方)を設け、マッチングを推進するための機能強化を行った。</p>			
			
<p>【徳島クリエイターズライブラリHP】 https://tokushima-creators.net/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
内容を変更して実施予定		平成25年度	2,000千円

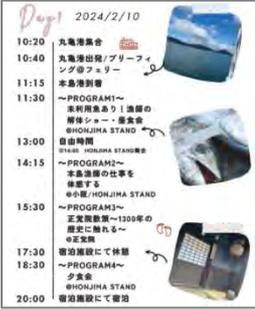
徳島県	機関名	徳島県	
	部署名	経済産業部産業創生・大学連携課	
	電話連絡先	088-621-2324	
事業名	企業・デザイナー橋渡し事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業が製造・販売する各種商品や広告・宣伝力の強化を図るため、「デザイン」が持つ訴求力のさらなる積極的な活用促進を図るため、県内外の多数の企業が参加する「徳島ビジネスチャレンジメッセ」において、デザイナーによるブース出展及びセミナー開催の支援を実施。</p> <p><ブース出展概要> デザイナーによるトークセッション、企業サイドからの要望の聴取や相談の実施、本県デザイナーの作品を展示・紹介するなど、デザイナーと企業の橋渡しを実施。</p> <p>日時:令和5年10月19日～21日 参加デザイナー:8名(各デザイナーが2～3時間ずつ交代で来場者対応) 成果:商談発生5件</p>			
			
		【ブース写真】	
<p><セミナー開催概要> デザインの必要性の普及を目的に、幅広い場面で使われている「PowerPoint(パワポ)」をテーマとしたセミナーを開催。</p> <p>日時:令和5年10月21日 13:00～15:30 タイトル:「秒で伝わるパワポ術」～これさえ覚えれば誰でも「伝わる資料」が作れる～ 講師:シヨサク(株) 代表取締役 豊間根 青地氏、 (株)office SERENO 代表取締役 森本 晴香氏 受講者数:45名</p>			
			
		【セミナー風景】	
			
		【セミナーチラシ】	
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		令和4年度	2,600千円

徳島県	機関名	徳島市													
	部署名	経済部経済政策課													
	電話連絡先	088-621-5225													
事業名	中小企業販路拡大支援事業 「徳島市中小企業販路拡大支援事業補助金(製品開発・改良事業)」														
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)															
<p>【事業概要】</p> <p>徳島市内に主たる事業所を有する製造業を営む事業者が、首都圏や海外などの大規模な市場における自社の製品の販路拡大のために、新規性・独自性・成長性があり、市場のニーズに合った製品とするために行う、製品開発・改良に係る費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。補助期間は交付決定日～令和6年2月29日までとする。</p> <table border="1" data-bbox="245 707 1217 835"> <thead> <tr> <th>補助限度額</th> <th>共同研究</th> <th>補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>30万円</td> <td>なし</td> <td rowspan="3">2分の1</td> </tr> <tr> <td>50万円</td> <td>外部専門家委託又は専門機関との実施</td> </tr> <tr> <td>70万円</td> <td>外部専門家委託と専門機関、双方との実施</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="248 862 1026 1012"> <tr> <td>対象経費</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料、副資材費 ・外注・委託費(性能検査等) ・機械装置、工具器具のリース、レンタル料 ・デザイン製作業務委託料 ・技術指導・助言業務委託料 等 </td> </tr> </table> <p>【参考 URL】 https://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisei/keizai/jigyosha/tyusyokigyo/hanrokakudai/hanro_shien.html </p>				補助限度額	共同研究	補助率	30万円	なし	2分の1	50万円	外部専門家委託又は専門機関との実施	70万円	外部専門家委託と専門機関、双方との実施	対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料、副資材費 ・外注・委託費(性能検査等) ・機械装置、工具器具のリース、レンタル料 ・デザイン製作業務委託料 ・技術指導・助言業務委託料 等
補助限度額	共同研究	補助率													
30万円	なし	2分の1													
50万円	外部専門家委託又は専門機関との実施														
70万円	外部専門家委託と専門機関、双方との実施														
対象経費	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料、副資材費 ・外注・委託費(性能検査等) ・機械装置、工具器具のリース、レンタル料 ・デザイン製作業務委託料 ・技術指導・助言業務委託料 等														
令和6年度実施予定		開始年度	予算額												
継続して実施予定		平成26年度	6,000 千円												

香川県	機関名	公益財団法人かがわ産業支援財団	
	部署名	総務部ファンド事業推進課	
	電話連絡先	087-868-9903	
事業名	新かがわ中小企業応援ファンド等事業 (地域資源ブランド化・販路拡大支援事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内の中小企業者が創意工夫して行う地域の資源を活用した商品の開発、戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取組を支援する。</p> <p>○助成対象者 県内に主たる事務所・事業所を有する中小企業者</p> <p>○助成対象事業 ①開発枠 地域の資源を活用した自社の商品の開発(既存商品の改良を含む。)及びこれに伴う販路開拓 ②販路枠 地域の資源を活用した自社の商品(既に販売している商品に限る。)の戦略的な情報発信等による販路拡大のための実効性のある新たな取組み ※地域の資源とは、香川県が令和2年9月に「地域産業資源活用事業の促進に関する地域産業資源の内容の指定」により特定した地域産業資源((3)を除く。)、又は香川県伝統的工芸品として指定されているものをいう。</p> <p>○申請の制限 ・販路枠について、商品の開発(既存商品の改良を含む。)を行う事業は申請不可 ・同一事業者による開発枠と販路枠の両方への申請は不可。また、一つの枠につき2件以上の申請も不可</p> <p>○助成対象経費 【研究開発費】 原材料・消耗品費、機械装置・工具器具費、試験検査費、知的財産権等関連経費、委託・外注費、専門家謝金、旅費(※1)、市場調査費 【販路開拓費】(※2) 展示会等出展費、広告宣伝費、専門家謝金、旅費(※1) (※1)旅費の助成対象経費は、研究開発費及び販路開拓費を合わせて20万円未満 (※2)販路開拓費の合計額は、助成対象経費の合計額の50%未満</p> <p>○助成率 2/3以内 ○助成額 50万円以上200万円以下 ○助成対象期間 交付決定日から令和5年12月28日まで</p> <p><参考URL> https://www.kagawa-isf.jp/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		令和2年度	10,000千円

愛媛県	機関名	愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター	
	部署名	技術支援室	
	電話連絡先	0898-22-0021	
事業名	商品撮影ワークショップ		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>モノの品質や特性だけでは売れにくいといわれる現在、消費者の感性に訴えかける情報発信が効果的になりつつあります。そこで、県内中小企業の販売促進を担当する人材の育成を支援するため、消費者の感性に訴求できる写真撮影技術を学ぶ研修を開催します。</p> <p>テーマ:「感性豊かに撮影する技術を学ぶ」</p> <p>目的:カメラの基本的知識を学び、オリジナル企画商品等の撮影が一通り自社でできるようになること</p> <p>内容:カメラの使い方や撮影に関する基礎知識、商品に求められる写真の撮影技術の習得など</p> <p>対象:県内の中小企業(伝統工芸を含む)の企画担当者等</p> <p>期間:前期 令和5年5月～令和5年9月 2社4名参加 後期 令和5年10月～令和6年2月 2社3名参加</p> <p>開催:各企業1ヶ月に2回程度/1社1回あたり2時間 30分程度</p> <p>場所:愛媛県繊維産業技術センター3階 デザイン工房2 および デザイン研修室</p> <p>費用:無料 ※カメラや撮影対象物(商品など)、小物類は参加企業で準備持参</p> <p>担当:デザイン担当職員2名</p>			
			
令和5年度実施		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成27年度	—

愛媛県	機関名	愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター	
	部署名	技術支援室	
	電話連絡先	0898-22-0021	
事業名	地場産品イノベーション支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>新たな分野での商品開発に意欲のある事業者を広く募集し、異業種とのコラボや機能性の付与など新たな発想を取り入れながら、デザイン性が高く機能性に優れた商品開発と独自販売のための商品撮影技術を習得します。</p> <p>○参加企業 令和5年度 3社(タオル製品製造業、木材加工業、不織布製品製造業)</p> <p>○事業内容(1)商品開発会議(3社合同及び個別企業)の開催 令和5年度 3社合同会議1回、各社個別会議7回、計8回 (2)開発製品について、産業技術研究所が評価試験を実施 (3)成果報告会の開催(3月に開催)</p> <p>○成果品 参加企業3社各企業が1アイテム、計3アイテムを試作し商品化した。 販売開始に至っており、新市場への参入及び市況開拓することができた。</p> <p><参考 URL> https://www.pref.ehime.jp/h30105/sangiken/seni/panel/2022-list.html</p>			
			
令和5年度実施		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		令和4年度	令和5年度 455千円

四国経済 産業局	機関名	四国経済産業局	
	部署名	地域経済部新事業推進課	
	電話連絡先	087-811-8521	
事業名	クールジャパン再起動に向けた地域ブランド化促進事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業概要】</p> <p>2025年の大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭を契機に、よりいっそう四国内の地域や観光商品等のブランド力高めるため、デザイン経営の手法を用いてブランド化に係る検討会を3回実施した。観光有識者、旅行会社、地域の関係事業者、知財専門家等の知見を活かしながら、新規コンテンツ組成に繋がる知識獲得や意識向上を図るほか、対象地域である本島(香川県丸亀市)において、魅力的な観光コンテンツを組み合わせたツアープランを組成した。また、同プランに基づき、観光やブランディングに関する有識者やインフルエンサー等5名を招聘したモニターツアーを実施し、知財活用促進に繋がる地域の魅力あるコンテンツの情報発信等を行った。また本事業をきっかけとして、参加者が新たな商標を登録することにつながった。</p>			
<p><第1回検討会></p> <p>日時:2023年12月6日(水)</p> <p>場所:本島市民センター会議室(ハイブリッド開催)</p> <p>参加者:25名</p> <p>内容:①デザイン経営を活用したブランディング講義、事例紹介 ②コンテンツ発掘・整理モニターツアープラン案の検討・調整</p>			
			
<p><第2回検討会></p> <p>日時:2024年1月23日(火)</p> <p>場所:本島市民センター会議室(ハイブリッド開催)</p> <p>参加者:23名</p> <p>内容:①第1回検討会の振り返り、事例紹介 ②モニターツアープランの企画・調整等(ツアープランの目的・目標の整理 インフルエンサー等について)</p>			
<p><第3回検討会></p> <p>日時:2024年3月13日(水)</p> <p>場所:本島市民センター会議室(ハイブリッド開催)</p> <p>参加者:19名</p> <p>内容:①モニターツアー開催結果、全体振り返り ②ブランド化に役立つ知財講座等、今後に向けた取組・施策・制度の紹介</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
事業内容等を一部変更し継続して実施予定		令和5年度	4,400千円

四国経済 産業局	機関名	四国経済産業局	
	部署名	地域経済部新事業推進課	
	電話連絡先	087-811-8521	
事業名	令和5年度オープンファクトリーを活用した知財エコシステム構築事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業概要】</p> <p>地域の新たな魅力を発信する手段として盛り上がりを見せている「地域一体型オープンファクトリー」を通じ、地域や企業等が連携した地域ブランド化や稼ぐ仕組みづくりを推進するため、「デザイン経営を取り入れたオープンファクトリー推進セミナー」を開催した。香川県東讃地域で開催される地域一体型オープンファクトリー「CRASSO(クラッソ)」の取組についての紹介と、中小企業のブランディングについて講演を行い、地方公共団体や企業向けにデザイン経営の視点を取り入れたブランディングの重要性を発信した。</p> <p>また、参加者が4～5名のグループに分かれディスカッションを行うことにより、デザインやブランディングの重要性について理解を深めた。</p> <p><デザイン経営を取り入れたオープンファクトリー推進セミナー ～中川政七商店の変革から学ぶ中小企業にブランディングが大切な理由～></p> <p>日時:2023年10月23日(月) 場所:かがわ国際会議場 参加者:68名 内容:①香川県東讃地域で開催される地域一体型オープンファクトリー「CRASSO(クラッソ)」紹介 タナカ印刷株式会社 代表取締役社長 田中 英城 氏 ②講演「中川政七商店の変革から学ぶ 中小企業にブランディングが大切な理由」 株式会社中川政七商店 代表取締役会長 中川 政七 氏 ③参加者交流会</p> 			
		開始年度	予算額
令和5年度で事業終了		令和5年度	6,999千円

福岡県	機関名	福岡県	
	部署名	商工部 新事業支援課	
	電話連絡先	092-643-3449	
事業名	デザイン振興事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>本県における産業デザインの振興を目的として設立された「福岡県産業デザイン協議会」の活動を支援し、県内企業のデザインを活用した付加価値の高い商品開発、販路開拓を促進。</p> <p>■福岡県産業デザイン協議会(設立:平成 9 年 11 月 13 日/事務局:福岡県商工部新事業支援課) 会 長:古宮 洋二(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員) 会 員:協議会の趣旨に賛同する企業、デザイナー、支援機関等 188 個人・団体(令和 6 年 3 月末時点)</p> <p>■福岡デザインアワード 平成 11 年創設。デザイン性に優れた商品・サービスの審査表彰及び展示を実施。 また、受賞商品 PR 動画を制作や博多駅等でデジタルサイネージ等による交通広告を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 次審査(書類審査):令和 5 年 9 月 6 日 ・最終審査及び授賞式:令和 5 年 10 月 24 日 ・会場:JR 九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街 1-1 JR 博多シティ 9 階) ・応募数:184 件 ・表彰:15 件(大賞 1 件、金賞 4 件、銀賞 10 件) <p>■商品開発・販路拡大支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業によるデザインを活用した付加価値の高い商品やサービス開発を促進するため、商品開発の課題を抱える企業と学識経験者やデザイナーを交えた議論を行う、デザイン開発ワークショップを開催。 ・受賞企業等について、クラウドファンディングへの出展支援や WEB ミーティング機能を使用した商談会の実施などによる販路開拓支援を実施。 <p><参考 URL> 福岡県産業デザイン協議会 https://www.fida.jp 福岡デザインアワード https://award.fida.jp</p>			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 9 年度	25,167 千円

福岡デザインアワード福



福岡県	機関名	福岡県工業技術センター インテリア研究所	
	部署名	技術開発課	
	電話連絡先	0944-86-3259	
事業名	製品企画力高度化支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■目的</p> <p>やる気を持った県内家具等の製造業 1社1社に対して製品企画から製品化まで一貫して支援し、各企業のブランドの基幹となる製品の創出や企業の製品企画力向上を通じて、戦略的な製品開発ができる活力ある企業の育成を図る。</p> <p>■概要</p> <p>本事業に参加意欲のある企業を公募により募集し審査会において選定する。(年間3社程度)</p> <p>企業に製品企画に関する助言を行うために有識者によるアドバイス体制を整え、企画から製品化までの支援を行う。</p> <p>企業と外部有識者、インテリア研究所の3者により、具体的な製品企画を行い、その企画を具現化するデザイナーを公募する。</p> <p>選定されたデザイナーのデザイン案を基に、設計・試作・評価を行い製品化へとつなげる。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	2,645千円

福岡県	機関名	福岡市	
	部署名	経済観光文化局新産業振興部コンテンツ振興課	
	電話連絡先	092-711-4329	
事業名	クリエイティブ関連産業の振興		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○福岡市では、ゲーム、映像、ファッション、音楽、デザインなどのクリエイティブ関連産業の振興に取り組んでいる。</p> <p>○福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福岡デザインアワード 2 受賞商品の販路開拓の支援 3 デザインを活用した商品開発の推進 <p>○交流創出事業</p> <p>福岡市内の事業者に広く呼びかけて連携し、イベント等を通じて、上記5分野のクリエイティブ関連産業の振興を図っている。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成8年度	102.621千円

福岡県	機関名	北九州市	
	部署名	地域経済振興部サービス産業政策課	
	電話連絡先	093-582-2050	
事業名	サービス産業振興事業(デザイン産業振興事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>①デザインシンポジウムの開催 市民、市内企業等がデザインに関する知識を深め、新しいビジネスの創出や課題解決に至るデザイン思考のきっかけとなることを目指し、西日本工業大学デザイン学部と連携し、デザインの分野で活躍される方を講師に招いてシンポジウムを開催。</p> <p>【令和5年度開催内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 令和5年10月24日(火) ・場所 西日本工業大学 小倉キャンパス ・テーマ 強みをデザインする商品開発～小さな企業が生き残る～ ・講師 有限会社セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷 勉 氏 ・参加人数 74名(会場受講48名、オンライン26名) <p>〈参考 URL〉 https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/27200193.html</p> <p>②福岡県産業デザイン協議会(事務局:福岡県)との連携 当協議会への負担金の支出、市内事業者への「福岡デザインアワード」、「デザイン開発ワークショップ」への応募呼びかけ</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
①は令和6年度実施予定なし、②は継続して実施予定		平成15年度	837千円

佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	産業労働部ものづくり産業課	
	電話連絡先	0952-25-7421	
事業名	ものづくり企業イノベーション促進事業費補助金		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1. 事業目的 「ものづくり×クリエイティブ」を基本的なコンセプトとした「夢」「志」「新しい試み」へ挑戦することを応援し、これまでのビジネスモデルから一歩踏み出した新たな取組を外部のクリエイターやデザイナー等と連携して行うものづくり企業を応援し、企業内イノベーションを促すことで、企業体力の強化を図る。</p> <p>2. 事業概要 ものづくり企業が温めていた「夢」「志」の実現やものづくり企業の資源(製品や技術等)の高収益化や社会的ニーズへの対応を図るために実施する「ものづくり×クリエイティブ」を基本的なコンセプトとした新たな事業活動に要する経費の一部を補助する。</p> <p>3. 対象事業 ○ ものづくり事業者が認知度向上を目的として新たに実施するブランディングやプロモーション ○ ものづくり事業者が保有する技術や製品に新たな価値を付すための技術開発や商品開発 ○ オンライン型直接販売に対応するための環境整備 など</p> <p>4. 補助対象経費 報償費、費用弁償、備品購入費、委託料、使用料及び賃借料等</p> <p>5. 補助率 3分の2以内</p> <p>6. 補助上限額 200万円</p> <p>7. 令和5年度実績 11件</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定 ※以降は未定		令和2年度	16,000千円

佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	産業労働部ものづくり産業課	
	電話連絡先	0952-25-7421	
事業名	ものづくり経営革新強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1. 事業目的</p> <p>経営環境が激変する中で、県内ものづくり企業は、脈々と引き継がれてきた組織風土や固定観念に加え、日々の受注生産への対応などに追われ、新たな取組を進める余裕がない企業も多く、県内ものづくり企業が持続的に発展していくためには、これまでにない思考や方法で経営を見直すなど、主体的に変化・挑戦することが重要であり、本事業により県内ものづくり企業が時代に適応した経営体制の構築や新事業への挑戦を後押しする。</p> <p>2. 事業概要</p> <p>県内ものづくり企業を対象とし、課題設定型伴走支援やクリエイターの発想力・表現力等を用いた伴走型ブランディング事業を実施し、企業の「自己変革力」を高めるモデル事例(3社予定)を創出する。また、県内ものづくり企業の自己変革力を高め、既成概念に捉われない発想で新たなチャレンジを促進するため、モデル事例の成果を情報発信し、県内ものづくり企業とモデル事例経営者等との交流の場を設ける。</p> <p>3. 支援対象者及び支援社数</p> <p>県内ものづくり企業を対象に3社程度を予定。</p> <p>4. 支援内容</p> <p>公募により選定した県内ものづくり企業の以下取組を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 支援企業の経営者と同事業の中小企業診断士が対話を重ね、自己変革力の土台となる“企業らしさ(ありたい姿)”を言語化。 ○ “企業らしさ”を軸にあらゆる経営活動に一貫性を持たせ、経営者や社員、取引先などステークホルダーの認識を合致させる。 ○ クリエイティブ支援が必要な場合は、必要に応じてクリエイターを伴走支援チームにアサインする。 			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定 ※以降は未定		令和6年度	8,011千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0955-43-2185	
事業名	アドバイザー委託事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○目的 平成 26 年度から 3 年にわたって実施した有田焼 400 年事業により、有田焼産地再生に向けた方向性を見出すことができたが、その流れをさらに発展させ、事業化支援事業(窯業技術センターが地元陶磁器業界企業、クリエイター、クライアント等を結ぶハブ的機能を果たしながら、企画から流通までの一貫したモノづくりプロセスを支援するもの)のより効果的な事業展開を図るため、陶磁器ビジネスの事業化に関し豊かなノウハウを有する人材をアドバイザーとして招聘し、事業化支援事業の業務を委託する。</p> <p>○期間 令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日</p> <p>○事業内容</p> <p>①事業化支援外部アドバイザー関係 デザイン、製造、流通に至るまでの商品開発の各プロセスにおけるアドバイス 窯元、商社の関係者を結ぶコーディネートに関すること 産地外部のデザイナー、企業等の紹介、仲介</p> <p>②事業化支援セミナー関係 伊万里・有田焼産地内での商品開発にすぐに運用できるようなテーマの設定、テーマに適した講師の紹介、仲介</p> <p>③研究課題関係 窯業技術センターで実施する経常研究・支援事業「事業化支援関連」に関する助言、指導に関すること</p> <p>④職員指導関係 上記を通じた、職員への事業化支援ノウハウに対する助言、指導に関すること</p>			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和 29 年度	5,159 千円

佐賀県	機関名	佐賀県窯業技術センター	
	部署名	デザイン部	
	電話連絡先	0955-43-2185	
事業名	陶磁器デザインアプリケーション「iroe」(いろえ)の運用		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>○目的 佐賀県陶磁器産地の特色である、職人による伝統的な絵付けや文様、美しい絵具の色を未来へ発展・継承していくため、陶磁器専用のデザインアプリを開発した。その利用促進のため、アプリの機能更新と運用に取り組む。</p> <p>○アプリケーションの概要 陶磁器専用のデザインアプリとして、カラーデータベースの色見本を搭載し、さらにその色で絵付けや伝統的な絵柄を自由にレイアウトできる機能を実装。窯業関係者が開発段階での色検討やデザインに用いることができ、また一般の方やお子様でも、陶磁器の絵付けを楽しむことができる。実際の陶磁器の製造工程に沿って絵付けを進める工程になっており、デジタルやきもの体験を楽しむことができる。(令和5年4月リリース済。)</p> <p>○事業の内容 機能の追加・アップデート、また SNS での情報発信を行う。今後、先進的な産地づくりの取り組みとして、産地全体の体制づくりを検討し、伝統産地の技術と人材を活かしたものづくりにつなげる事業へと発展させるための支援を行う。</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	3,071千円



佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	農林水産部 農業経営課	
	電話連絡先	0952-25-7570	
事業名	さが農村イノベーション推進事業「さがアグリヒーローズ」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>■目的</p> <p>県内外に広く知られるような農村ビジネス※の成功事例を、令和8年度までに5件以上創出する。 ※農村ビジネスとは、農産加工品の開発・製造や農産物直売所、農業体験・観光農園、農家レストラン、農家民宿などの農村にある資源・魅力を活かしたビジネスで、生産者の所得向上と地域の活性化を目指す取組。</p> <p>■事業概要</p> <p>農村ビジネスの成功事例を創出するため、さが農村イノベーション推進事業による支援を「さがアグリヒーローズ(SAH)」と称し、農家に対してデザインの視点を取り入れた商品開発やブランディング等をサポート。 具体的には、プロポーザルによってプロデューサー(総括クリエイター)を決定し、総括クリエイターは公募により重点支援者となる農家5組を選定。令和8年度までに農村ビジネスで成功事例となるような事業計画(4カ年プラン)を立案。重点支援者の目標の実現に向けて、総括クリエイターは綿密なヒアリングのもと、デザイナーや料理研究家などの専門クリエイターを全国各地から選定し、対象者に応じた支援を実施する。 ※令和5年度から第2期がスタート。第1期(令和1~4年度)については、5組の重点支援者全員が目標の売上高1,000万円増を達成。 ※2022年度グッドデザイン・ベスト100受賞(『農業分野におけるデザイン経営の導入』としてさがアグリヒーローズの取組が、「明日を切り拓く力をもったデザイン」「未来を示唆するデザイン」として高い評価を得て受賞。)</p> <p>■活動内容</p> <p>(1)重点支援者の目標の実現に向けた取組 重点支援者5組それぞれにプロジェクトチームを組み、打合せを実施。ブランドイメージを鮮明にするロゴマークやパッケージ、HP、農家の生産物を使った加工品等を制作。</p> <p>(2)情報発信</p> <p>①事業全体の広報ツールとして、インスタ、Facebook、HPを開設。</p> <p>②佐賀大学農学部特別講義 期日 令和5年6月26日(月) 場所 佐賀大学農学部大講義室(佐賀市) 内容 農学部1年生を対象にさがアグリヒーローズの事業について紹介</p> <p>③県内広報イベント「さがアグリマーケット」(さがアグリヒーローズイベント) 期日 令和5年11月11日(土) 場所 佐賀駅前交流広場(佐賀市) 内容 販売、体験ブース、ワークショップ、トークショー 来場者 約600人</p> <p>④成果報告会 期日 令和6年2月13日(火) 場所 JONAI SQUARE(さがテレビ1F)(佐賀市) 内容 総括クリエイターによる本年度の取組成果報告、重点支援者及び専門クリエイターの紹介、質疑応答、意見交換 参加者 約30名</p> <p><参考URL> https://saga-agriheroes.com/</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	17,956千円



佐賀県	機関名	佐賀県	
	部署名	健康福祉部 障害福祉課 就労支援室	
	電話連絡先	0952-25-7389	
事業名	授産事業パワーアップ事業「デザイン等魅力向上事業」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業目的】 障害者が地域社会で自立した生活を営めるよう、県内の障害福祉サービス事業所のうち、工賃収入の安定確保及び向上に取り組んでいる就労継続支援B型事業所及び別途定める要件を満たしている就労継続支援A型事業所（以下、「事業所等」という。）に対して、専門家を招聘・派遣し、商品、パッケージ等の開発・改良支援等を行う。</p> <p>【実施時期】 令和5年6月7日～令和6年3月31日まで</p> <p>【実施内容】</p> <p>① 専門家の選定 ア 市場のニーズを捉えた商品等ブランドの構築、商品開発、販路開拓等に関する監修についての経験と実績を有する専門家（クリエイター等）を選定する。 イ 専門家の選定については、県と協議のうえ決定する。</p> <p>② 商品開発支援等 ①で選定した専門家を（4）で選定した事業所等へ派遣し、以下の支援を行う。なお、支援に当たっては、サステイナブルな社会を目指す取組に配慮するよう努める。 ア 商品開発支援等 事業所等が行う商品開発等について、事業所等の要望を聞き、事業所等が持つ技術や強み等を活かしながら、新規商品開発、既存商品のブラッシュアップ、パッケージ改良等の支援を行う。なお、商品やパッケージ等の試作品に係る経費についても、委託事業の経費とする。 イ 動画制作 当事業において開発した商品等及び開発に至るプロセスやストーリーを紹介するPR動画を制作すること。なお、動画の制作にあたってはYoutubeや各種SNSに掲載可能なファイル形式による。</p> <p>③ 成果発表会 ア 障害福祉施設の販売会（11月中旬開催予定）において、成果（商品等）の発表（障害福祉施設の販売会までに商品等が完成している場合に限る。）及び商品開発等が途中の場合は中間報告を行う。 イ 来場者へのアンケート調査を行い、集計及び分析して事業所へ報告する。 ウ 商品を魅力的に見せるようレイアウト指導を行う。</p> <p>【参加事業所】 5事業所 ≪参考URL≫ 佐賀県障害者福祉課サイト https://www.youtube.com/channel/UCgkEBj76AdqtqRLQaA0pvSg</p>			
【発商品例】	【開発前】	【完成】	
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施		令和3年度	5,500千円

佐賀県	機関名	佐賀県
	部署名	産業労働部産業政策課
	電話連絡先	0952-25-7182
事業名	クリエイティブ産業振興事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

◆目的

県内クリエイターの育成やコミュニティ形成支援、それらを活用する県内企業に対する啓発活動や意識改革による需要喚起、加えて双方の理解促進やマッチング支援等に段階的に取り組むことにより、県内におけるクリエイティブ産業の振興を図った。

◆事業概要

令和5年度においては、県内クリエイターへのヒアリングや活動実態調査やニーズ把握を進めつつ、ネットワーキングイベントやセミナーを実施することによりクリエイティブ産業振興の土台となるコミュニティ形成を図った。

◆実施内容

1. トークイベント

『SAGA ミライ経営トークリレー』

【概要】

県内企業がクリエイターを活用した事例とともに、県がすすめる「さがデザイン」の考えやその活用事例を知ってもらうことで、企業のデザインへの関心を高め、活用につながることを目的とするもの。

(1) 開催日時: 令和5年8月20日(日) 15:00~17:00

(2) 場 所: SAGA アリーナ

(3) 内 容:

- ① 佐賀県が進める「さがデザイン」の考え方やその活用事例と共に、県内企業がデザインを活用した事例を紹介
- ② 事業承継支援機関からの説明のほか県内で実際に事業承継に関わった企業経営者とのトークセッションによる事例を紹介
- ③ 講演会

2. セミナー・ワークショップ

『SAGA2024土産品デザイン会議』

【概要】

県内の事業者に対し、県内のデザイナーのことを知ってもらい、デザイナーが関わって制作した商品等を見てもらいながら、デザインについて語り、広くデザインの利活用の可能性を伝えることを目的とするもの。

(1) 開催日時: 令和6年2月1日(木曜日) 14時~17時

(2) 場 所: JONAI SQUARE (佐賀市内 1-6-10)

(3) 内 容:

- ① 県内の土産品のデザイン活用による付加価値向上事例を含めたクロストーク
- ② デザイン会議(製品デザインへの想いや課題についてデザイナーを交えて議論)
- ③ 参加者交流会(事業者とデザイナーとのフリートーク)



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	2,500千円

佐賀県	機関名	佐賀県工業技術センター	
	部署名	生産技術部 分室 諸富デザインセンター	
	電話連絡先	0952-47-5601	
事業名	技術ワークショップ事業「デザイン活用研究会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>【事業目的】 県内企業の商品開発力向上や企業経営、新商品・サービス開発において重要となる、デザイン活用の考え方や活用手法の修得</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> デザイン思考を活用した新商品開発の考え方や手法に関する講習会及び実習等 企業活動におけるデザイン技術の活用に関する講習会及び実習等 中小企業におけるブランド構築に関する講習会及び実習等 <p>【活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○工業技術センター デザイン担当者が講師、ファシリテーターとして開催 <ul style="list-style-type: none"> 木製端材、未利用材を活用した商品開発について(1)・・・令和5年10月10日 木製端材、未利用材を活用した商品開発について(2)・・・令和5年11月29日 ○外部講師を招いてのセミナー形式での開催 <ul style="list-style-type: none"> 小企業や地方の企業の商品開発とプロモーションの考え方と実践手法について・・・令和6年3月21日 <p><参考 URL > https://www.saga-itc.jp/goriyoannai/_1028/kenkyuukai/dezain_katuyou_kenkyuukai.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	723千円

長崎県	機関名	長崎県
	部署名	産業労働部企業振興課
	電話連絡先	095-895-2637
事業名	売れる！デザイン競争力強化事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>県内で企画・開発・製造されている商品の中から優れたデザインを選定・表彰し、受賞商品の PR、販路拡大支援を実施した。</p> <p>■長崎デザインアワード2023</p> <p>募集対象:県内で企画・開発・製造された製品のうち、反復生産可能なもので令和4年4月1日から令和5年10月31日までに商品化され、現在も販売されているもの(令和4年4月1日以前に商品化されたものでも、上記期間内にデザインを改良し商品化されたものも含む)。</p> <p>募集期間:令和5年9月7日(木)～11月20日(月)</p> <p>応募総数:72点</p> <p>選定委員:6名(デザイン関連4名、バイヤー関連2名)</p> <p>受賞(表彰):大賞(1点)、金賞(2点)、銀賞(5点)、選定委員会特別賞(2点)</p> <p>その他:入選(10点)</p> <p>表彰式:令和6年1月16日(火)</p> <p>場 所:長崎県庁</p> <p>主 催:長崎県、長崎県産業デザインネットワーク</p> <p><参考 URL > https://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/nid_net/index.php</p>		
		 <p>表彰式</p>
		 <p>受賞商品</p>
		
令和6年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	令和5年度	7,558 千円

長崎県	機関名	長崎県
	部署名	長崎県窯業技術センター 戦略・デザイン科
	電話連絡先	0956-85-3140
事業名	セミナー事業他、技術支援業務	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>■デザインセミナーの開催</p> <p>テーマ:「ブランディング経営とその戦略」 ー自社の課題と市場の現状を知り ブランド構築による経営戦略で新たな価値を生み出すー</p> <p>期 日:第1回:令和6年2月29日 13:00～15:00(現地・オンライン) 第2回:令和6年2月29日 15:00～17:00(現地) 第3回:令和6年3月1日 10:00～12:00(現地)</p> <p>タイトル:第1回:「レクチャー:成熟した市場において必要な価値提供とは」 第2回:「ワークショップ①:生産者の課題とその分析」 第3回:「ワークショップ②:ブランディング」</p> <p>概 要:graf 代表のクリエイティブディレクター・デザイナーである服部滋樹氏を講師に招き、デザインセミナーを開催した。変化する現代の市場の現状を知り、製品のブランディングについてのワークショップを通して経営戦略を学んだ。 第1回は「成熟した市場において必要な価値提供とは」と題して、現代の価値観や購買行動についてレクチャーにより成熟市場における戦略を学んだ。 第2回はレクチャーの内容を踏まえて、セミナー参加企業が認識している自社の強みや弱み、今後の展望等をグループで話し合うワークショップを行った。講師を中心に外部の視点からの知見を得ることで、自社の現状を分析・把握した。 第3回では、第2回のワークショップで整理した各社の現状を踏まえ、仮に想定した製品のブランディングを考えた。ターゲットや開発プロセス、購買行動につながるストーリー、新たに提供する価値などについて考え、グループごとに発表し講師からのフィードバックも得ることができた。</p> <p>講 師:服部 滋樹 氏(graf 代表) 受 講 者:52人(延べ)</p> <p>■県内陶磁器産業の新商品開発支援</p> <p>波佐見焼の最新トレンドを反映した新商品の開発と販路拡大を目的に、「テーブルウェア・フェスティバル」に出展するための商品開発におけるデザイン及び技術を支援 対象:波佐見陶磁器工業協同組合の窯元のうち参加を希望する企業 支援企業数:14社</p> <p>■長崎県産業デザインネットワーク(NID-net)</p> <p>デザイナーをはじめ、デザイン会社やデザインに関心のある企業、支援機関、団体、金融機関等のネットワークを構築し、会員相互の企業間連携、デザインの啓発、情報の共有、デザインの高付加価値化、市場開拓・販売促進などデザイン活動を推進する。 会員数:221者</p> <p>■デザイナーズバンク</p> <p>様々な県内企業等の自社商品のデザイン力向上のため、デザインの相談を希望する県内企業等からの相談内容に応じて、バンクに登録しているデザイナーやデザイン関連企業を紹介する。 登録者数:53人</p> <p><参考 URL > https://www.pref.nagasaki.jp/yogyo/nid_net/index.php</p>		
令和5年度実施予定		予算額
		千円

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術相談／カスタムメイド試験研究事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>熊本県産業技術センターでは、県内企業の商品開発、新規事業創出等において、デザイン思考による開発技術(デザイン開発技術)を導入する支援を行っています。</p> <p>『デザイン開発技術』※とは？ 製品の審美性のみならず、ユーザーが求める価値、使用によって得られる新たな経験の実現・経験の質的な向上等を追求することにより、製品自体の優位性に加え、製品と人、製品と社会との相互作用的な関わりも含めた価値創造に繋がる総合的な設計技術。</p> <p>※特定ものづくり基盤技術 デザイン開発にかかる技術 概要(中小企業庁のホームページ)より https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/download/shishin/2018/j01.pdf (熊本県産業技術センターの事例も掲載)</p> <p>○技術相談 商品開発やブランド創出等に関する相談全般について対応しています。これから新たに商品開発やブランド創出等に取り組みたいと考えている企業の方、現在、すでに取り組んでおり、問題や悩みを抱えている企業の方等からの相談を受け付けています。</p> <p>○カスタムメイド試験研究事業 熊本県産業技術センターが、研究開発、測定・分析、技術者研修等に関する企業からの要望に応え、受託料を受けて実施する事業です。デザイン分野では、県内企業の商品開発、ブランド創出、ユーザビリティ評価等に関するテーマを受け付けています。</p> <p>【事業に関する情報が掲載されているサイト】 https://www.kumamoto-iri.jp/support/guidance.html</p> <p>【デザインに関する情報、及び相談窓口が掲載されているサイト】 https://www.kumamoto-iri.jp/etc/dyb/aq.html</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
令和6年度も継続して実施		-	-

熊本県	機関名	熊本県産業技術センター	
	部署名	技術交流企画室	
	電話連絡先	096-368-2101	
事業名	技術普及講習会(産業デザイン関連)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>県内企業に対し、ブランド創出から商品企画・開発などデザイン関連の最新の技術情報を普及するために、外部講師の協力等による最新技術の普及セミナー等を行っています。</p> <p>特に、デザイン思考やブランディングデザインに関する手法、事例を提供することで、デザインの必要性や価値について、体験してもらい、感じてもらうためのセミナーやワークショップを開催しています。</p> <p>○過去に開催したテーマの事例(一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチェスター経営戦略 (中小規模事業者ならではの経営戦略) ・ビジネスモデルキャンパス ・極端思考発想法 ・インクルーシブデザイン ・ゲームニクス ・ブランディングデザイン ・「行為のデザイン」思考法 			
			
講習会の様子			
令和6年度実施予定	開始年度	予算額	
令和6年度も継続して実施	-	-	

熊本県	機関名	天草市	
	部署名	経済部産業政策課	
	電話連絡先	0969-32-6786	
事業名	天草市デザイン経営強化事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市内の事業者の競争力向上を図るため、経営戦略にデザイン思考を取り入れ、企業の抱える課題を解決しイノベーションを起こす経営とデザインを一体化した「デザイン経営」の導入を促進する。本事業では、事業者のデザインに対する意識改革と市内デザイナーの育成を行うとともに、市内企業と市内デザイナーをマッチングし、事業者のデザイン経営戦略の土台を作るところまでを支援する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○天草デザイン経営導入促進シンポジウムの開催 《日 時》令和5年7月10日(月)13時～16時 《会 場》天草市複合施設こくらす 《テーマ》デザイン戦略で勝ち抜く！～ポテンシャルを利益へ～ 《講 師》博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏 マーケティングデザインスタジオ SEE°C 代表 八木田一世 氏 《参加人数》65 名 《実施団体》天草市産業政策課</p> <p>○天草デザインプロデューサー道場の開催 《日 時》令和5年8月7日、8日、31日、9月1日、10月5日、6日、11月16日 各日4時間 《会 場》天草市複合施設こくらす 等 《内 容》7日間の講座を通じて、デザインの力で経営を変え、現状を打破する事業を生み、生き残る経営手法に取り組む事業者及びその事業者を支援するデザインプロデューサー人材を育成する。</p> <p>《メイン講師》 博報堂ケトル チーフプロデューサー 日野昌暢 氏 《ゲスト講師》 景色デザイン室 古庄悠泰 氏 (株)かつあき 佐藤かつあき 氏 (株)パースプランニング 松尾聡子 氏 (株)サルトコラボレイティブ及び株式会社 THE MARKET 加藤寛之 氏 (株)出雲路本製作所 中井希衣子 氏 (有)宮川洋蘭 宮川将人 氏 (株)シークルーズ 瀬崎公介 氏 《参加人数》10 名 《実施団体》天草市産業政策課</p>			
			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	2,585 千円

大分県	機関名	大分県
	部署名	商工観光労働部 経営創造・金融課
	電話連絡先	097-506-3232

事業名	クリエイティブ活用推進事業
-----	---------------

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

大分県では、優れた技術やノウハウを持つ県内の企業と、最先端の技術や、豊かな発想・感性を持ち、企業に対してその能力、技術を発揮できるクリエイティブ人材が交流し、コラボレーション(協働)することで、競争力の高い商品・サービスの創出や、新規マーケットの開拓等に繋げることを目的とした、クリエイティブ活用事業に取り組んでいる。

■クリエイティブ活用個別相談事業

県内中小企業や個人事業主等を対象にクリエイティブ活用のセミナーを開催。
 クリエイティブの活用についての講演や県内クリエイターによる事例紹介、
 希望者には個別相談を実施。

○クリエイティブ活用の講演

内容:「なぜクリエイティブが必要なのか」
 「地域とクリエイティブの掛け算でどのような真価が発揮できるのか」
 「クリエイティブのチカラで社会に新しい気づきをもたらそう」

講師:株式会社 野村総合研究所 坂口剛氏
 一般社団法人 OITA CREATIVE PRODUCTION 廣部慧氏
 POOL Inc. 小西利行氏

○県内クリエイターによる事例紹介

○個別相談会(希望者のみ)

日程及び会場
 佐伯市(9/15)、竹田市(10/13)、別府市(10/20)
 大分市(11/10)、国東市(11/24)、宇佐市(12/15) オンライン(12/18)
 参加者 合計 219 名



■県内クリエイター高度人材育成事業

県内の企業とクリエイティブ人材が交流し、協働することで、競争力の高い
 商品・サービスの創出や新規マーケットの開拓等に繋げることを目的に連続
 講座(おおいたクリエイティブ実践カレッジ)を2コースで実施。
 「Standard30(基礎) 27名」、「Leader5(応用) 5名」

○クリエイティブ活用の講演

内容:「パーパスブランディングとはなにか」等
 講師:メイン講師

株式会社野村総合研究所 坂口剛氏
 株式会社 POPS 代表 田中淳一氏
 その他、第一線で活躍中のクリエイターなどの講師陣が参加

○県内企業に対する提案(現状把握・課題設定・課題解決)

○コミュニティ活動

受講生と過去の受講生の有志によるコミュニティ
 勉強会やワークショップ等を行うことで、メンバー間の交流と繋がりを創出



令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和5年度で事業終了、令和6年度から新規事業を実施	令和3年度	22,901千円

大分県	機関名	大分県産業科学技術センター	
	部署名	製品開発支援担当	
	電話連絡先	097-596-7101	
事業名	商品化プロデュース支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1. 事業目的	<p>県内中小企業が取り組む商品開発において、開発各段階に対応した的確で きめ細かな伴走支援によって、市場競争力のある商品を創出すると共に、 企業内に経営資源としての「デザイン」を定着させ、売れる商品を生み出 すことのできる企業を育成することを目的としています。</p>		
2. 実施主体	大分県		
3. 事業内容	<p>フェーズA 商品企画ステップアップ 対象:支援企業2社程度 期間:約7カ月(企画会議 月2回程度開催) 内容: 商品開発の第1段階である商品企画について「ユーザーの心を捉える」 企画の立案・作成を支援します。</p> <p>フェーズB 商品化サポート事業 対象:支援企業2社程度 期間:約7カ月 内容: 具体的な商品化を目指しそのデザイン開発(図面・モデル・プロトタイプ 作成など)を支援します。</p>		
<参考 URL> https://www.oita-ri.jp/kakutantou/seihinkaihatu/			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
事業内容を一部変更し、継続して実施中		令和2年度	1,663千円

宮崎県	機関名	宮崎県
	部署名	総合政策部産業政策課
	電話連絡先	みやざきフードビジネス相談ステーション 0985-89-4452 総合政策部産業政策課 0985-26-7052
事業名	フードビジネス推進基盤強化事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

フードビジネスに取り組む事業者からの様々な相談に適切に対応するため、ワンストップの総合相談窓口として「みやざきフードビジネス相談ステーション」を設置し、関係支援機関とも連携を図りながら、事業者の事業拡大等の支援を行っている。

- デザイナーズバンクの設置
 フードビジネスに取り組む事業者からのデザインに関する相談に対して、みやざきフードビジネス相談ステーションのデザイナーズバンクに登録されているデザイナーを紹介。
 登録デザイナー数:31名
 対象デザイン:加工品や成果物のパッケージデザイン、POPや販促資材に係るデザイン、リーフレットやウェブデザイン など
 デザインに関する相談件数:41件/令和5年度実績(全相談件数1,427件)
- その他
 本事業は、公益財団法人宮崎県産業振興機構に委託して実施している。
 本事業に係る情報が掲載されている URL :
<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/shigoto/foodbusiness/20240610113011.html> (宮崎県 HP)

公益財団法人 宮崎県産業振興機構
みやざきフードビジネス相談ステーション

食に関するお悩みまるごと解決

相談無料 事前予約制

相談体制

事業計画 資金調達 | 商品開発 衛生管理 | 食品表示 デザイン | マッチング 販路開拓

専属コーディネーター + 各種専門家 + 支援機関 と連携を図りながら課題解決に向けてサポートします

6次産業化に取り組む生産者の皆さま | 多種多様な専門業種との連携を求める事業者の皆さま

農山漁村発イノベーションサポート事業 | LFP Local Food Project Miyazaki | みやざきローカルフードプロジェクト強化事業

各種専門家 (アドバイザー、プランナー) | **関係支援機関** (試験研究機関、大学) | **デザイナーズバンク** (県内の登録デザイナー)

相談の流れ

- 1 必要書類を電話で予約 (相談内容を写真にお知らせください。初回の相談日を調整します。)
- 2 面談又はオンライン (担当コーディネーターが、現状から目標達成のための課題を導き出し、具体的なアドバイスを行います。)
- 3 伴走支援 (担当コーディネーターと共に、課題解決に向けた取り組みを行います。)

ワンストップの相談窓口としてご活用ください

みやざきフードビジネス相談ステーション TEL 0985-89-4452

月曜日～金曜日 (8:30-17:15 / 12:00-13:00) 及び土日祝日

みやざきフードビジネス相談ステーション

充実のサポート内容

商品化への流れに応じて必要なアドバイスを行います

相談無料 (電話予約制) オンライでもOK

基本的な商品化への流れ			
①リサーチ	②企画・立案	③商品化	④生産・販売
調査方法	アイデア出し/商品開発 事業計画/資金調達	加工技術/衛生管理 食品表示/デザイン	マッチング/販路開拓
マーケットの傾向による商品化に向けた基本的な考え方や、調査方法、具体的な取り組み方について助言。	販売戦略を踏まえた新規事業や、新事業に取り組むための事業計画の確認、資金調達先として県や県の補助事業の紹介。	食品加工に取り組むための一連の流れや衛生管理、食品表示、商品化に向けたデザインの考え方や、県内の委託可能な食品製造業者の紹介。	商品内容、生産量の確認、施設や、分析会の紹介と相談に必要な書類や交渉の進め方について助言。

***** 相談会の開催や必要に応じた専門家の派遣も行っています *****

食品表示 相談会	企業訪問	専門家の派遣	デザイナーズバンク
毎月第三木曜日に食品表示無料相談会を開催しています。(要予約) 既存商品の表示見直しや、新商品の表示など、ご相談ください。	担当コーディネーターが視察を提案しながら相談対応することも可能です。(対象: 日帰り県内主体)	各種相談内容に応じ、コーディネーターと共に専門アドバイザーを派遣します。	県内県外のデザイン印刷会社及び個人デザイナーの登録バンクがあります。希望される方への情報提供も行っています。

当ステーションのHP、Facebook、メールマガジン (産業振興機構) 支援事例やセミナー、補助金公募案内などの情報を発信!

ホームページ | フェイスブック

フードビジネス相談ステーション 検索

公益財団法人 宮崎県産業振興機構
みやざきフードビジネス相談ステーション
農山漁村発イノベーションサポートセンター
みやざきLFP推進局

TEL 0985-89-4452 FAX 0985-89-4468

相談受付時間 月曜日～金曜日(8:00-17:00/12:00-13:00) (土日祝日を除く)

food@port.or.jp

〒880-0811 宮崎県宮崎市1-10 日輪クリンクスピア宮崎館 (GTビル2階) 3F (お申し込みの際は、最寄りのお駅名・最寄りバス停留所または公共交通機関をご利用ください)

令和6年度実施予定

開始年度

予算額

継続して実施予定

平成25年度

53,000千円

鹿児島県	機関名	鹿児島県工業技術センター
	部署名	企画支援部
	電話連絡先	0995-43-5111

事業名	環境・生活・デザイン技術開発研究事業「薩摩焼割付文様を利用した工芸品の開発」
-----	--

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

■事業概要

鹿児島県工業技術センターでは、県内企業の製造技術の向上を図るために工業デザインや工芸品に関する技術相談、依頼分析・試験等の技術支援と研究開発を行っています。

■事業目的

薩摩焼割付文様は、主に白薩摩の上絵に用いられる金彩を用いた幾何学文様である。古くは江戸時代より現代まで描かれており、現存する鹿児島の工芸品において、最も古い文様の1つであると言える。しかし、白薩摩焼の窯元の減少と、窯元が新規文様を創出する機会の減少により、描かれる機会が減ってきている。そこで、白薩摩の割付文様について調査・研究し、文様をデータ化・図形化の手法を研究する。さらに近年開発された「かごんまの色®」などを複合利用することで、新規文様および薩摩焼の新商品創出に向けた取り組みを行う。また、薩摩焼割付文様と当センター所有のレーザー加工機の切断、彫刻、ケガキ彫刻を利用して、薩摩焼だけでなく、他の工芸品へ文様を展開した工芸品の開発を行う。

■令和5年度実施内容

① レーザ加工機などによる加工研究(素材,加工技術全般)

・レーザー加工機による木材(無垢材,合板),アクリル等での加工条件を探った。

② 割付文様を利用した工芸品,テーブルウェアなどへの展開例の研究

・県の伝統的工芸品である鶴田和紙で割付文様の展開を行い,住宅メーカーを中心としたグループが電波時計を商品化し,知事のベトナム訪問時の記念品として採用された。また,2023 かごしまの新特産品コンクールにおいて特産品協会理事長賞を受賞した。

・テーブルランナーの改良版(大島紬 ver.)の試作を行った。

③ 割付文様を使った薩摩焼アクセサリ等,小物への展開,試作

・県内窯元2社と共同で,アクセサリの試作を行った。

・「かごんまの色®」を使った割付文様を白薩摩豆皿に展開,窯元への提案を行った。



<参考 URL >

<https://www.kagoshima-it.jp/>

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
令和6年度で事業終了	令和4年度	—

鹿児島県	機関名	鹿児島市	
	部署名	産業局産業振興部産業創出課	
	電話連絡先	099-216-1319	
事業名	クリエイティブ産業創出支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>市内デザイナー等のスキルアップや製造業者等のデザイン面での事業革新を支援するため、「かごしまデザインアワード」を開催するほか、10回記念イベントの開催や受賞者等のデータベース化、受賞作品の商品化支援等を行い、クリエイティブ産業の振興を図る。</p> <p>■「かごしまデザインアワード 2023」の開催 市内企業からのデザイン課題に対する作品を募集し、優秀な作品に褒賞を授与。 ○テーマ:「鹿児島をリデザインする。」 ○課題:募集期間:令和5年7月7日～10月2日 ・黒豚製品ギフトケースデザイン(AKR Food Company 株式会社) ・鹿児島サンロイヤルホテルのキャラクターデザイン(鹿児島国際観光株式会社) ・美容室向け管理サービス CyCal のローディングアニメーション(株式会社 CyCal) ・カウンターコーヒーの鹿児島限定カップデザイン(株式会社南九州ファミリーマート) ・焼酎定期使用パウチのパッケージデザイン(合同会社和総) ・鹿児島市立美術館のロゴデザイン(鹿児島市立美術館) ○応募総数:638 作品 ○最終審査及び表彰式:令和5年12月20日、城山ホテル鹿児島にて実施</p>  <p>■「かごしまデザインアワード 10 回記念トークショー & マルシェ」の開催 かごしまデザインアワードの開催 10 回を記念し、これまでを振り返り、今後更にクリエイティブの力で鹿児島市を盛り上げていくため、多様なゲストと鹿児島市長によるトークショーのほか、これまでのかごしまデザインアワードから誕生した商品等の購入や飲食ができるマルシェを開催。 ・期日:令和6年2月11日 ・場所:センテラス天文館 ・トークショー登壇者 野田 クリスタル 氏(芸人・ゲームクリエイター) 下鶴 隆央 鹿児島市長 伊地知 裕貴 氏(ZERO HOURS DESIGN STUDIO ※かごしまデザインアワード 2014 最優秀賞受賞者) 福元 文雄 氏(東酒造株式会社 代表取締役 ※かごしまデザインアワード 2018 課題提供企業) ウジ トモ 氏(戦略デザインコンサルタント/アートディレクター ※かごしまデザインアワード審査員)</p> <p>■「鹿児島市クリエイターズデータベース」の作成 鹿児島市内で活躍するクリエイターの取組内容を広く周知するとともに、市内クリエイターと市内外の企業とのマッチング機会を創出することを目的に、鹿児島市ホームページにおいて、趣旨に賛同した市内クリエイターの情報を掲載するもの ・登録クリエイター数(令和5年度末時点):24 事業者 ・鹿児島市クリエイターズデータベース URL: https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creatordatabase.html</p> <p>■「クリエイティブ分野の人材育成セミナー」の開催 ○デザインコンテスト AI 時代の課題 ・期日:令和5年9月7日 ※オンライン開催 ・講師: ウジ トモコ氏(戦略デザインコンサルタント/アートディレクター) 丸尾 弘志氏(日経 BP 総合研究所 上席研究員) 廻 健二郎氏(デジタルハリウッド株式会社取締役 COO/デジタルハリウッド大学准教授) ・参加者:27 名</p>			
	令和6年度実施予定	開始年度	予算額
	令和5年度で事業終了	平成25年度	13,807 千円

鹿児島県	機関名	鹿児島市
	部署名	産業局産業振興部産業創出課
	電話連絡先	099-216-1319
事業名	クリエイティブ人材誘致事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
<p>クリエイティブ産業の振興及び集積促進を図るため、UIJ ターンイベントを開催する等、首都圏等に集中しているクリエイティブ人材を誘致する取組みを行う。</p> <p>■UIJ ターンイベントの開催</p> <p>東京、大阪、福岡にて、本市の移住関連施策等の説明、鹿児島在住クリエイター等によるトークセッションや作品等の紹介、交流会などを開催し、移住に関心のある方々との交流を図る。</p> <p>【東京】日時:令和 5 年 10 月 5 日(木) 19 時～21 時 場所:㈱フェローズレセプションルーム(渋谷区) 参加者:会場 11 名、オンライン 3 名</p> <p>【大阪】日時:令和 5 年 9 月 13 日(水) 19 時～21 時 場所:OBP Academia(大阪市) 参加者:会場 8 名</p> <p>【福岡】日時:令和 5 年 9 月 14 日(木) 19 時～21 時 場所:The Company DAIMYO(福岡市) 参加者:会場 9 名</p> <p>■お試し移住プログラムの開催</p> <p>鹿児島市への移住を検討されているクリエイターの方を対象に、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」でのリモートワークや市内企業での副業体験、市内で活動するクリエイターとの交流会などを通じて、鹿児島市の生活環境やビジネス環境を体感していただくプログラム。</p> <p>○日時:令和 6 年 2 月 2 日(金)～2 月 6 日(火) ○参加者:8 名</p> <p>■移住クリエイター交流会</p> <p>鹿児島市へ移住したクリエイターを対象に、コミュニティ形成支援やビジネスマッチングの機会を提供することを目的として、年2回の交流会を開催する。</p> <p>○1回目 日時:令和 5 年 6 月 26 日(月) 参加者:12 名 ○2回目 日時:令和 6 年 2 月 5 日(月) 参加者:28 名</p> <p>■クリエイティブ人材誘致事業補助金</p> <p>首都圏等に集中しているクリエイティブ人材が鹿児島市へ移住された場合に、移住に要する経費に対して補助を行う。</p> <p>○補助対象:事業所改修費用及び設備投資費用 ○応募資格:クリエイター(情報通信、映像・コンテンツ制作、デザイン、芸術)、プロデューサー又はディレクター(クリエイターとともにビジネスを行う者) ○補助額:1件あたり 10 万円を限度とする ○補助率:補助対象経費の 2 分の 1 ○補助実績:2 件</p> <p><参考 URL > https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/creative-life2020.html</p>		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成 28 年度
		予算額
		8,066 千円



鹿児島県	機関名	鹿児島市	
	部署名	産業局産業振興部産業創出課	
	電話連絡先	099-216-1319	
事業名	クリエイティブ産業創出拠点施設(mark MEIZAN)企画運営事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>クリエイティブ産業の振興を図り、地域経済の活性化に資するため、クリエイティブ人材等の育成、多様な事業者等との交流等を行う拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行う。</p> <p>■施設の基本的機能</p> <p>(1) クリエイティブ人材育成 ・クリエイティブ人材育成セミナー等の開催、ビジネスマッチングイベントの開催 等</p> <p>(2) コミュニティ形成 ・コミュニティ形成のためのイベント及びワークショップの開催、クリエイターを巻き込んだ施設の企画運営会議の開催 等</p> <p>(3) 入居者等の支援 ・入居者や来館者等とのコミュニティ形成を支援するイベント等の開催</p> <p>(4) スタートアップ支援 ・スタートアップ支援プログラムの企画・運営、スタートアップ相談支援 等</p> <p>(5) 情報発信 ・施設専用 WEB サイト運営、SNS 等による情報発信 等</p> <p>■入居室等 ①入居室 24 室 ②シェアオフィス 6 スペース</p> <p>■交流スペース利用登録者数 3,554 名(平成 31 年 2 月～令和 6 年 3 月末)</p> <p>■セミナー・ワークショップ・ビジネスマッチングイベント ・クリエイティブ関連セミナー 17 回 ・ビジネスマッチングイベント 2 回 ・コミュニティ形成イベント 17 回、スタートアップ支援プログラム 8 回</p>			
 			
<参考 URL> https://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/sangyo/shokogyo/design/mark-meizan.html			
	令和6年度実施予定	開始年度	予算額
	継続して実施予定	平成 30 年度	159,233 千円

九州経済産業局	機関名	九州経済産業局
	部署名	産業部 流通・サービス産業課 サービス・コンテンツ産業室
	電話連絡先	092-482-5511

事業名	地域におけるデザイン経営の普及と自走化のためのエコシステム構築に向けた広報事業
------------	---

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

九州経済産業局では、デザイン経営に取り組む事業者・商店街15者取材してデザイン経営事例集を作成するとともに、WEB サイトを立ち上げデザイン経営事業に関する情報発信を強化。さらに、事業者がデザイン経営に触れる機会としてデザイン経営カフェを計3回開催した。

●事業の概要

①デザイン経営事例集の作成

デザイナーが伴走した事業者が実際に行っているデザイン経営やそのプロセスを中心に、ユニークな取組を実践する事業者・商店街15者取材し、デザイン経営事例集を作成。

デザイン経営事例集：https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_case_studies.html

②WEB サイトの構築

新たに WEB サイトを立ち上げデザイン経営事業に関する情報発信を強化。①で作成したデザイン経営事例集も掲載。



参考 URL: https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_mgmt.html

③デザイン経営カフェの実施

成功事例の横展開を図るため、「九州デザイン経営カフェ」を北九州市、熊本市、長崎市で開催し、事業者がデザイン経営に触れる機会を創出。実際に事業者に伴走したデザイナーを登壇者に迎え、デザイン経営の現場の空気をお伝えした。事例集では語り尽くせない想いや試行錯誤の数々を伝え、デザイナーや事業者同士の交流の場となった。

デザイン経営カフェ：https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/ryutsu/design/design_cafe.html

令和6年度実施予定	開始年度	予算額
デザイン経営を活用した地域観光の消費拡大に向けた支援事業	令和6年度	-

沖縄県	機関名	沖縄県	
	部署名	商工労働部ものづくり振興課	
	電話連絡先	098-866-2337	
事業名	沖縄工芸モノ・コト開発課題解決支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
<p>1 目的 経営等も含めて長期的に持続、活躍し、業界を牽引できるような強い工芸事業者を増やすことを目的とする。</p> <p>2 概要 コンサルティング等により開発・改善等をハンズオン支援し、開発支援やブランディング、マーケティング、経営等の工房運営の課題解決・改善への助言等を行うとともに、対象経費を補助する。</p> <p>3 補助対象者 <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県内にて、工芸品の生産に3年以上携わっている者 ・沖縄県内に製造拠点を有し、従業員20人以下の小規模事業者である工芸品生産者 ・沖縄県内にて工芸品の生産に携わり、商品・販路・販促などの課題認識が明確である者 ・個別コンサルティングなど当事業に参加できる者 ・以下のいずれかの製品を生産している者 <ul style="list-style-type: none"> ①沖縄県指定伝統的工芸品 ②沖縄の伝統的な技法・原材料・デザインを活用している (主な工芸ジャンル) 喜如嘉の芭蕉布、読谷山花織、読谷山ミンサー、知花花織、琉球びんがた、首里織、琉球紜、南風原花織、久米島紬、宮古上布、八重山上布、八重山ミンサー、与那国織、琉球漆器、三線、壺屋焼、琉球焼、琉球ガラス、ウージ染め、うらそえ織、小木工、金細工等 ・事業終了後の5年間、追跡調査に協力できる者 ・インターネットの環境が整っている者 </p> <p>4 補助対象経費 原材料費、外注加工費、技術指導受入費、デザイン開発費、市場調査費、広報宣伝費、旅費、専門家謝金、資料購入費等</p> <p>5 補助率 4分の3以内</p> <p>6 補助上限額 30万円</p> <p>7 令和5年度実績 10事業者</p>			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和5年度	12,860千円